

アンケート調査（児童・生徒、保護者、教員）

1 調査概要

（1）調査目的

市民（町田市在住の小・中学生、保護者、教員）を対象に、現状及びニーズを把握し、次期計画である『（仮称）町田市教育プラン 2024-2028』を策定するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

（2）調査方法

調査名	調査方法
【児童・生徒用】 町田市の教育についてのアンケート	<ul style="list-style-type: none"> ●調査対象：市内の全小学校5年生、中学2年生 6,800人 ●調査方法：Web アンケート ●調査期間：2022年7月1日（金）～7月20日（水）
【保護者用】 町田の教育に関するアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ●調査対象：市内の全小学校5年生、中学2年生の保護者 2,034人 ●調査方法：Web アンケート及び紙面による記入式アンケート調査の併用（学校配布・学校回収） ●調査期間：2022年7月1日（金）～7月20日（水）
【教員用】 町田市学校教育に関するアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ●調査対象：市内の小・中学校に勤める教職員 1,700人 ●調査方法：Web アンケート ●調査期間：2022年7月1日（金）～8月5日（金）

（3）調査結果

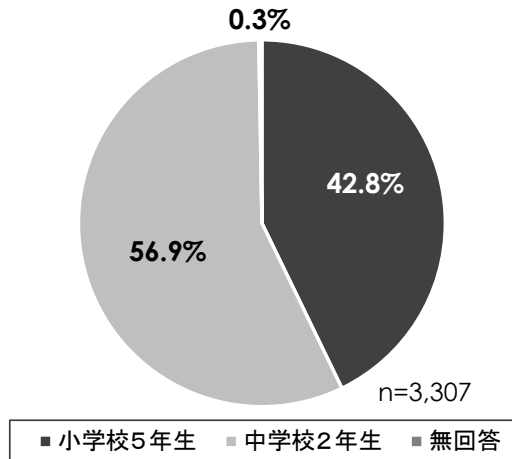
調査名	調査結果		
	配布数	有効回収数	有効回収率
【児童・生徒用】 p.2～ 町田市の教育についてのアンケート	配布数	有効回収数	有効回収率
	6,659 票	3,307 票	49.6%
【保護者用】 p.4～ 町田の教育に関するアンケート調査	配布数	有効回収数	有効回収率
	2,034 票	1,240 票	61.0%
【教員用】 p.34～ 町田市学校教育に関するアンケート調査	配布数	有効回収数	有効回収率
	1,701 票	983 票	57.8%

2 調査結果

(1) 【児童・生徒用】町田市の教育についてのアンケート

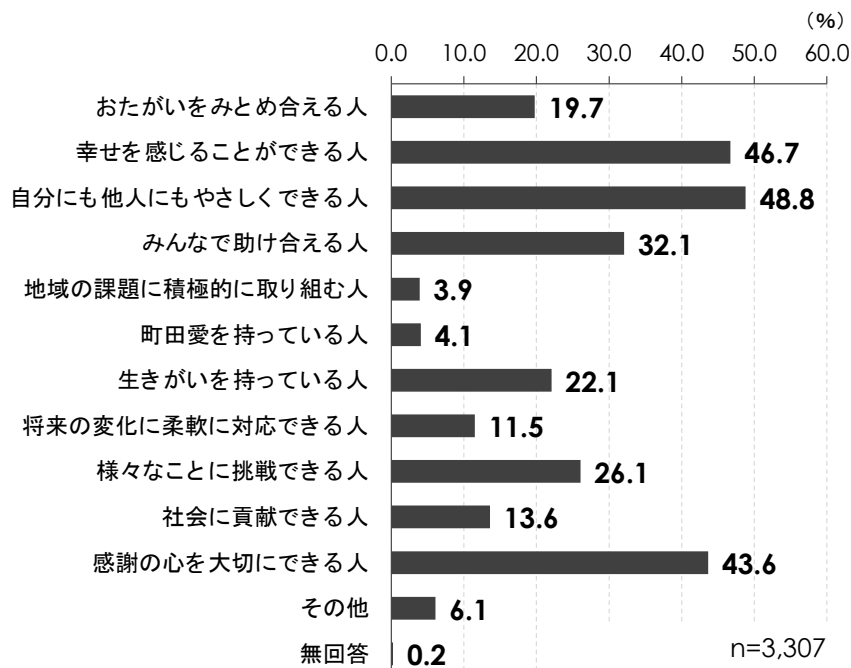
問1 あなたの学年を教えてください。(1つに○)

「小学校5年生」が42.8%、「中学校2年生」が56.9%となっています。



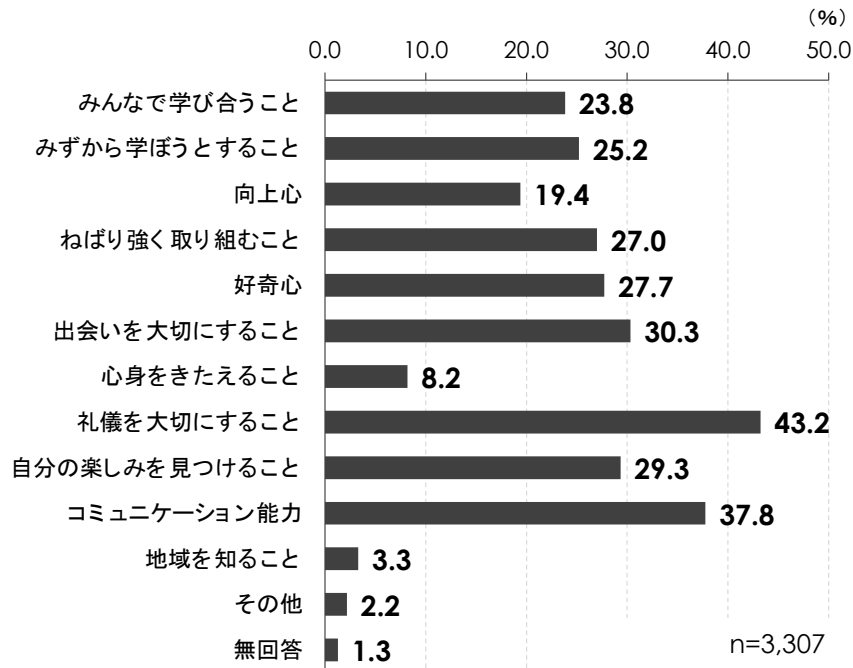
問2 あなたが将来こういう大人になりたいと思うものを選んでください。(回答は3つまで)

「自分にも他人にもやさしくできる人」が最も多く48.8%、次いで、「幸せをかんじることができる人」が46.7%、「感謝の心を大切にできる人」が43.6%となっています。



問 3 問 2 で選んだ大人になるために、あなたが大事だと思うことはなんですか。（回答は 3 つまで）

「礼儀を大切にすること」が最も多く 43.2%、次いで、「コミュニケーション能力」が 37.8%、「出会いを大切にすること」が 30.3%となっています。

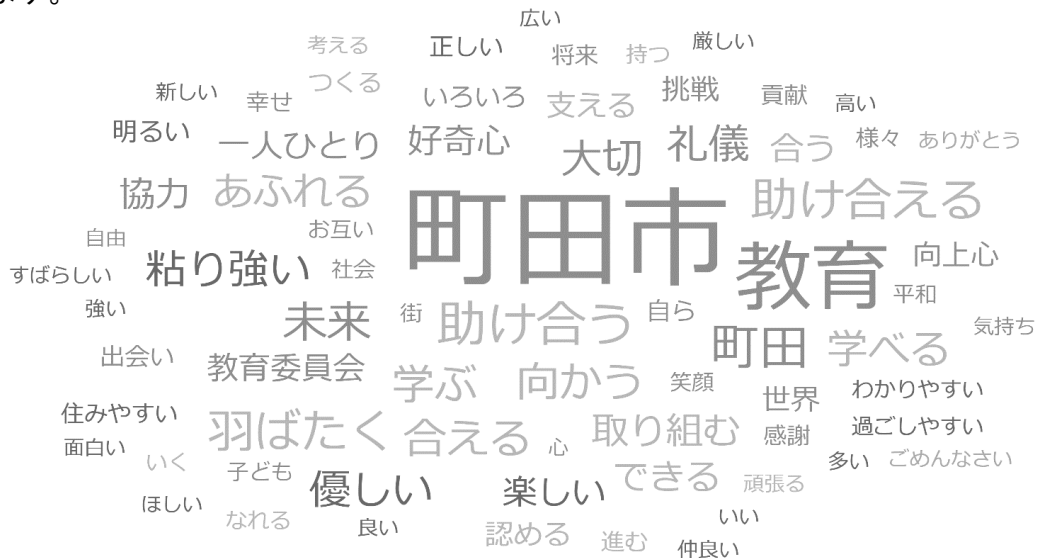


問 4 問 2、3 でえらんだ言葉を参考にして、あなたが考える町田市の未来の教育イメージをかたんな言葉で表現してみてください。（例：未来に向かって世界にはばたく町田市教育）（自由記述）

名詞では、「町田市」、「教育」が特に多いですが、その他では「未来」、「大切」、「礼儀」が多く、動詞では、「助け合う（助け合える）」、「羽ばたく」、「向かう」、「あふれる」、「学ぶ（学べる）」が多く、形容詞では、「粘り強い」、「優しい」、「楽しい」が多くなっています。

■テキストマイニング（ワードクラウド）の結果

※自由記述から、記述が多い単語を抽出し、その回答数の量に応じて文字を大きく図示しています。

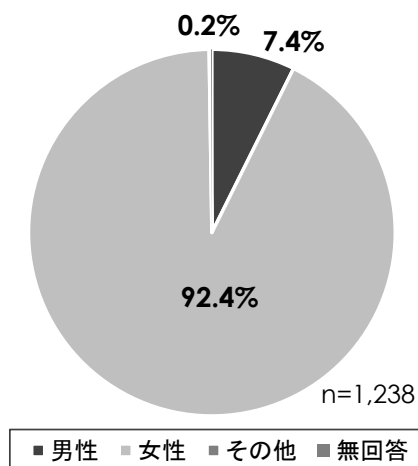


(2) 【保護者用】町田の教育に関するアンケート調査

①あなた自身のことについて

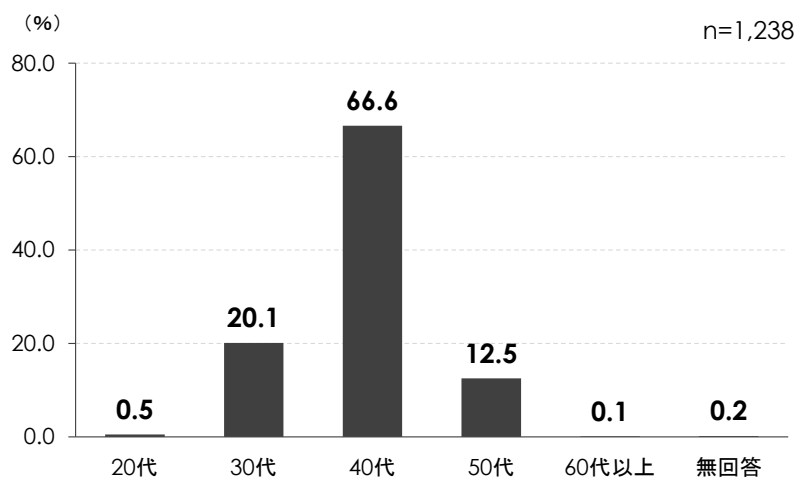
問 1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

「男性」が7.4%、「女性」が92.4%となっています。



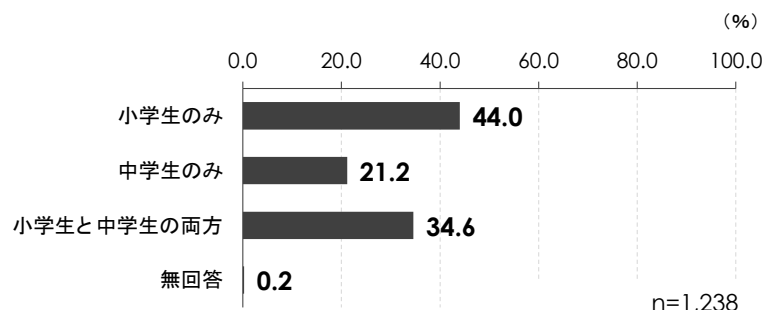
問 2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

「40代」が最も多く66.6%、次いで「30代」が20.1%、「50代」が12.5%となっています。



問 3 アンケート用紙を持ち帰ったお子さんを含めて、小学生または中学生のお子さんがいらっしゃいますか。
 (〇は1つ)

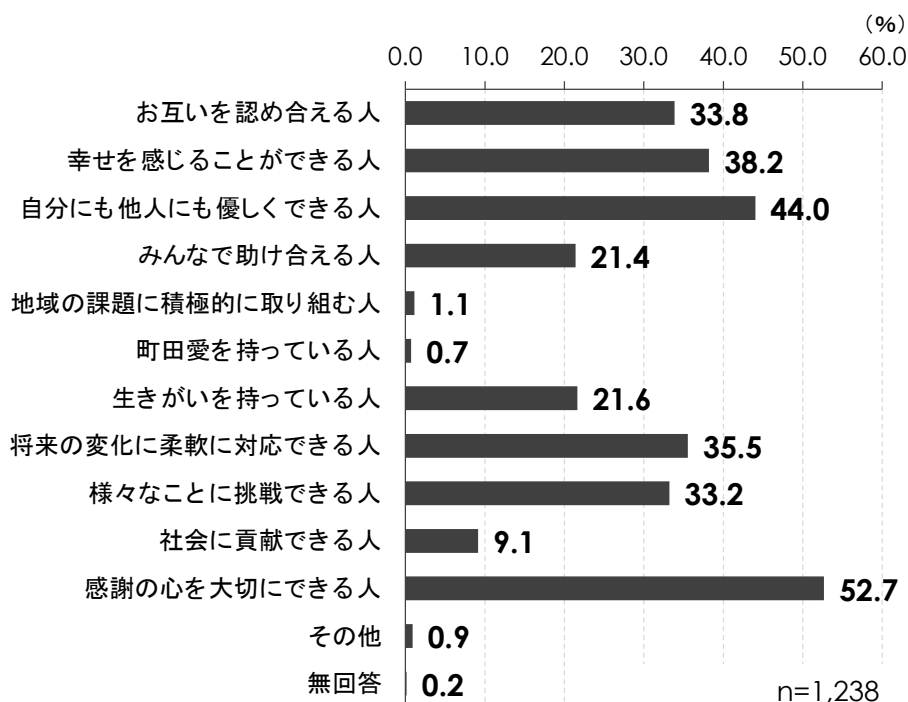
「小学生のみ」が最も多く44.0%、次いで「小学生と中学生の両方」が34.6%、「中学生のみ」が21.2%
 となっています。



②町田市の教育において、「みんなが目指す姿」について

問 4 2040年の未来を見据えて、町田市の教育において「みんなが目指す姿」についてのご意見をお聞かせください。あなたが子どもたちに、こういう人になってほしいと思うものを選んでください。(〇は3つまで)

「感謝の心を大切にできる人」が最も多く52.7%、次いで「自分にも他人にも優しくできる人」が44.0%、「幸せを感じることができる人」が38.2%となっています。



③町田市の学校教育について

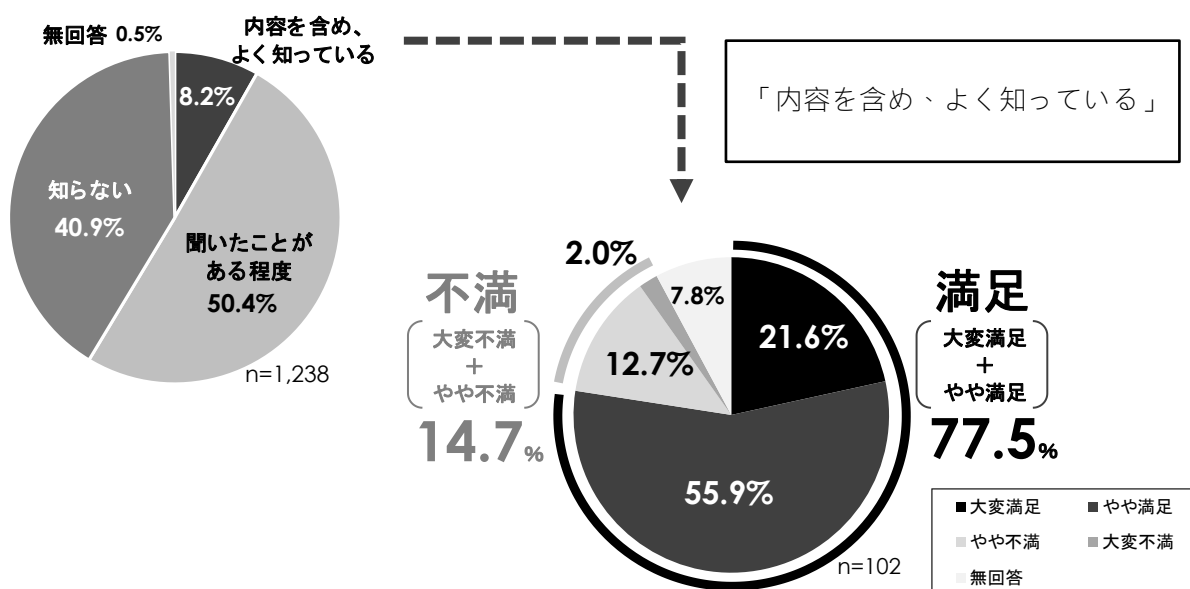
問 5 以下に掲げる町田市の教育に関する取組について、どの程度知っていますか。（それぞれ○は1つ）

問 6 問 5 で「内容を含め、よく知っている」と回答した項目について、その満足度をお答えください。（それぞれ○は1つ）

■「家庭学習の手引き」（リーフレット）を使った家庭学習啓発の取組

取組の内容について、「内容を含め、よく知っている」が 8.2%、「聞いたことがある程度」が 50.4%、「知らない」が 40.9%となっています。

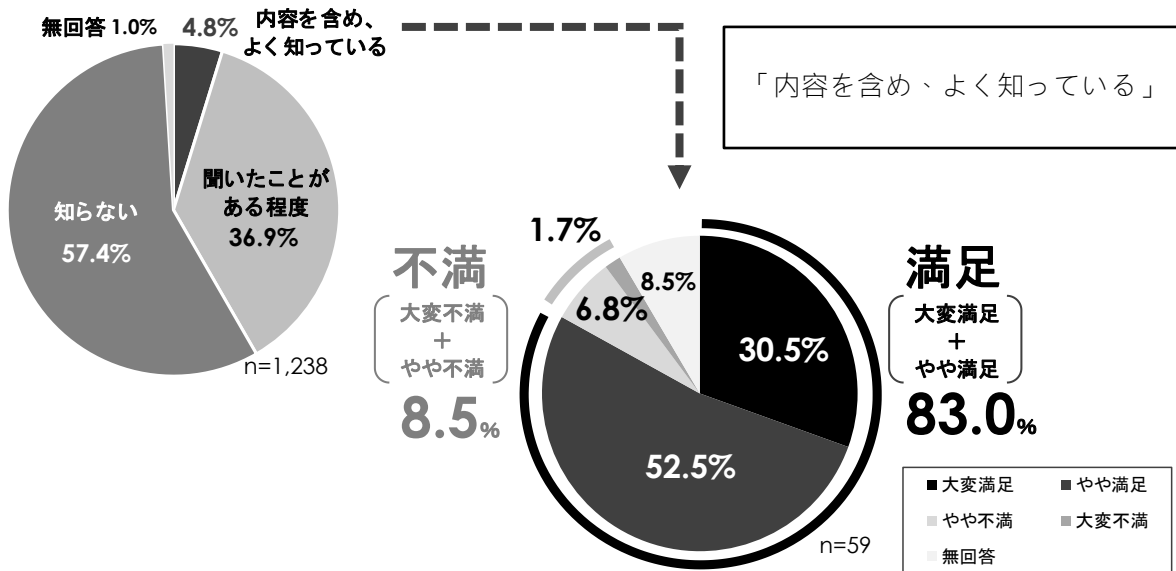
また、「内容を含め、よく知っている」と回答した人の満足度について、“満足”は 77.5%（「大変満足」と「やや満足」の合計）、「不満」は 14.7%（「大変不満」と「やや不満」の合計）となっています。



■ 協働的探究学習を取り入れた授業

取組の内容について、「内容を含め、よく知っている」が 4.8%、「聞いたことがある程度」が 36.9%、「知らない」が 57.4%となっています。

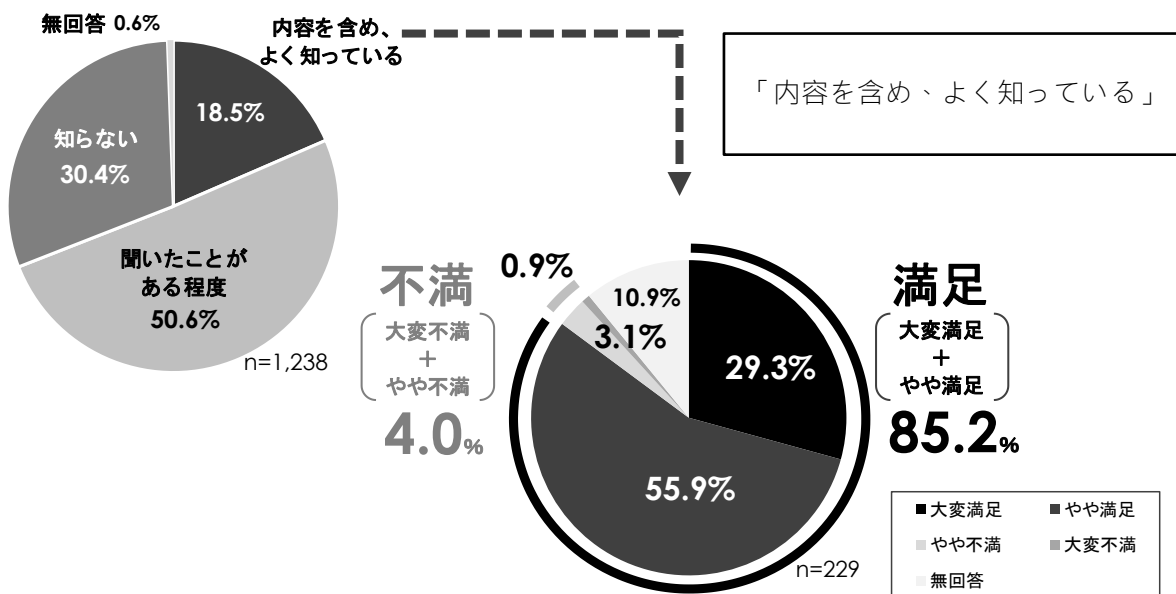
また、「内容を含め、よく知っている」と回答した人の満足度について、“満足”は 83.0%（「大変満足」と「やや満足」の合計），“不満”は 8.5%（「大変不満」と「やや不満」の合計）となっています。



■ 一校一取組運動や小学校連合運動会などの体力向上を図るための取組

取組の内容について、「内容を含め、よく知っている」が 18.5%、「聞いたことがある程度」が 50.6%、「知らない」が 30.4%となっています。

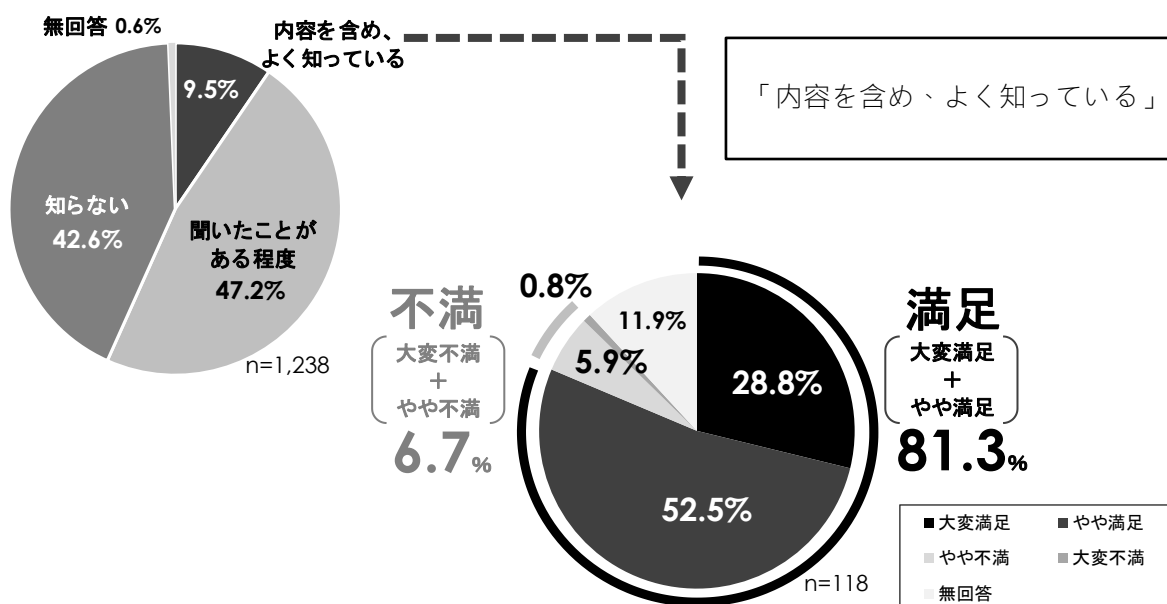
また、「内容を含め、よく知っている」と回答した人の満足度について、“満足”は 85.2%（「大変満足」と「やや満足」の合計），“不満”は 4.0%（「大変不満」と「やや不満」の合計）となっています。



■小中一貫町田っ子カリキュラムによる小中連携の取組

取組の内容について、「内容を含め、よく知っている」が 9.5%、「聞いたことがある程度」が 47.2%、「知らない」が 42.6%となっています。

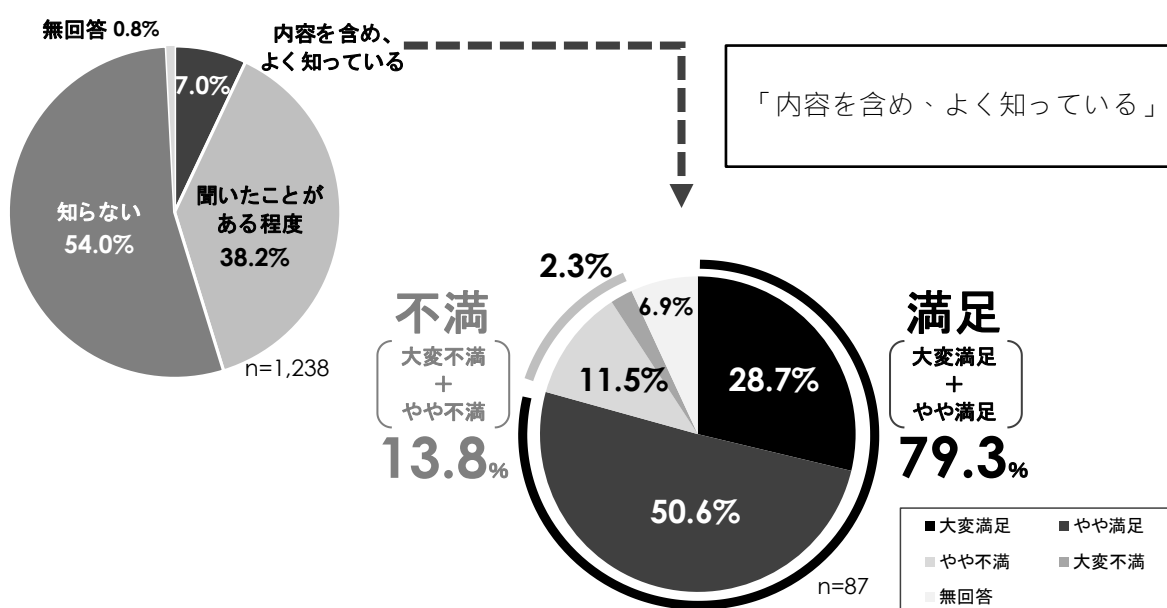
また、「内容を含め、よく知っている」と回答した人の満足度について、“満足”は 81.3%（「大変満足」と「やや満足」の合計）、“不満”は 6.7%（「大変不満」と「やや不満」の合計）となっています。



■社会的自立、職業的自立に必要な能力を育成する「キャリア教育」の取組

取組の内容について、「内容を含め、よく知っている」が 7.0%、「聞いたことがある程度」が 38.2%、「知らない」が 54.0%となっています。

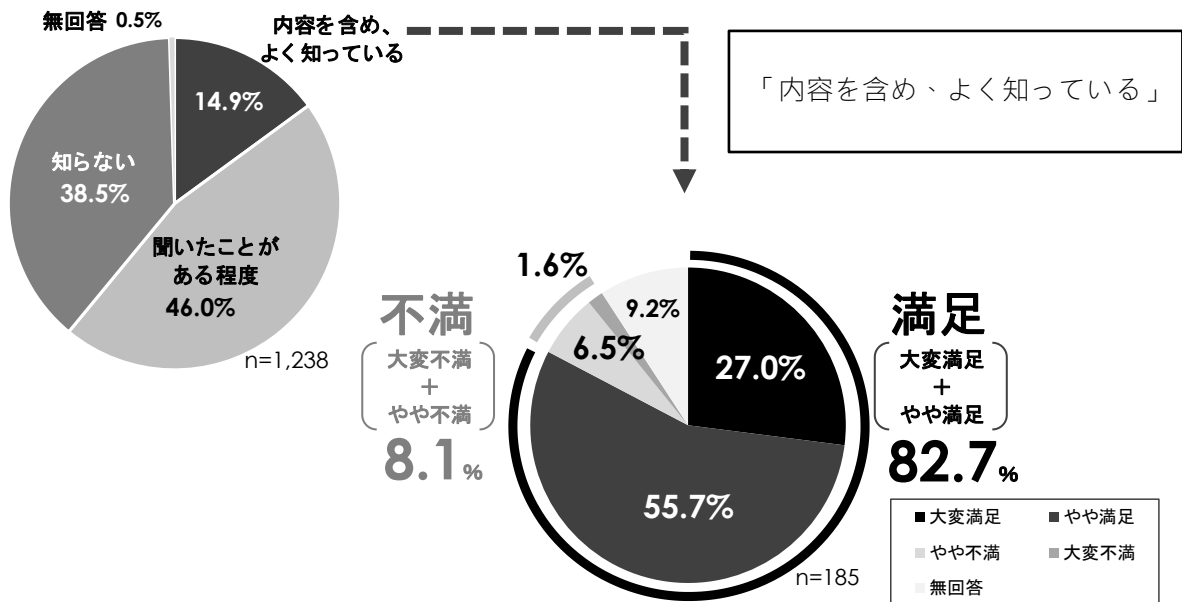
また、「内容を含め、よく知っている」と回答した人の満足度について、“満足”は 79.3%（「大変満足」と「やや満足」の合計），“不満”は 13.8%（「大変不満」と「やや不満」の合計）となっています。



■教育センターが実施する教育相談

取組の内容について、「内容を含め、よく知っている」が 14.9%、「聞いたことがある程度」が 46.0%、「知らない」が 38.5%となっています。

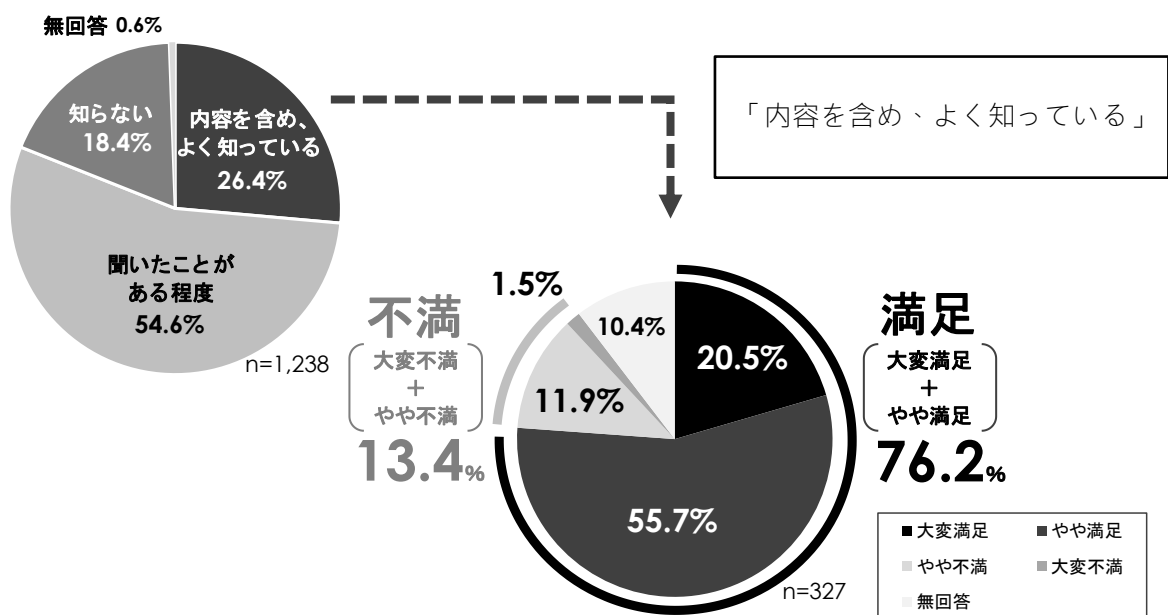
また、「内容を含め、よく知っている」と回答した人の満足度について、“満足”は 82.7%（「大変満足」と「やや満足」の合計）、“不満”は 8.1%（「大変不満」と「やや不満」の合計）となっています。



■「町田市小学校英語教育カリキュラム」による小学校外国語活動の推進

取組の内容について、「内容を含め、よく知っている」が 26.4%、「聞いたことがある程度」が 54.6%、「知らない」が 18.4%となっています。

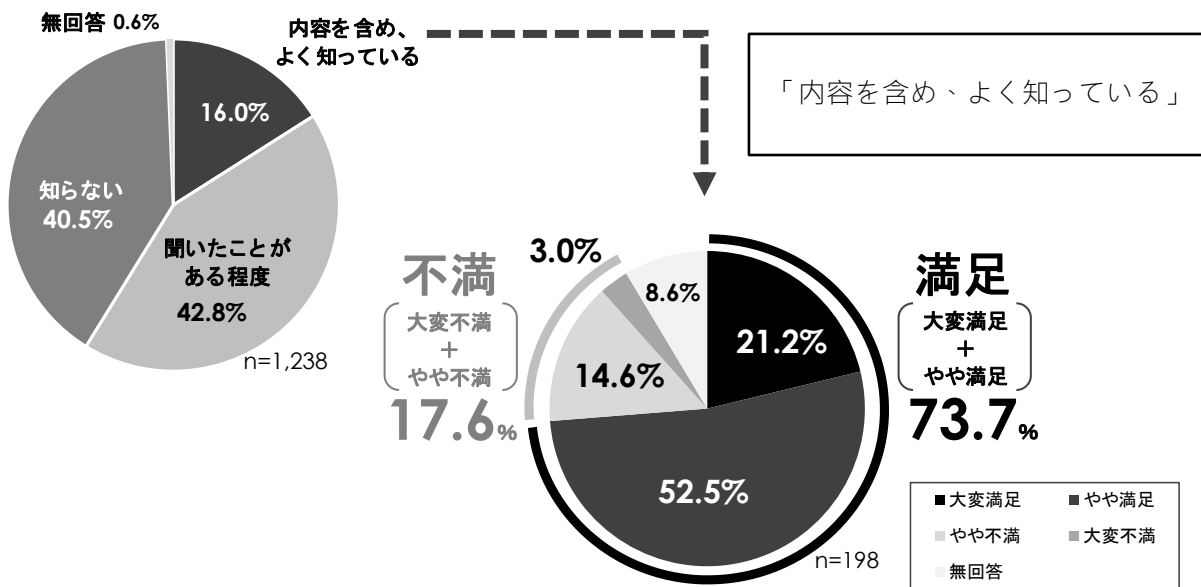
また、「内容を含め、よく知っている」と回答した人の満足度について、“満足”は 76.2%（「大変満足」と「やや満足」の合計）、“不満”は 13.4%（「大変不満」と「やや不満」の合計）となっています。



■ ICT教育「Machida Next Education」による取組

取組の内容について、「内容を含め、よく知っている」が 16.0%、「聞いたことがある程度」が 42.8%、「知らない」が 40.5%となっています。

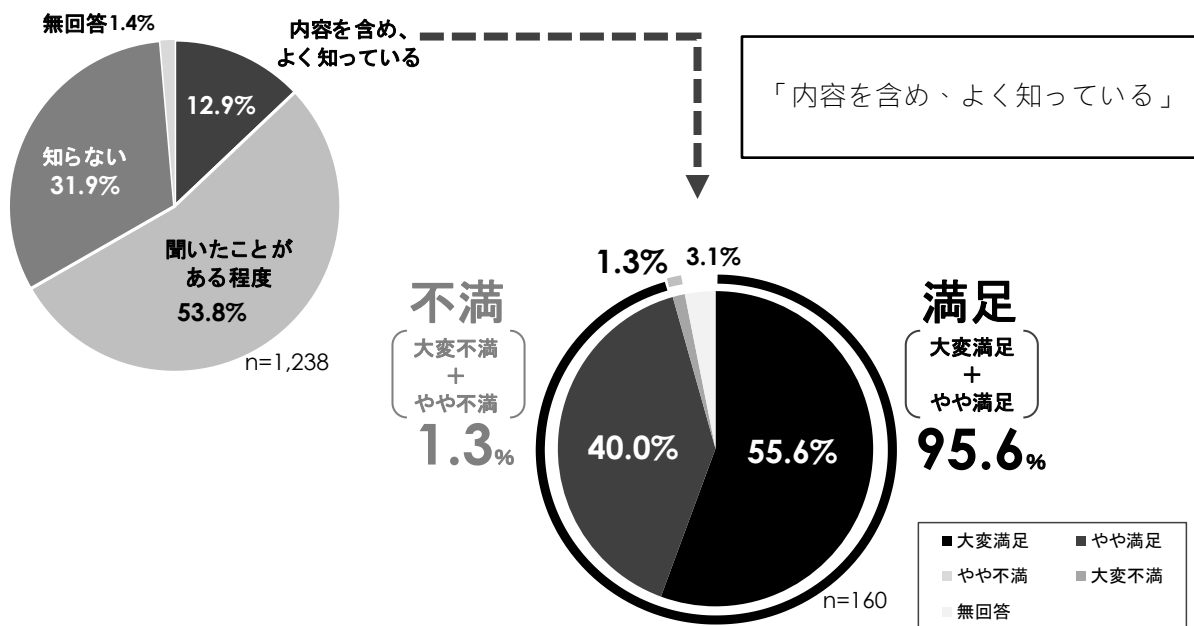
また、「内容を含め、よく知っている」と回答した人の満足度について、“満足”は 73.7%（「大変満足」と「やや満足」の合計），“不満”は 17.6%（「大変不満」と「やや不満」の合計）となっています。



■ 食育についての取組

取組の内容について、「内容を含め、よく知っている」が 12.9%、「聞いたことがある程度」が 53.8%、「知らない」が 31.9%となっています。

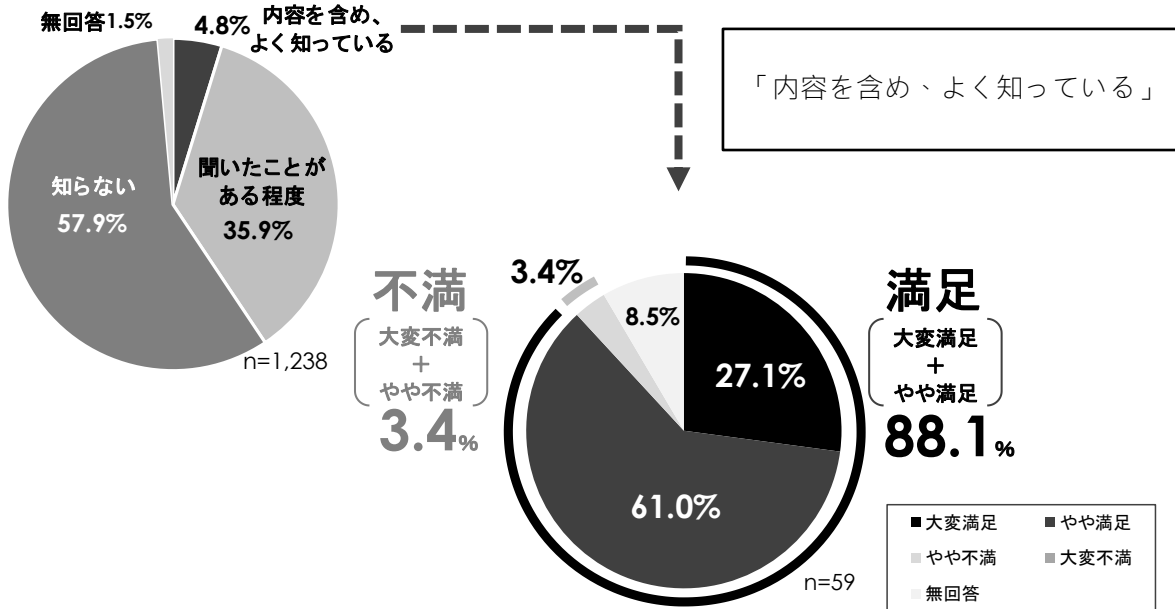
また、「内容を含め、よく知っている」と回答した人の満足度について、“満足”は 95.6%（「大変満足」と「やや満足」の合計），“不満”は 1.3%（「大変不満」と「やや不満」の合計）となっています。



■コミュニティスクールを通じた教育活動

取組の内容について、「内容を含め、よく知っている」が 4.8%、「聞いたことがある程度」が 35.9%、「知らない」が 57.9%となっています。

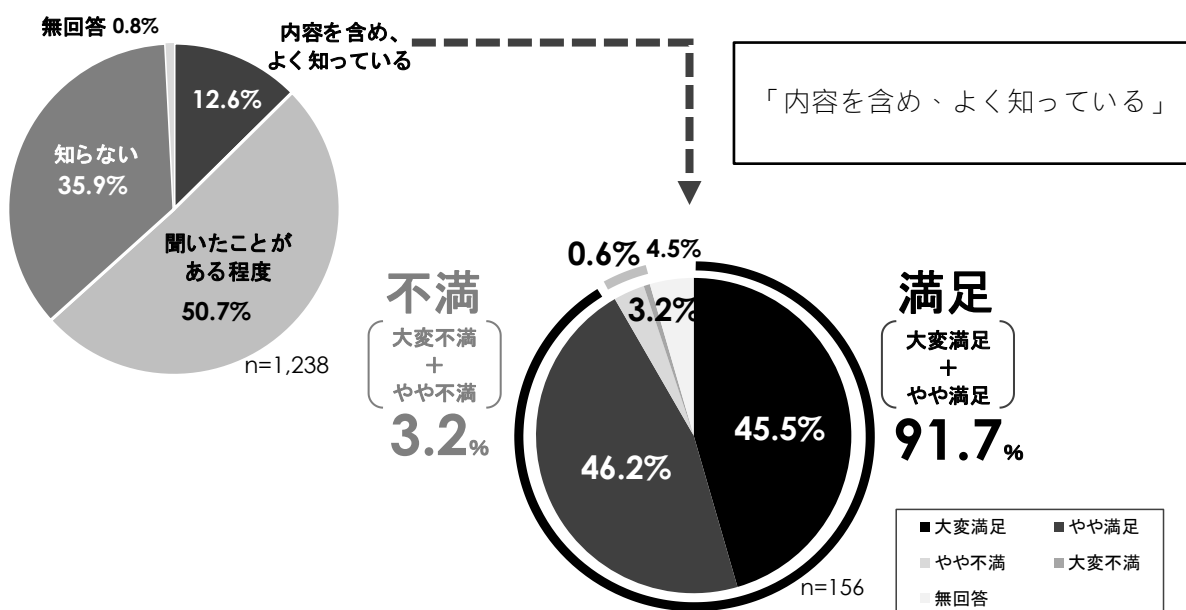
また、「内容を含め、よく知っている」と回答した人の満足度について、“満足”は 88.1%（「大変満足」と「やや満足」の合計），“不満”は 3.4%（「大変不満」と「やや不満」の合計）となっています。



■学校支援ボランティアと連携・協働した教育活動

取組の内容について、「内容を含め、よく知っている」が 12.6%、「聞いたことがある程度」が 50.7%、「知らない」が 35.9%となっています。

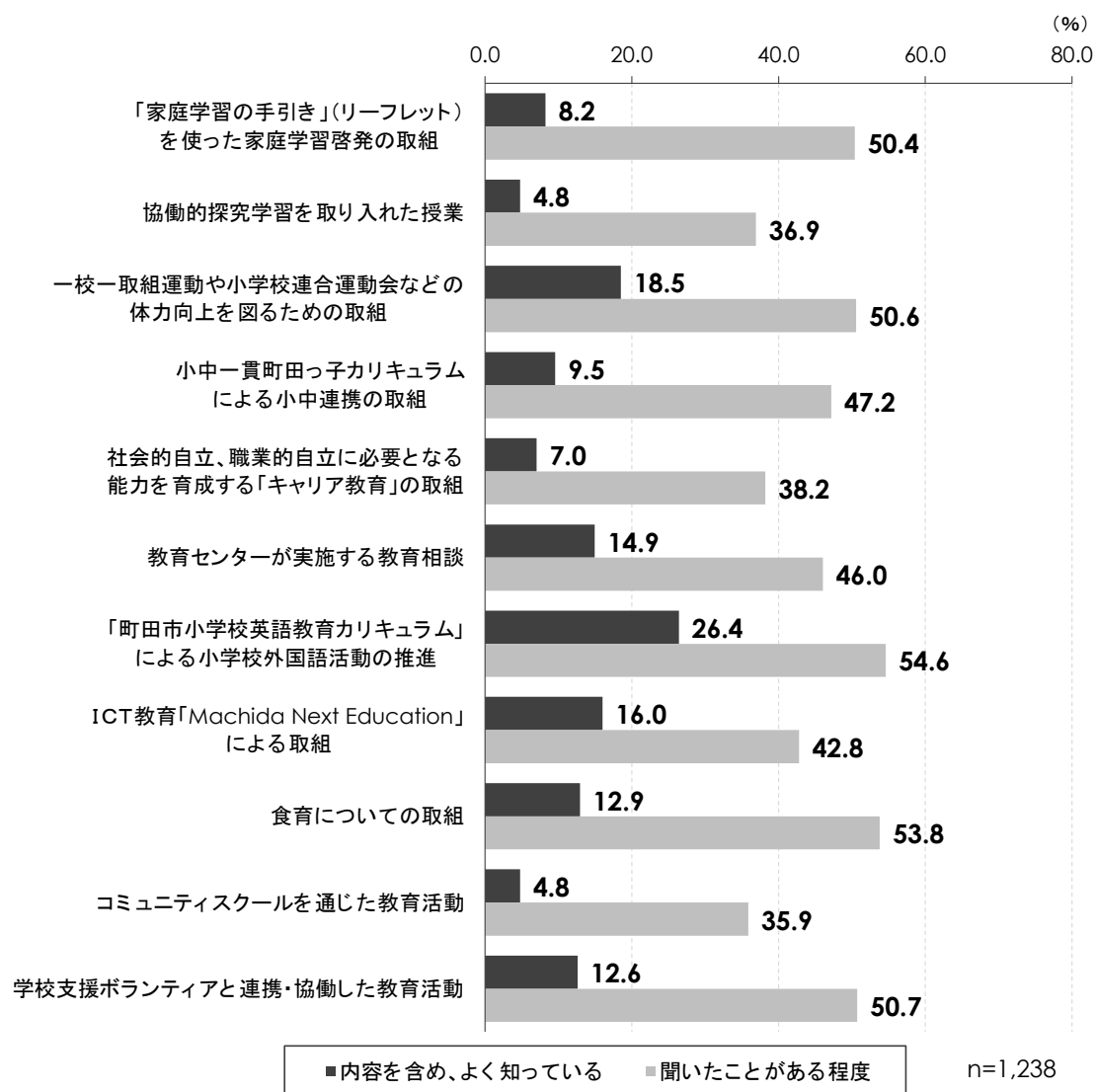
また、「内容を含め、よく知っている」と回答した人の満足度について、“満足”は 91.7%（「大変満足」と「やや満足」の合計），“不満”は 3.2%（「大変不満」と「やや不満」の合計）となっています。



□【参考】取組別、「内容を含め、よく知っている」、「聞いたことがある程度」の割合

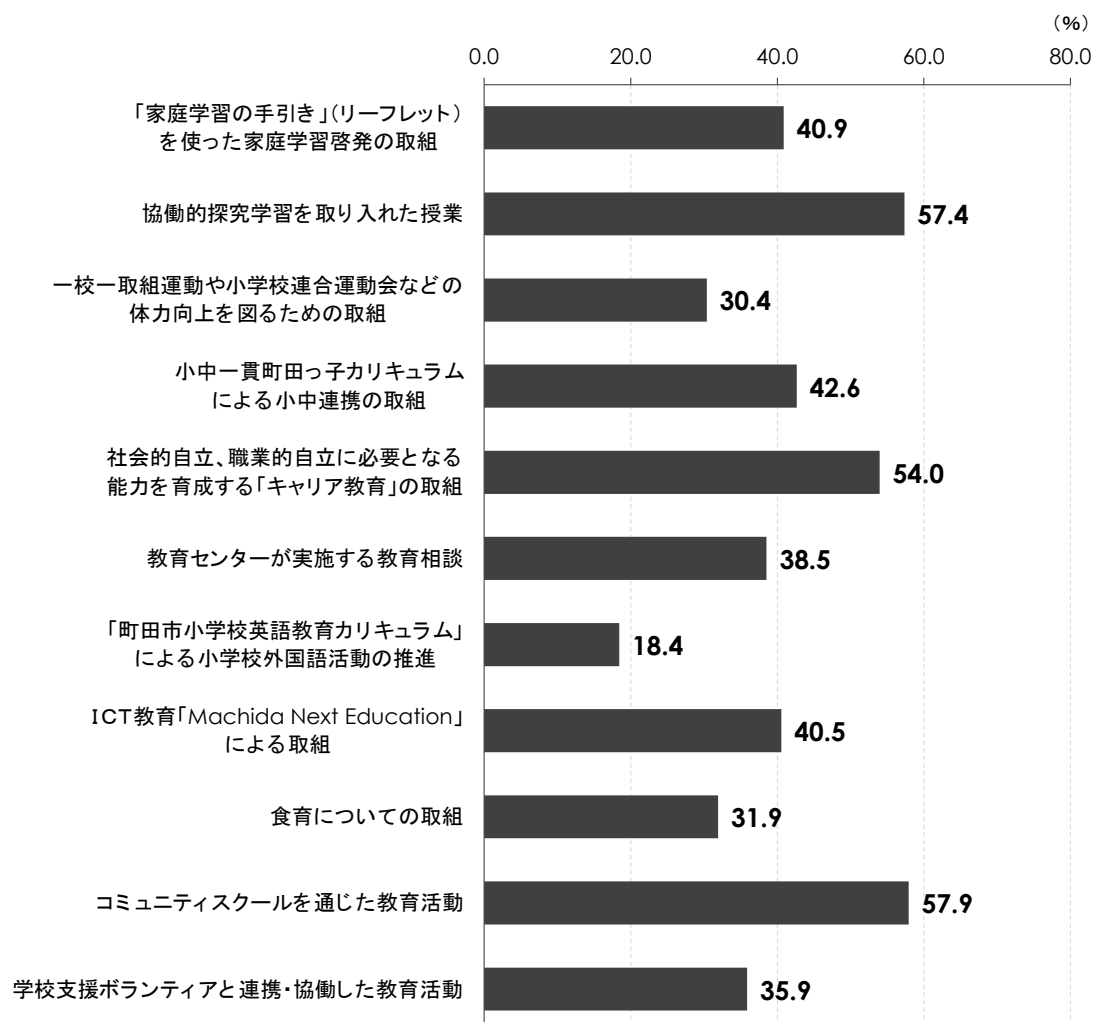
取組内容別に、「内容を含め、よく知っている」の回答をみると、「町田市小学校英語教育カリキュラム」による小学校外国語活動の推進が最も多く 26.4%、次いで「一校一取組運動や小学校連合運動会などの体力向上を図るための取組」が 18.5%、「ICT教育「Machida Next Education」による取組」が 16.0%となっています。

また、「聞いたことがある程度」の回答をみると、「町田市小学校英語教育カリキュラム」による小学校外国語活動の推進が最も多く 54.6%、次いで「食育についての取組」が 53.8%、「学校支援ボランティアと連携・協働した教育活動」が 50.7%となっています。



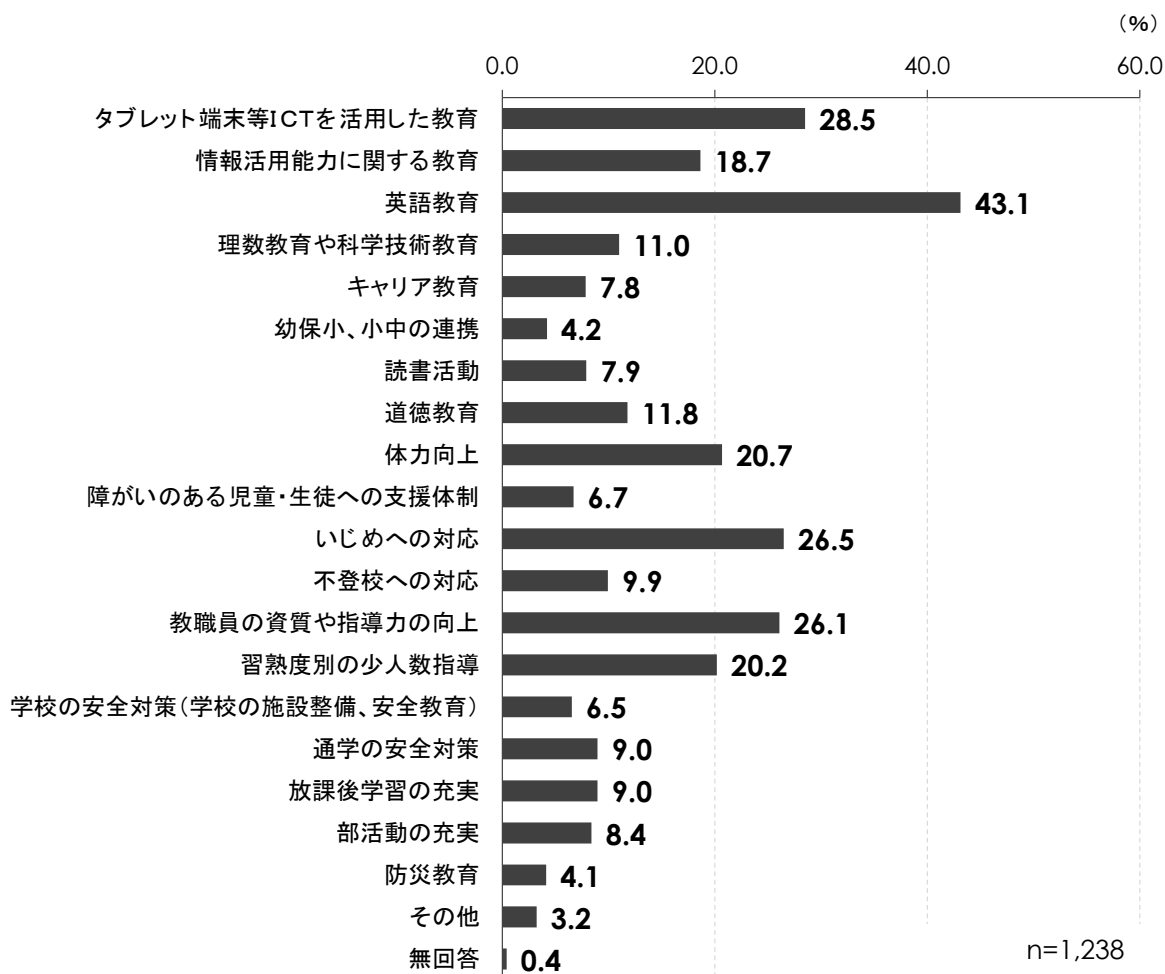
□【参考】取組別、「知らない」の割合

取組内容別に、「知らない」の回答をみると、「コミュニティスクールを通じた教育活動」が最も多く57.9%、次いで「協働的探究学習を取り入れた授業」が57.4%、「社会的自立、職業的自立に必要な能力を育成する「キャリア教育」の取組」による取組が54.0%となっています。



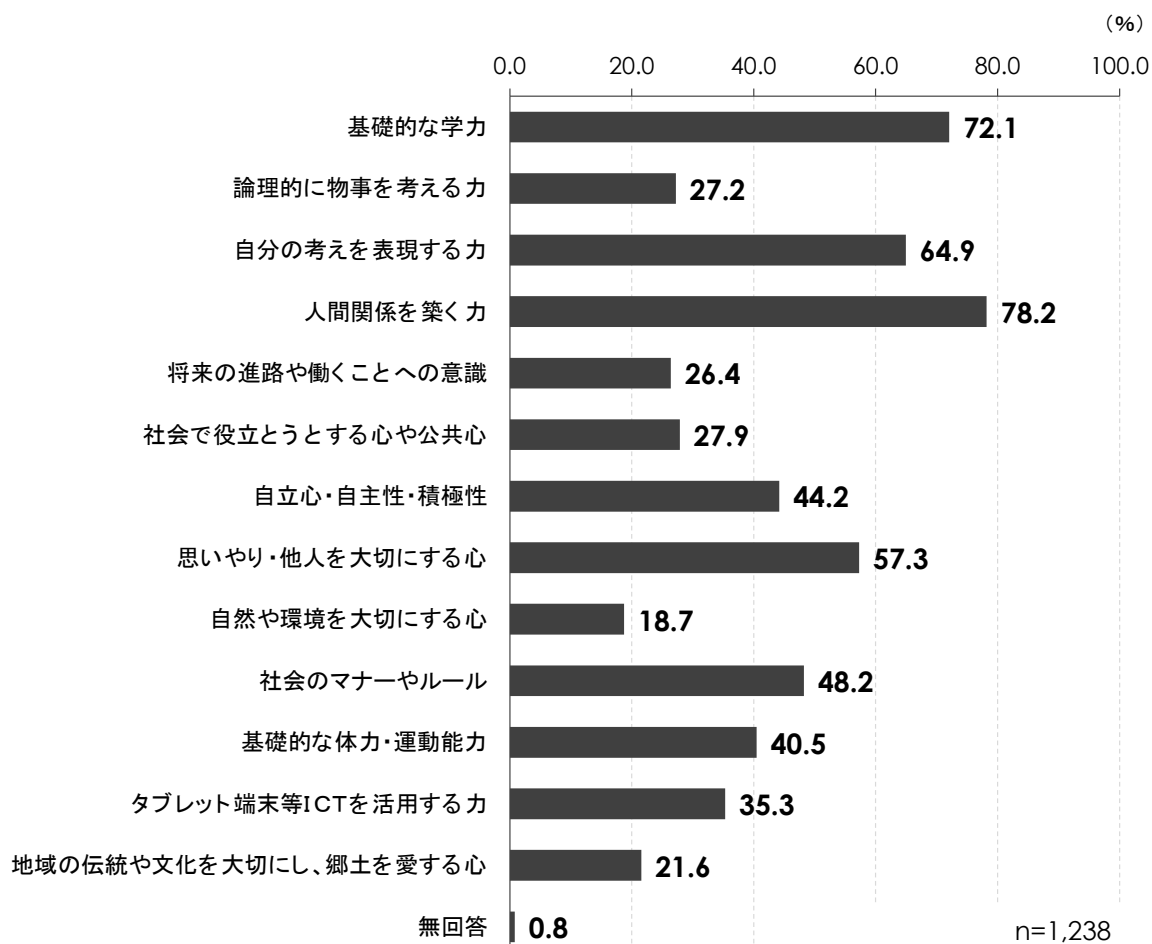
問 7 町田市の学校教育では、今後どのような点に力を入れていくのが望ましいと思いますか。(〇は3つまで)

「英語教育」が最も多く 43.1%、次いで「タブレット端末等 I C Tを活用した教育」が 28.5%、「いじめへの対応」が 26.5%、「教職員の資質や指導力の向上」が 26.1%、「体力向上」が 20.7%となっています。



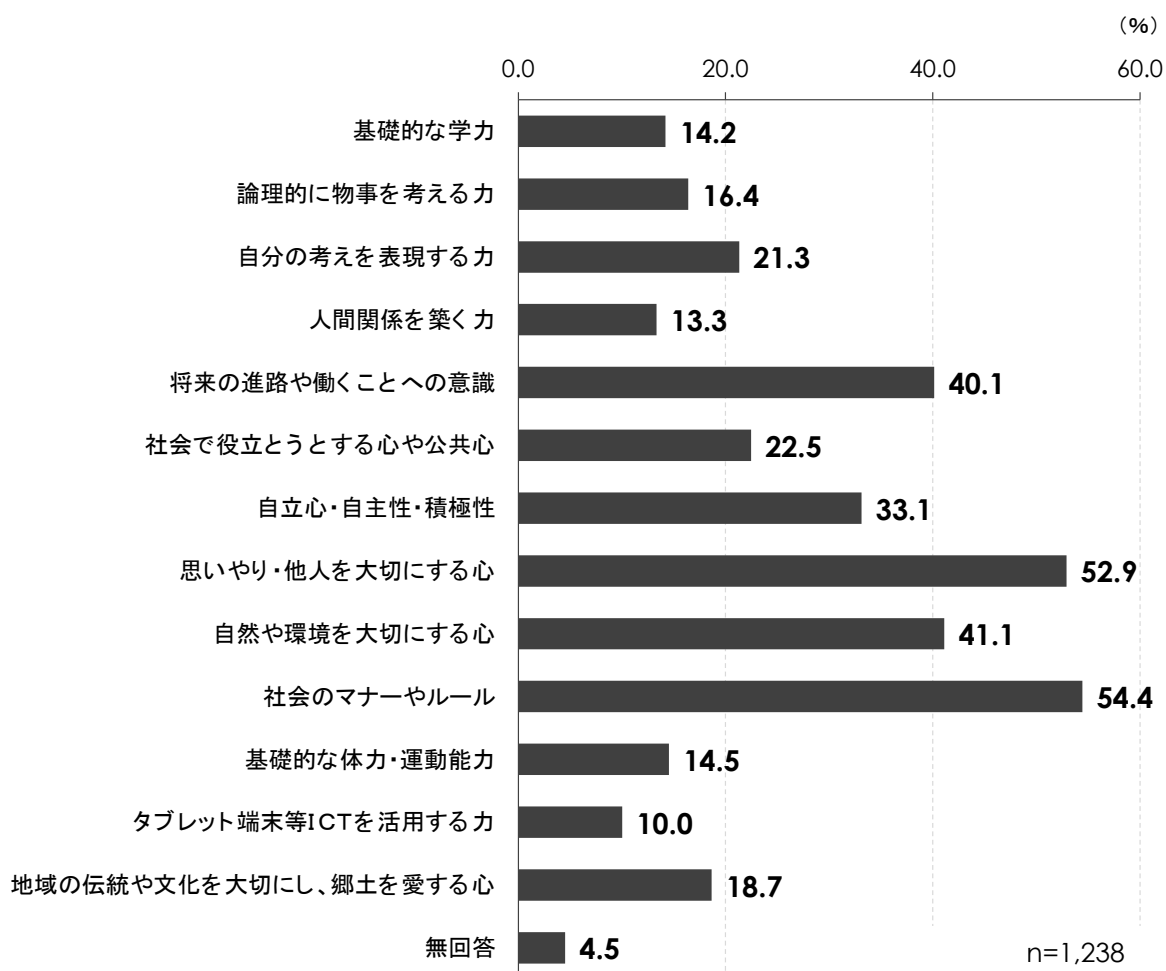
問 8 以下に掲げるものをお子さんに身につけさせるにあたって「学校」で身につける方が効果的だと思うものほど
 ですか。(〇はいくつでも)

「人間関係を築く力」が最も多く78.2%、次いで「基礎的な学力」が72.1%、「自分の考えを表現する力」
 が64.9%、「思いやり・他人を大切にできる心」が57.3%、「社会のマナーやルール」が48.2%となっています。



問 9 以下に掲げるものをお子さんに身につけさせるにあたって「家庭」で身につける方が効果的だと思うものほど
 ですか。(〇はいくつでも)

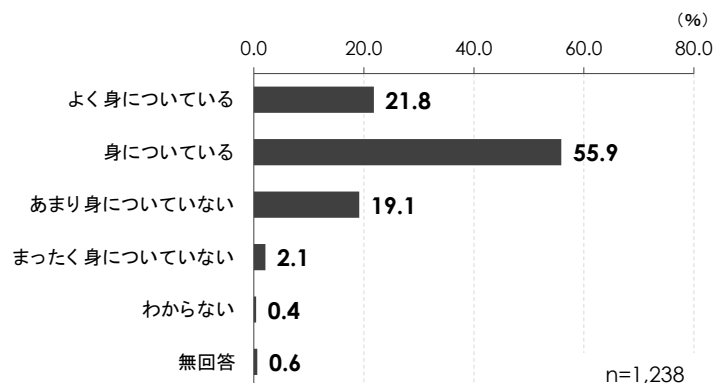
「社会のマナーやルール」が最も多く 54.4%、次いで「思いやり・他人を大切にする心」が 52.9%、「自然や
 環境を大切にする心」が 41.1%、「将来の進路や働くことへの意識」が 40.1%、「自立心・自主性・積極性」
 が 33.1%となっています。



問 10 アンケート用紙を持ち帰ったお子さんには、以下に掲げるものがどの程度身についていると思いますか。
(それぞれ1つに○)

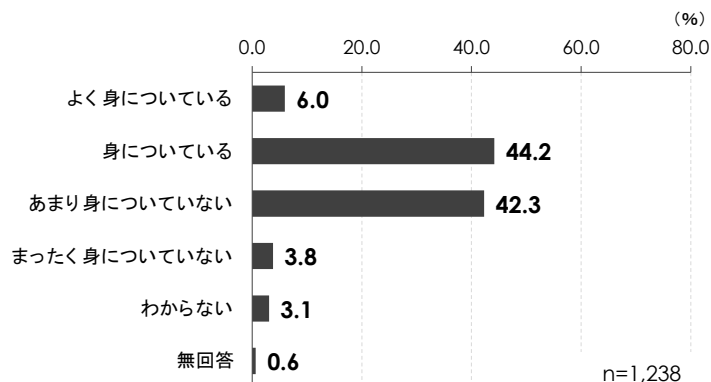
■ 基礎的な学力

「身についている」が最も多く 55.9%、次いで「よく身についている」が 21.8%、「あまり身につけていない」が 19.1%となっています。



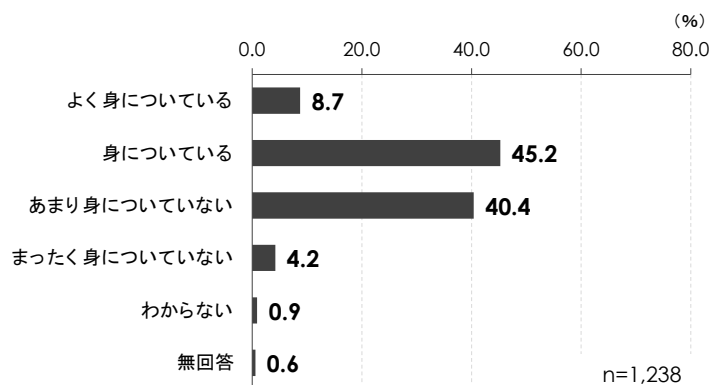
■ 論理的に物事を考える力

「身についている」が最も多く 44.2%、次いで「あまり身につけていない」が 42.3%、「よく身についている」が 6.0%となっています。



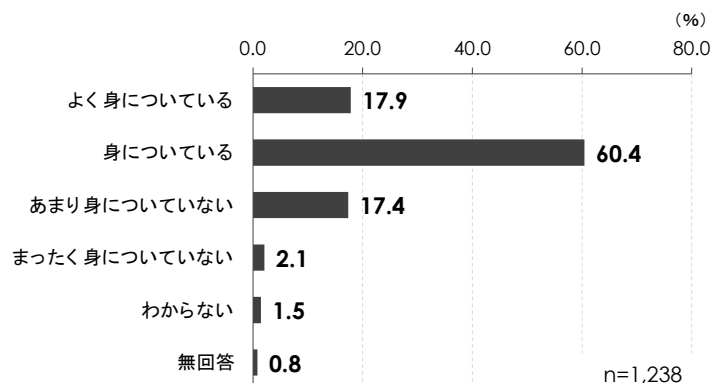
■ 自分の考えを表現する力

「身についている」が最も多く 45.2%、次いで「あまり身につけていない」が 40.4%、「よく身についている」が 8.7%となっています。



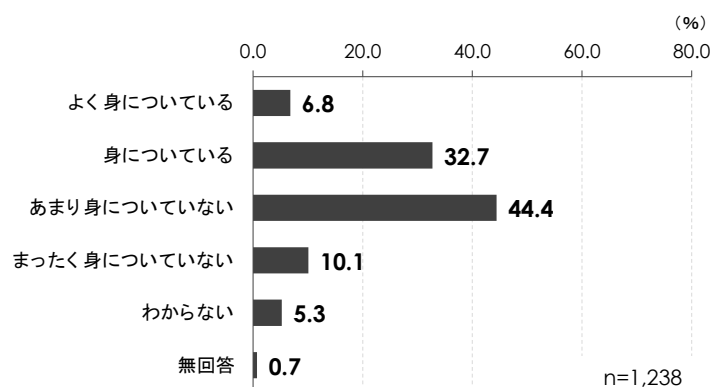
■ 人間関係を築く力

「身についている」が最も多く 60.4%、次いで「よく身についている」が 17.9%、「あまり身についていない」が 17.4%となっています。



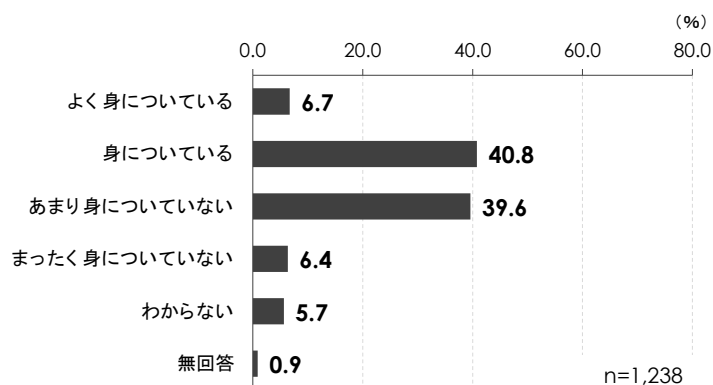
■ 将来の進路や働くことへの意識

「あまり身についていない」が最も多く 44.4%、次いで「身についている」が 32.7%、「まったく身についていない」が 10.1%となっています。



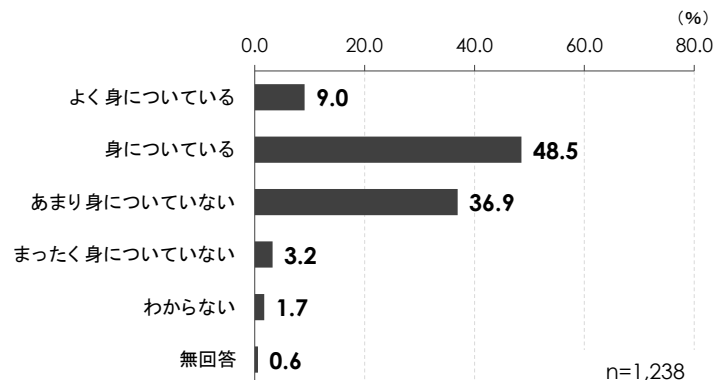
■ 社会で役立つととする心や公共心

「身についている」が最も多く 40.8%、次いで「あまり身についていない」が 39.6%、「よく身についている」が 6.7%となっています。



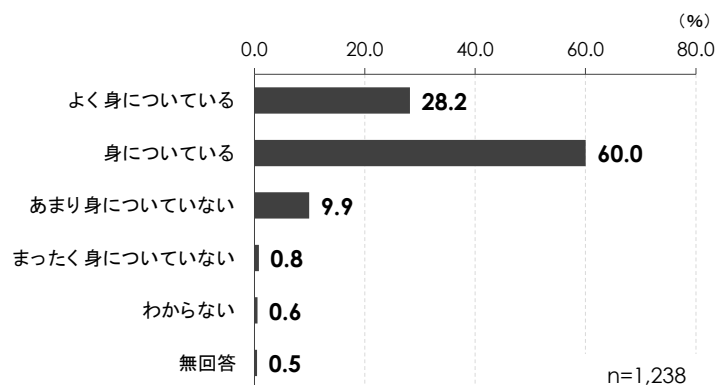
■ 自立心・自主性・積極性

「身についている」が最も多く 48.5%、次いで「あまり身についていない」が 36.9%、「よく身についている」が 9.0%となっています。



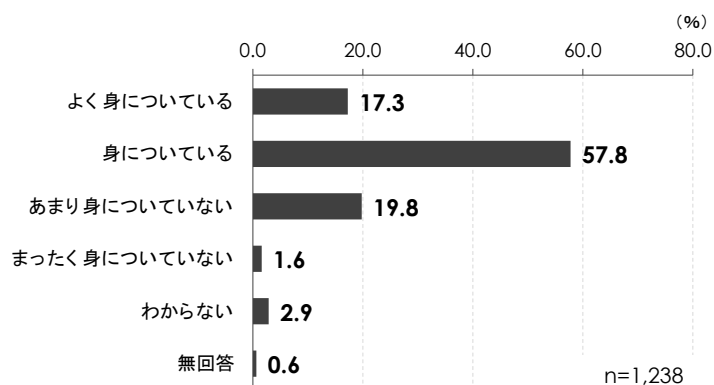
■ 思いやり・他人を大切にする心

「身についている」が最も多く 60.0%、次いで「あまり身についていない」が 28.2%、「よく身についている」が 9.9%となっています。



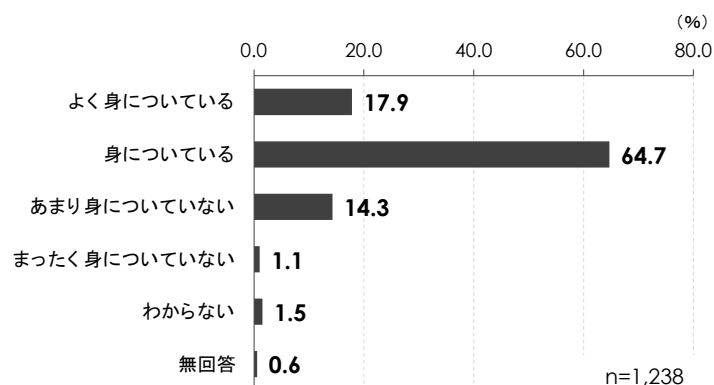
■ 自然や環境を大切にする心

「身についている」が最も多く 57.8%、次いで「あまり身についていない」が 19.8%、「よく身についている」が 17.3%となっています。



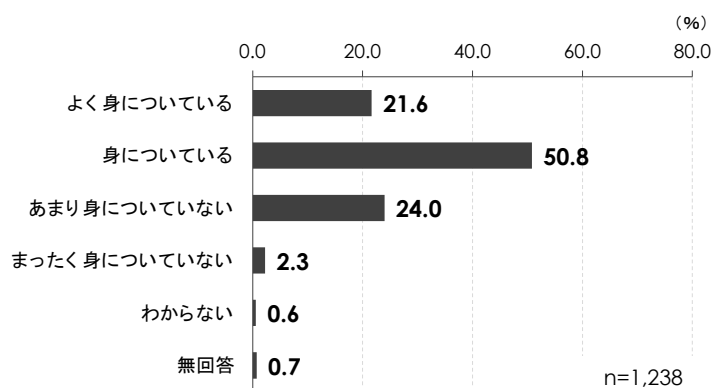
■ 社会のマナーやルール

「身についている」が最も多く 64.7%、次いで「よく身についている」が 17.9%、「あまり身についていない」が 14.3%となっています。



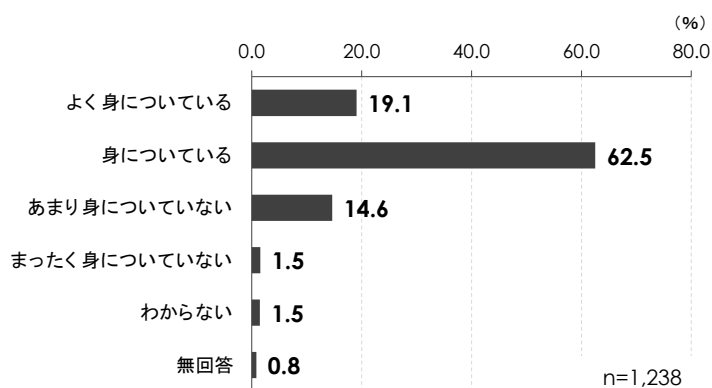
■ 基礎的な体力・運動能力

「身についている」が最も多く 50.8%、次いで「あまり身についていない」が 24.0%、「よく身についている」が 21.6%となっています。



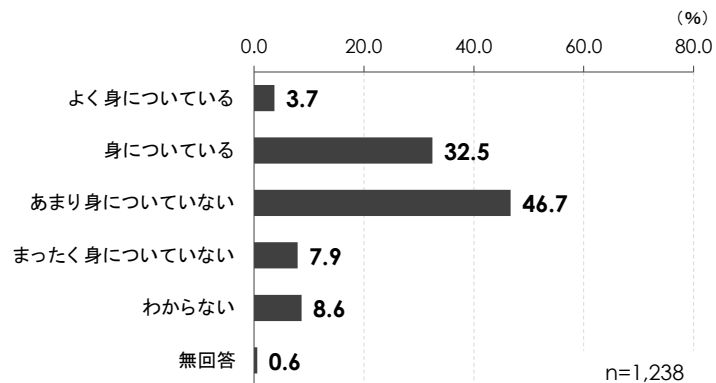
■ タブレット端末等 I C Tを活用する力

「身についている」が最も多く 62.5%、次いで「よく身についている」が 19.1%、「あまり身についていない」が 14.6%となっています。



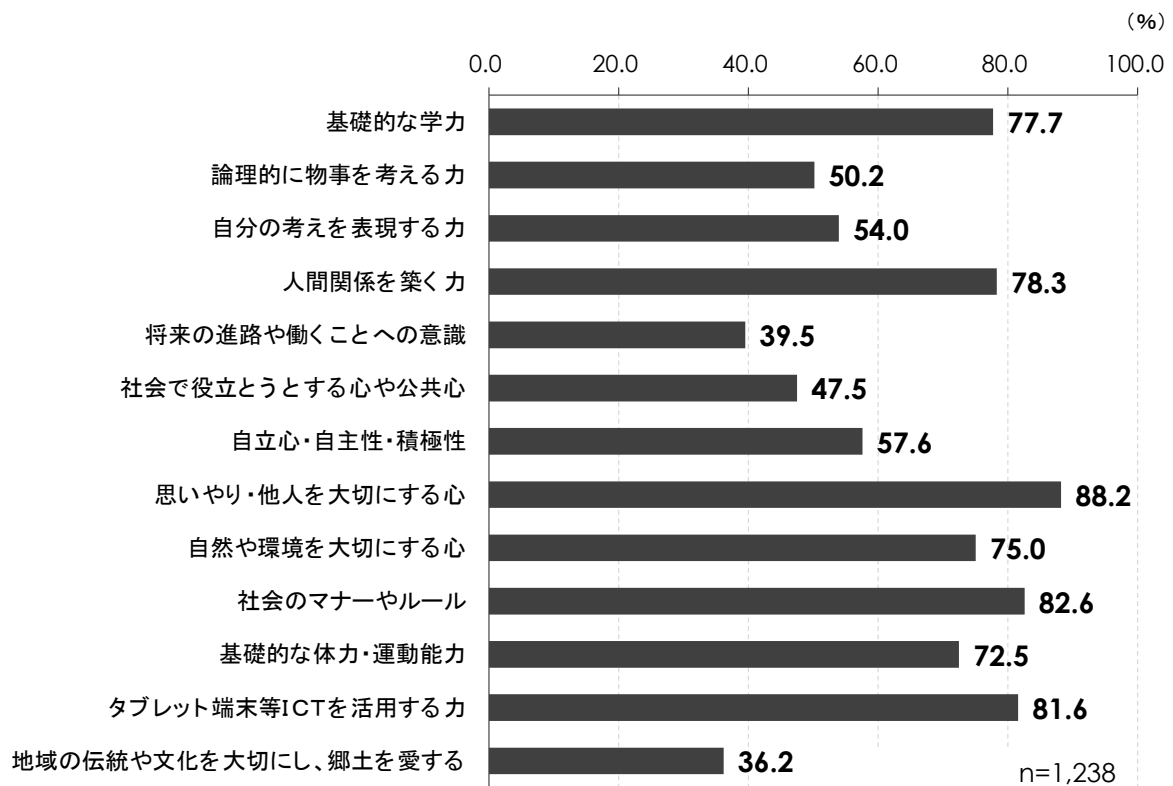
■ 地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心

「あまり身についていない」が最も多く 32.5%、次いで「身についている」が 32.5%、「わからない」が 8.6%となっています。



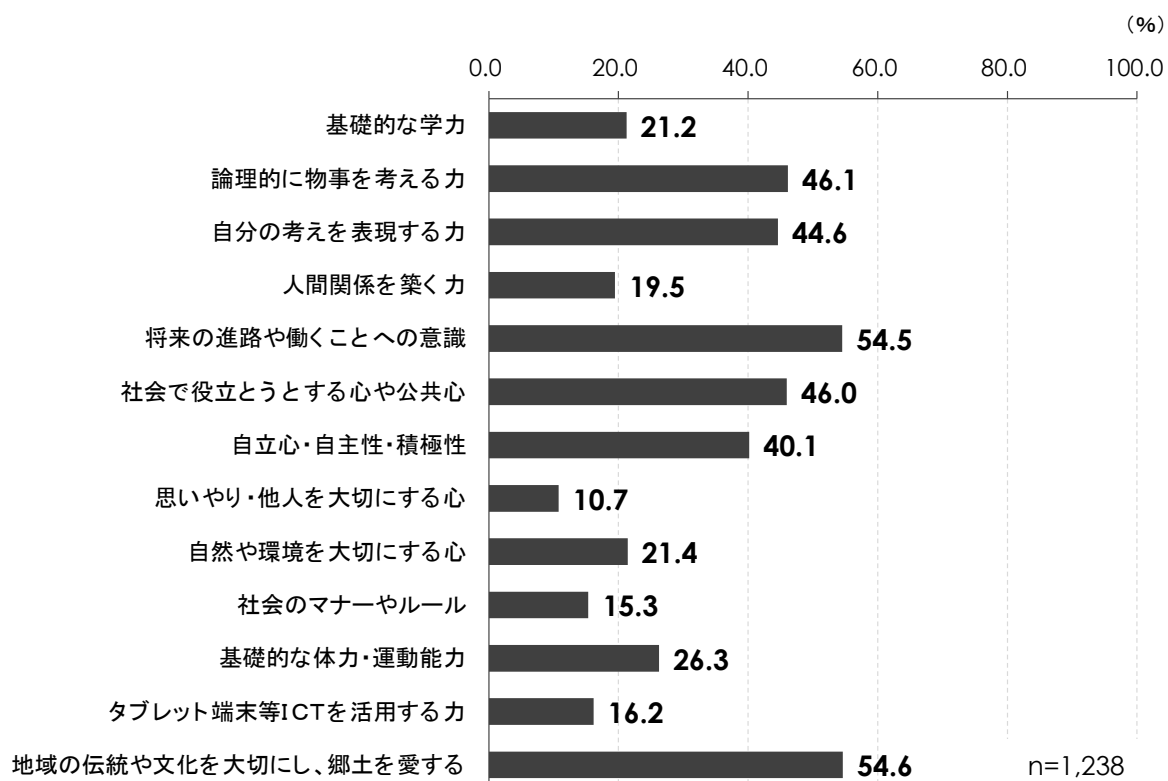
□【参考】項目別、“身についている”の割合（「よく身についている」と「身についている」の合計）

項目別に、“身についている”の割合（「よく身についている」と「身についている」の合計）の回答をみると、「思いやり・他人を大切にできる心」が最も多く 88.2%、次いで「社会のマナーやルール」が 82.6%、「タブレット端末等 ICT を活用する力」が 81.6%、「人間関係を築く力」が 78.3%、「基礎的な学力」が 77.7%となっています。



□【参考】項目別、“身につけていない”の割合（「あまり身につけていない」と「まったく身につけていない」の合計）

項目別に、“身につけていない”の割合（「あまり身につけていない」と「まったく身につけていない」の合計）の回答をみると、「地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心」が最も多く 54.6%、次いで「将来の進路や働くことへの意識」が 54.5%、「論理的に物事を考える力」が 46.1%、「社会で役立とうとする心や公共心」が 46.0%、「自分の考えを表現する力」が 44.6%となっています。



□【参考】項目別、「学校」で身につけるほうが効果的、「家庭」で身につけるほうが効果的、「身につけている」、「身につけていない」の割合の比較

“身につけている”よりも“身につけていない”の割合が高い項目は、「将来の進路や働くことへの意識」と「地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する」の2つとなっています。

「将来の進路や働くことへの意識」は、「学校」で身につけるほうが効果的より「家庭」で身につけるほうが効果的の割合が13.7ポイント高くなっています。

また、「地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する」は、「家庭」で身につけるほうが効果的より「学校」で身につけるほうが効果的の割合が2.9ポイント高くなっています。

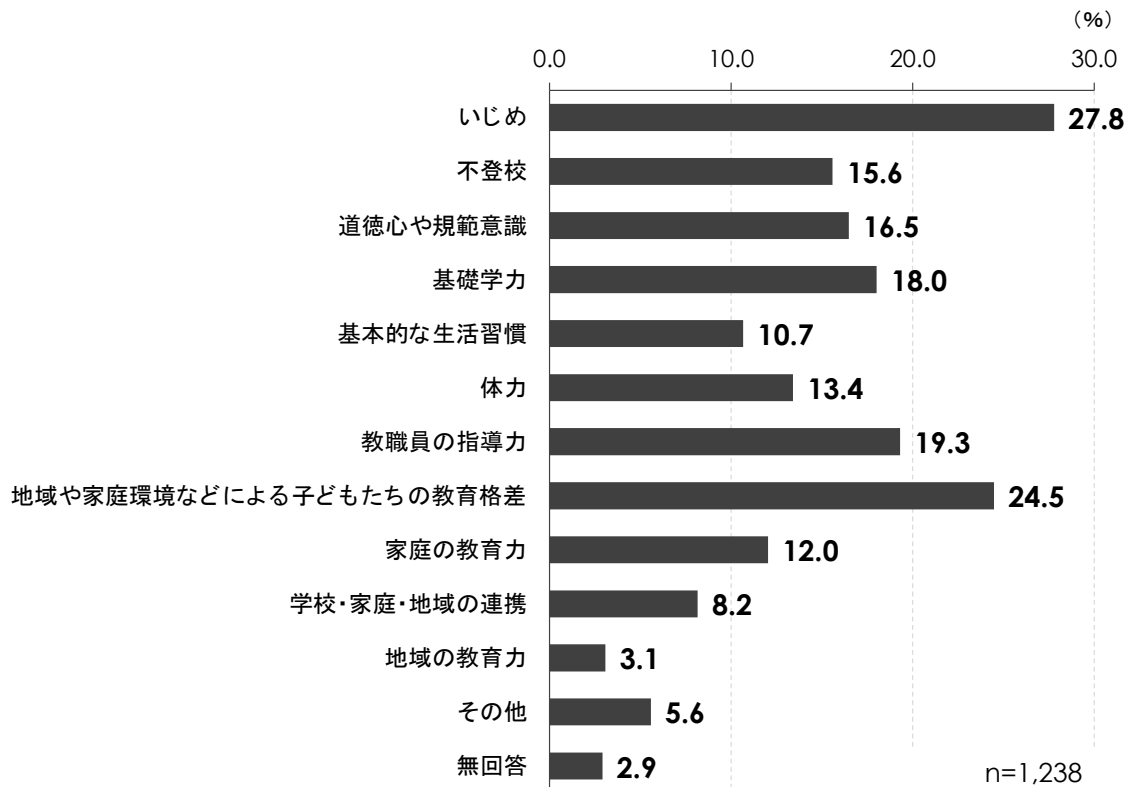
項目	「学校」で身につけるほうが効果的	「家庭」で身につけるほうが効果的	身につけている※	身につけていない※
基礎的な学力	72.1%	14.2%	77.7%	21.2%
論理的に物事を考える力	27.2%	16.4%	50.2%	46.1%
自分の考えを表現する力	64.9%	21.3%	54.0%	44.6%
人間関係を築く力	78.2%	13.3%	78.3%	19.5%
将来の進路や働くことへの意識	26.4%	40.1%	39.5%	54.5%
社会で役立つ心や公共心	27.9%	22.5%	47.5%	46.0%
自立心・自主性・積極性	44.2%	33.1%	57.6%	40.1%
思いやり・他人を大切にする心	57.3%	52.9%	88.2%	10.7%
自然や環境を大切にする心	18.7%	41.1%	75.0%	21.4%
社会のマナーやルール	48.2%	54.4%	82.6%	15.3%
基礎的な体力・運動能力	40.5%	14.5%	72.5%	26.3%
タブレット端末等 I C T を活用する力	35.3%	10.0%	81.6%	16.2%
地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する	21.6%	18.7%	36.2%	54.6%

※“身につけている”の割合（「よく身につけている」と「身につけている」の合計）

※“身につけていない”の割合（「あまり身につけていない」と「まったく身につけていない」の合計）

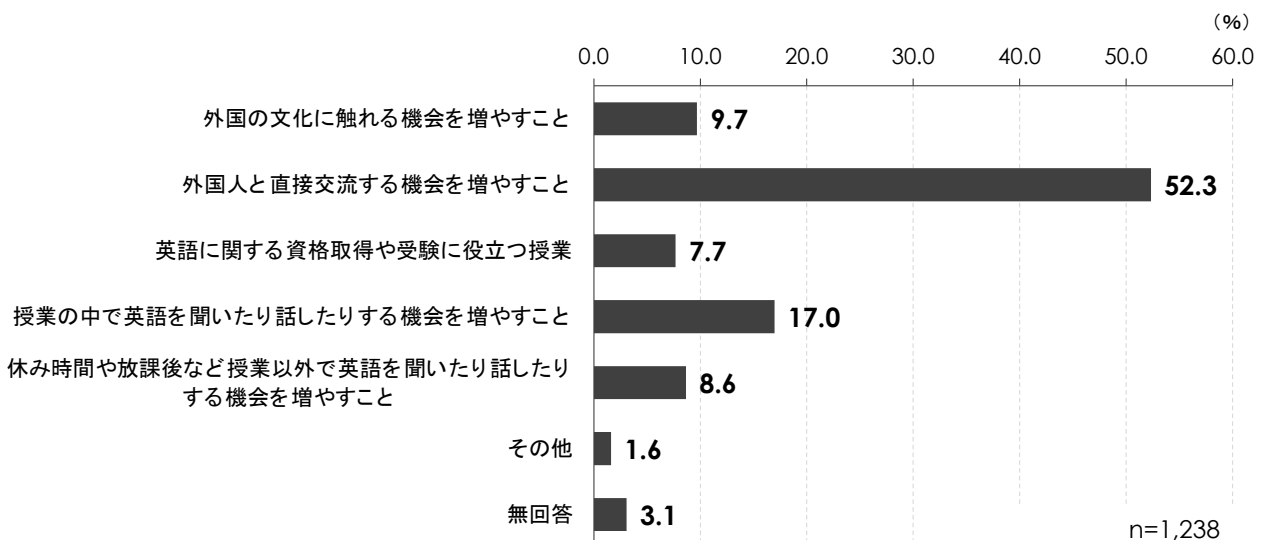
問 11 子どもたちの教育や環境について、課題と感じていることは何ですか。（○は2つまで）

「いじめ」が最も多く27.8%、次いで「地域や家庭環境などによる子どもたちの教育格差」が24.5%、「教職員の指導力」が19.3%、「基礎学力」が18.0%、「道徳心や規範意識」が16.5%となっています。



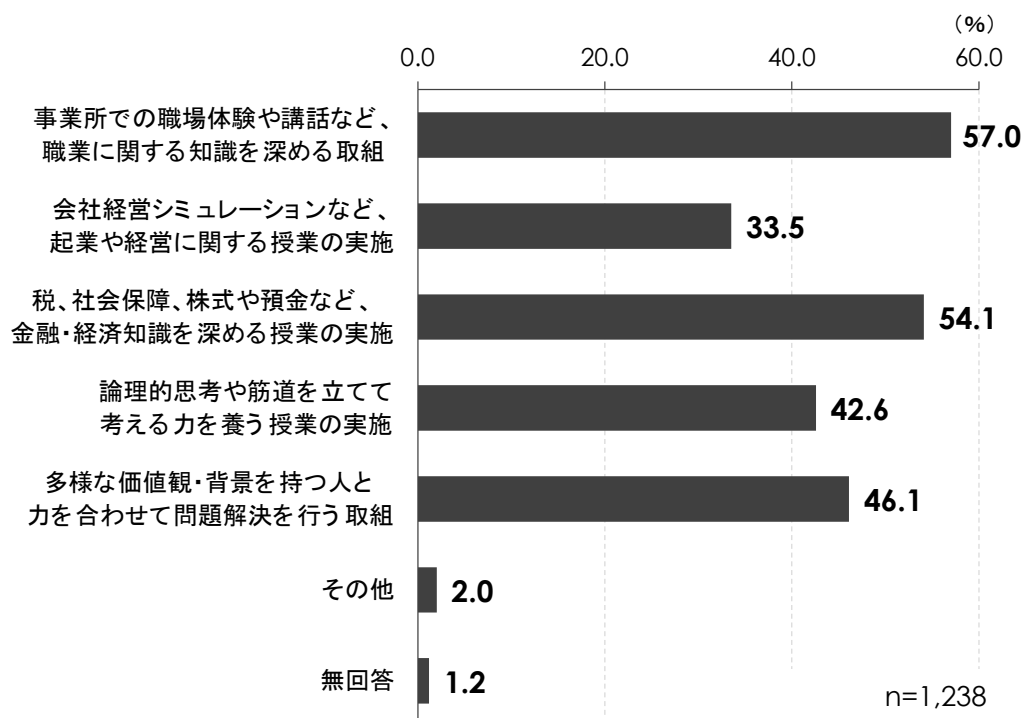
問 12 町田市では英語教育の推進に取り組んでいますが、どのようなことに力を入れていくことが最も望ましいと思いますか。（○は1つ）

「外国人と直接交流する機会を増やすこと」が最も多く 52.3%、次いで「授業の中で英語を聞いたり話したりする機会を増やすこと」が17.0%、「外国の文化に触れる機会を増やすこと」が9.7%となっています。



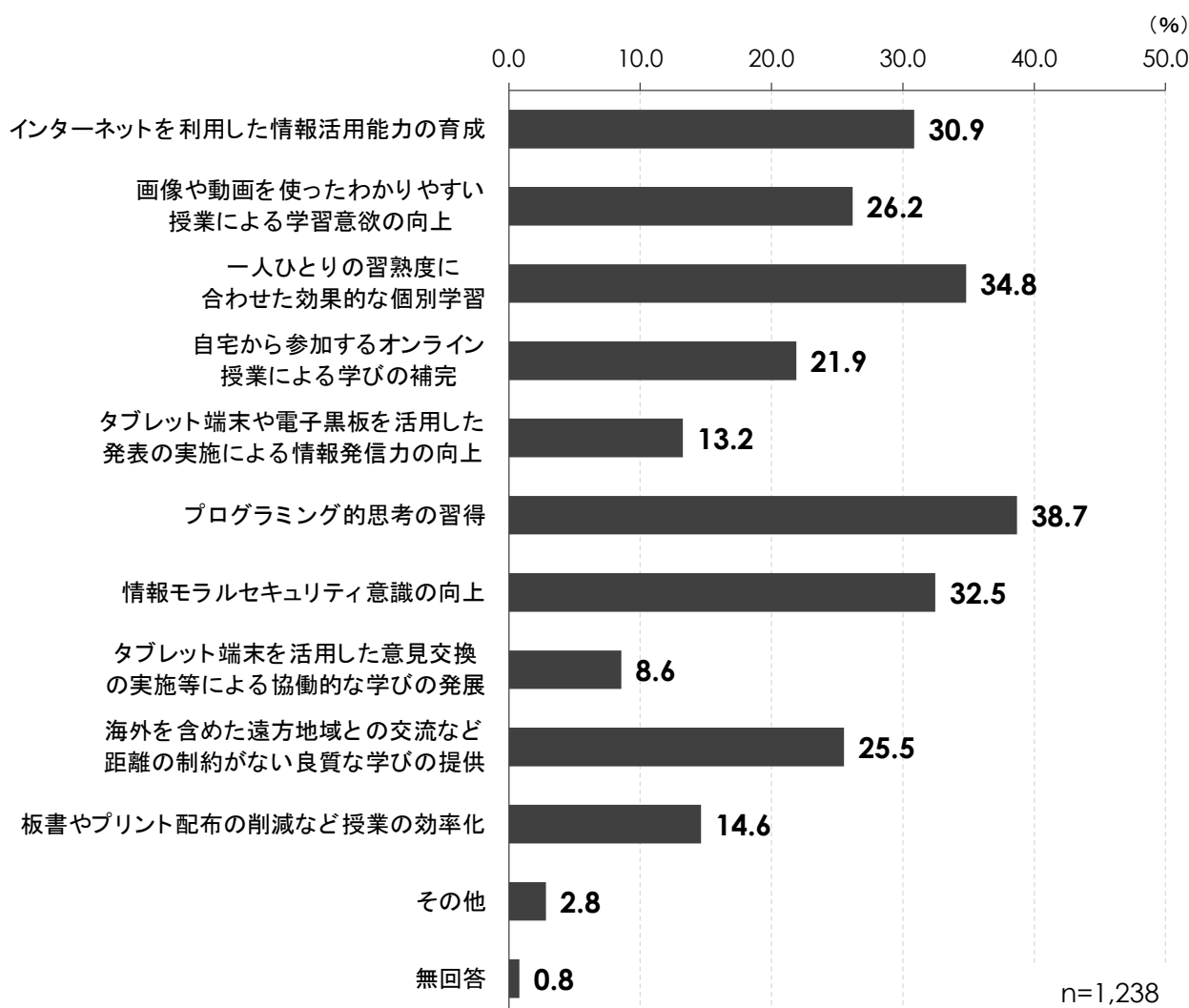
問 13 町田市では、お子さんの将来的な社会的・職業的自立に向けて必要となる能力や態度を育成する「キャリア教育」を推進しています。以下の項目の中で実施すべき、または、さらに力を入れて取り組むべきと思うものはどれですか。（〇はいくつでも）

「事業所での職場体験や講話など、職業に関する知識を深める取組」が最も多く 57.0%、次いで「税、社会保障、株式や預金など、金融・経済知識を深める授業の実施」が 54.1%、「多様な価値観・背景を持つ人と力を合わせて問題解決を行う取組」が 46.1%となっています。



問 14 町田市では、ICTを活用した教育を推進しています。あなたがICTの活用に期待することは何ですか。(〇は3つ以内)

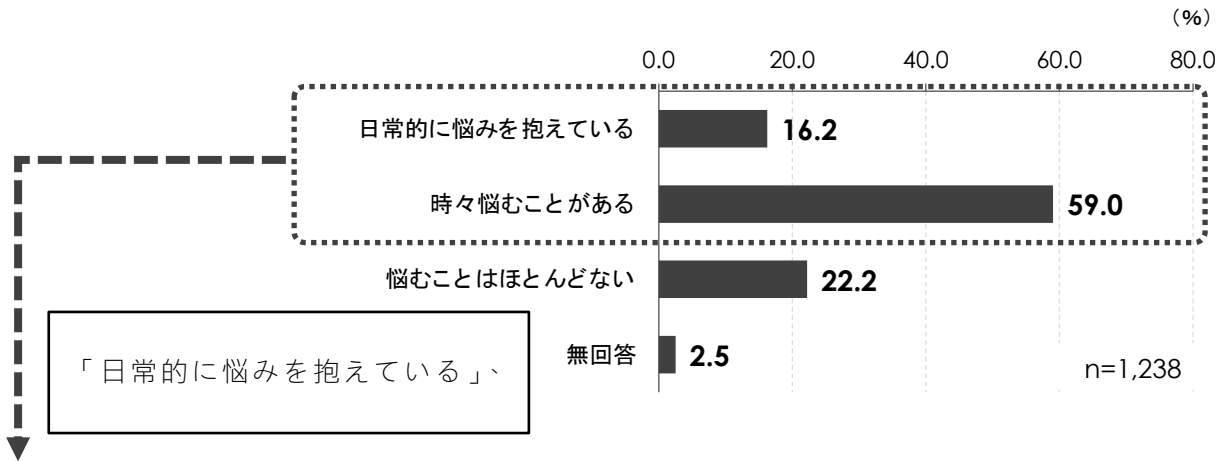
「プログラミング的思考の習得」が最も多く 38.7%、次いで「一人ひとりの習熟度に合わせて効果的な個別学習」が 34.8%、「外情報モラルセキュリティ意識の向上」が 32.5%、「インターネットを利用した情報活用能力の育成」が 30.9%、「画像や動画を使ったわかりやすい授業による学習意欲の向上」が 26.2%となっています。



④教育に関する相談について

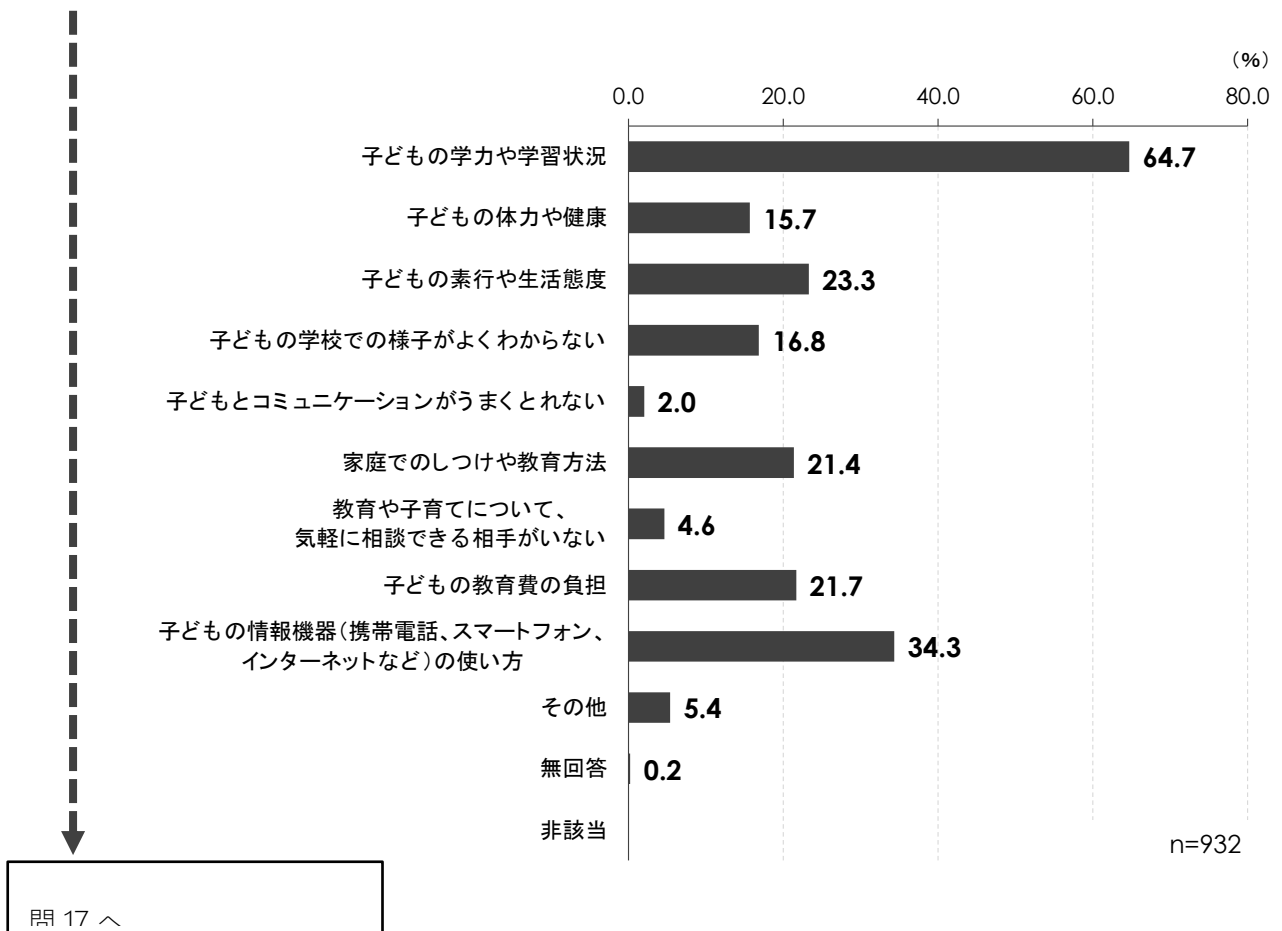
問 15 お子さんの教育に関して、現在困ったり悩んだりしていることはありますか。（○は 1 つ）

「感謝の心を大切にできる人」が最も多く 52.7%、次いで「自分にも他人にも優しくできる人」が 44.0%、「幸せを感じることができる人」が 38.2%となっています。



問 16 お子さんの教育に関して、現在困ったり悩んだりしていることはありますか。（○は 1 つ）

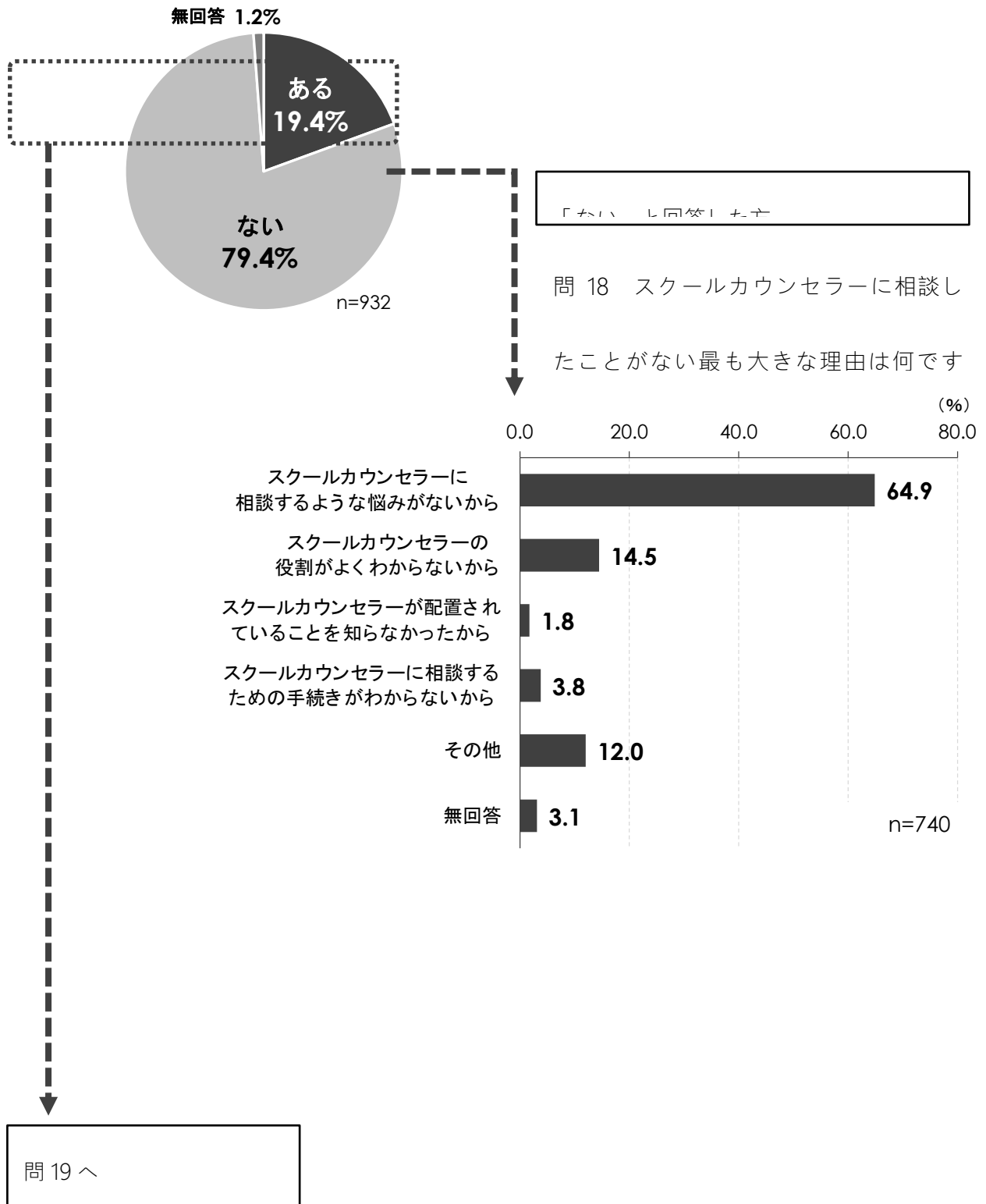
「子どもの学力や学習状況」が最も多く 64.7%、次いで「子どもの情報機器（携帯電話、スマートフォン、インターネットなど）の使い方」が 34.3%、「子どもの素行や生活態度」が 21.7%、「家庭でのしつけや教育方法」が 21.4%、「子どもの学校での様子がよくわからない」が 16.8%となっています。



問 17 各小・中学校にはスクールカウンセラーを配置していますが、相談したことはありますか。(○は1つ)

「ある」は 19.4%、「ない」は 79.4%となっています。

また、「ない」と回答した方がスクールカウンセラーに相談したことがない最も大きな理由について、「スクールカウンセラーに相談するような悩みがないから」が最も多く 64.9%、次いで「スクールカウンセラーの役割がよくわからないから」が 14.5%、「その他」が 12.0%となっています。

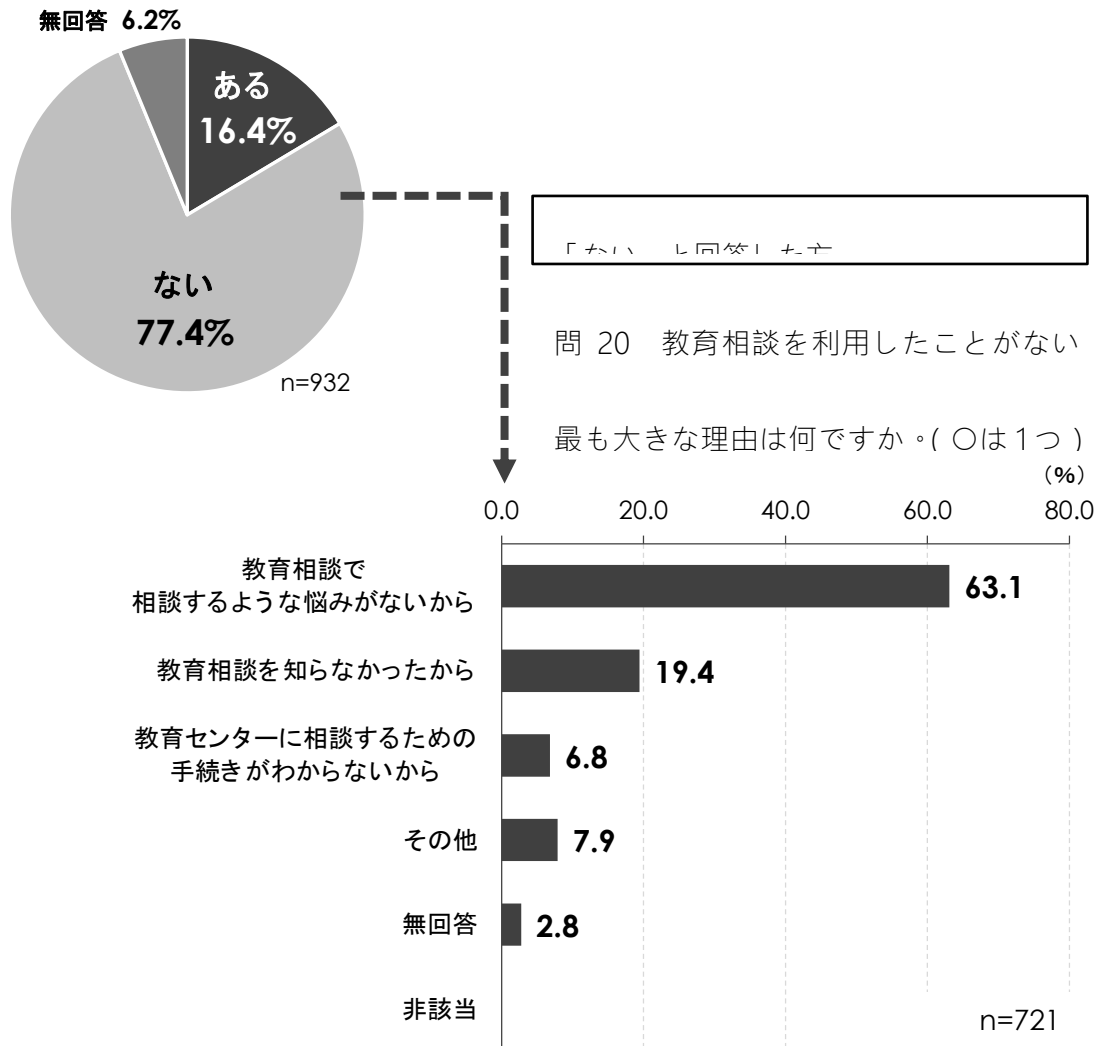




問 19 教育センターの教育相談を利用したことがありますか。(〇は1つ)

「ある」は 16.4%、「ない」は 77.4%となっています。

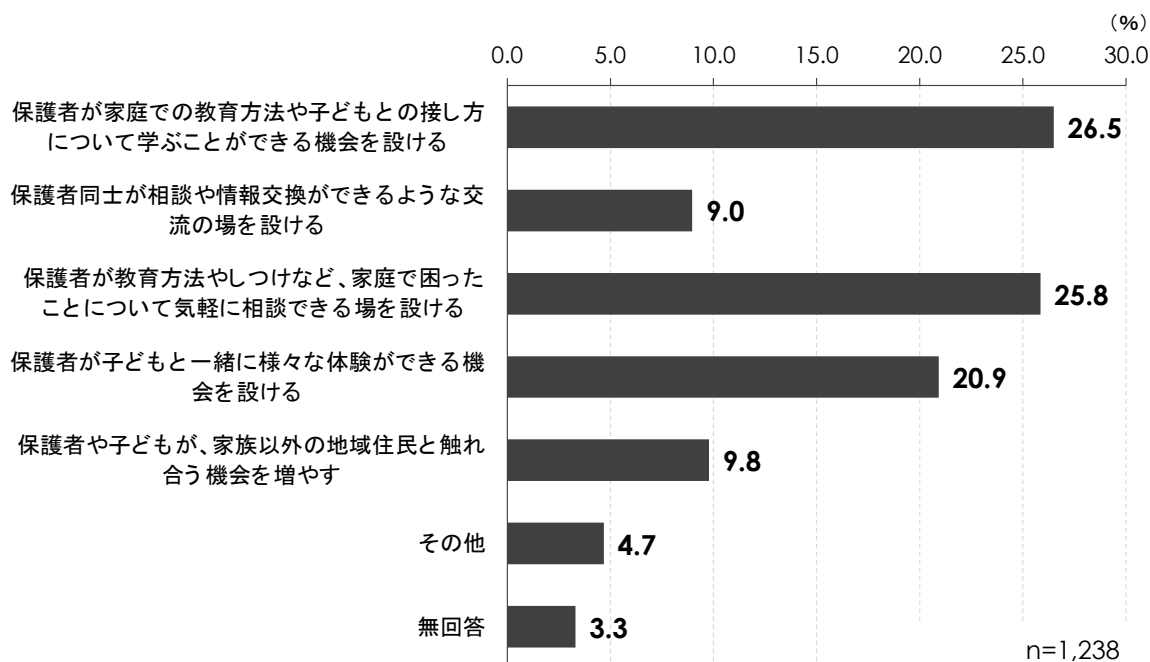
また、「ない」と回答した方が教育相談に相談したことがない最も大きな理由について、「教育相談で相談するような悩みがないから」が最も多く 63.1%、次いで「教育相談を知らなかったから」が 19.4%、「その他」が 7.9%となっています。



⑤学校・家庭・地域の連携について

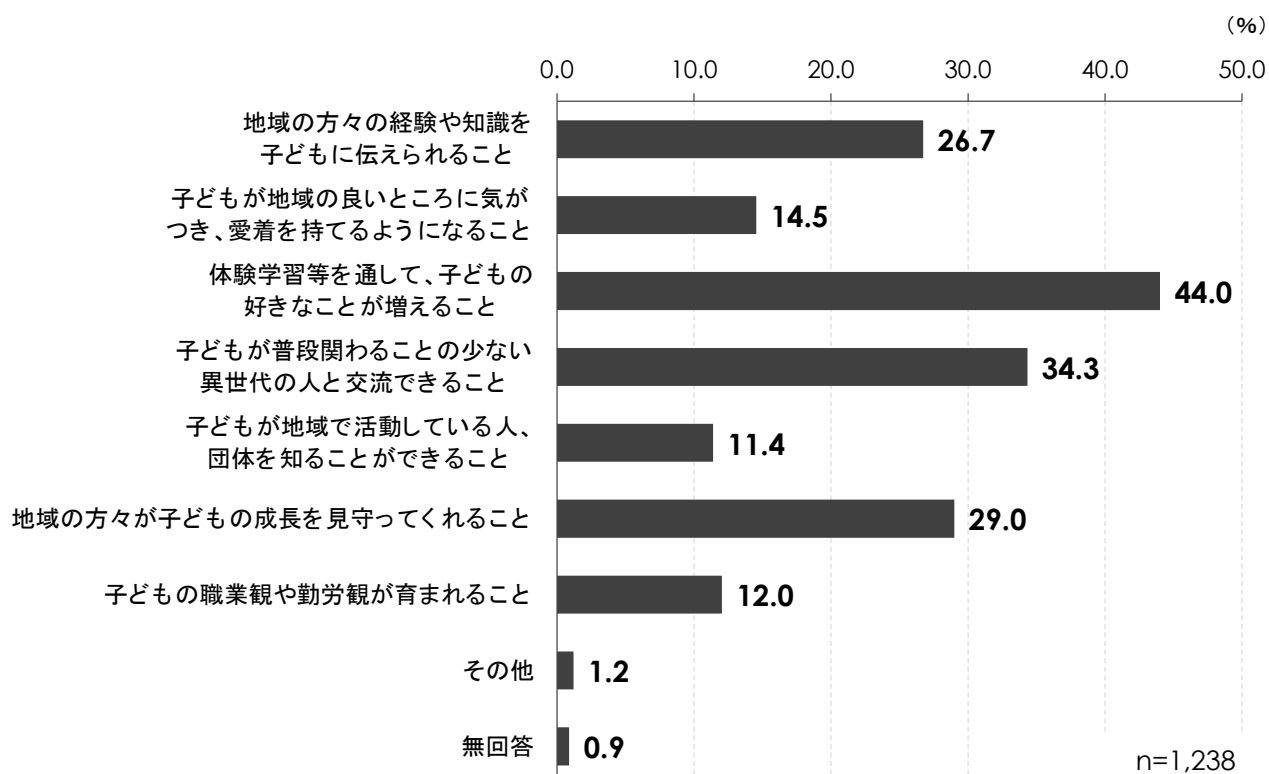
問 21 家庭の教育力をより高めていくために、どのような取組が最も必要だと思いますか。(〇は1つ)

「保護者が家庭での教育方法や子どもとの接し方について学ぶことができる機会を設ける」が最も多く26.5%、次いで「保護者が教育方法やしつけなど、家庭で困ったことについて気軽に相談できる場を設ける」が25.8%、「保護者が子どもと一緒に様々な体験ができる機会を設ける」が20.9%となっています。



問 22 町田市では、2021 年度からすべての学校をコミュニティスクール（※）に移行しました。今後も学校・家庭・地域に住む方々が協力をして子どもたちの成長を支えることに取り組んでいきますが、地域の方々が学校の授業や運営に参画していただくことに期待することは何ですか。（〇は 2 つ以内）

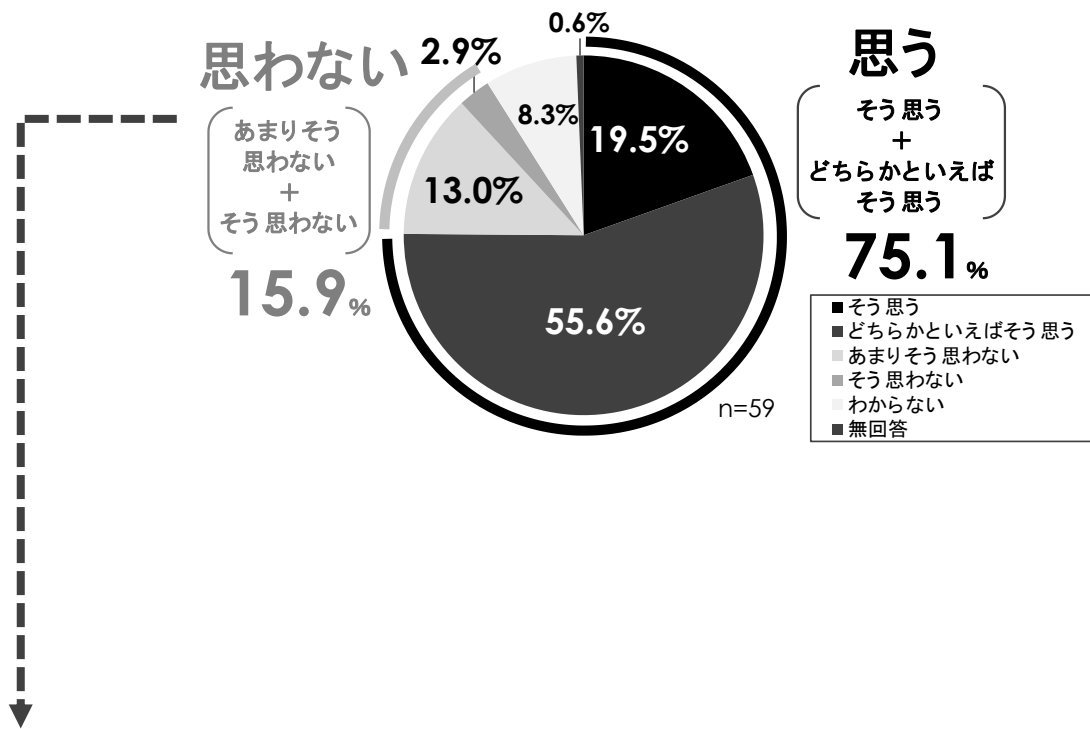
「体験学習等を通して、子どもの好きなことが増えること」が最も多く 44.0%、次いで「子どもが普段関わることの少ない異世代の人と交流できること」が 34.3%、「地域の方々が子どもの成長を見守ってくれること」が 29.0%となっています。



（※）コミュニティスクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める取組です。

問 23 学校は学校の情報を保護者や地域住民へ提供していると思いますか。(〇は1つ)

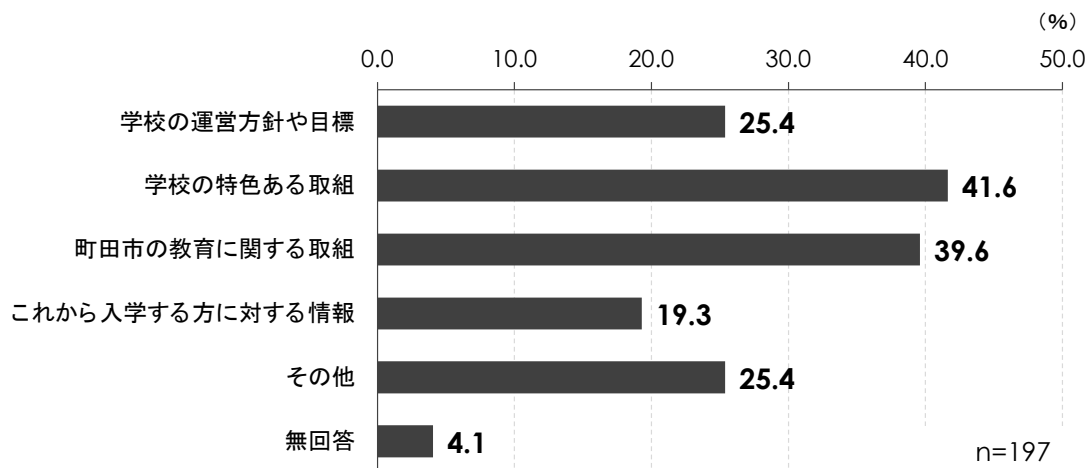
“思う”が 75.1%（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）で、“思わない”が 15.9%（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）となっています。



「あまりそう思わない」、「そう思わない」と回答した方

問 24 どのような情報が十分に提供されていないと思いますか。(〇はいくつでも)

「学校の特色ある取組」が最も多く 41.6%、次いで「町田市に関する取組」が 39.6%、「学校の運営方針や目標」と「その他」がそれぞれ 25.4%となっています。



⑥放課後の活動について

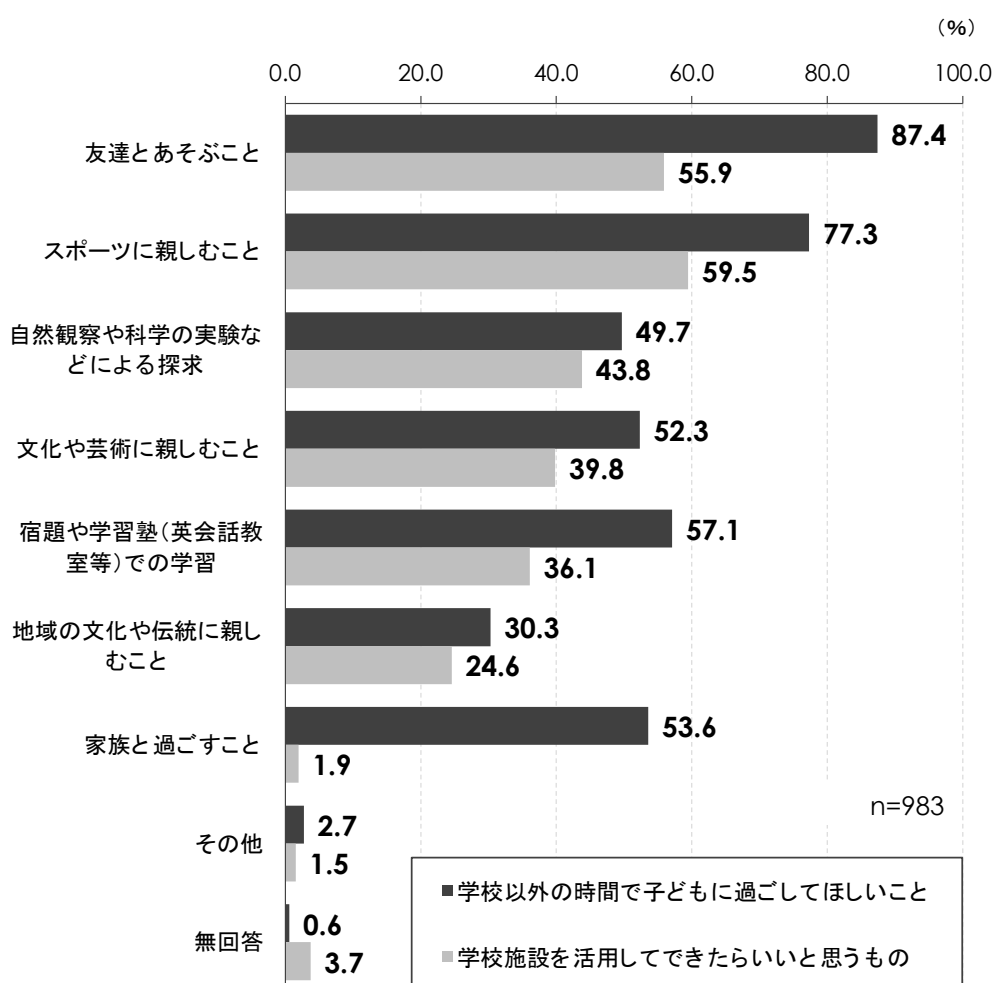
子どもたちの成長には、学校生活を通して経験できることや習得できる知識・技能に加え、学校生活以外で得られる体験も大切だと考えます。そこで、問 25 及び問 26 についておうかがいします。

問 25 学校の時間以外で、お子さんに多くの時間を過ごしてほしいことは何ですか。（〇はいくつでも）

問 26 問 25 でお答えいただいたことのうち、学校施設を活用してできたらいいと思うものは何ですか。（〇はいくつでも）

学校の時間以外で子どもに多くの時間を過ごしてほしいことについて、「友達とあそぶこと」が最も多く 87.4%、次いで「スポーツに親しむこと」が 77.3%、「宿題や学習塾（英会話教室等）での学習」が 57.1%となっています。

また、学校施設を活用してできたらいいと思うものについて、「スポーツに親しむこと」が最も多く 59.5%、次いで「友達とあそぶこと」が 55.9%、「自然観察や科学の実験などによる探求」が 43.8%となっています。

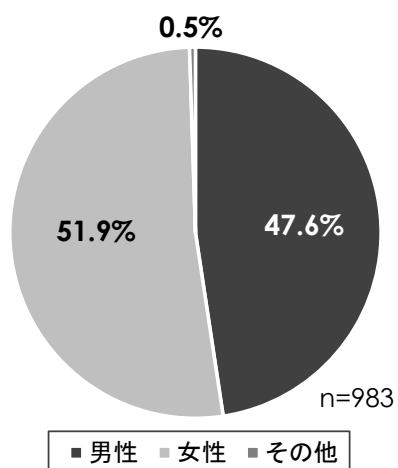


(3) 【教員用】町田市の教育についてのアンケート

①あなた自身のことについて

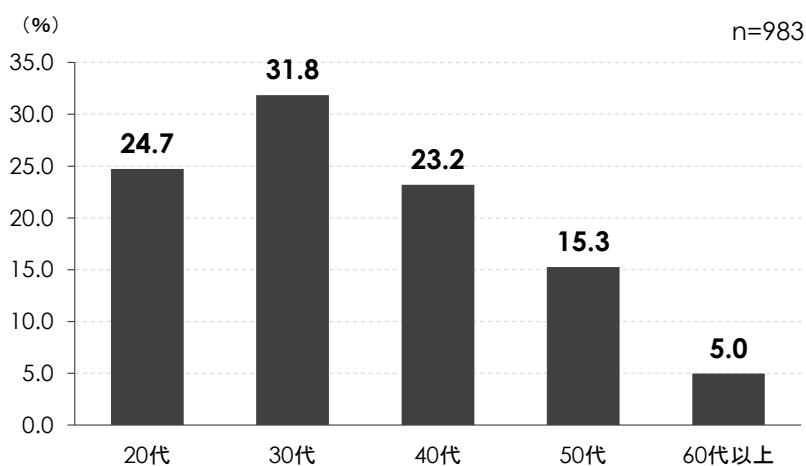
問 1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

「男性」が47.6%、「女性」が51.9%となっています。



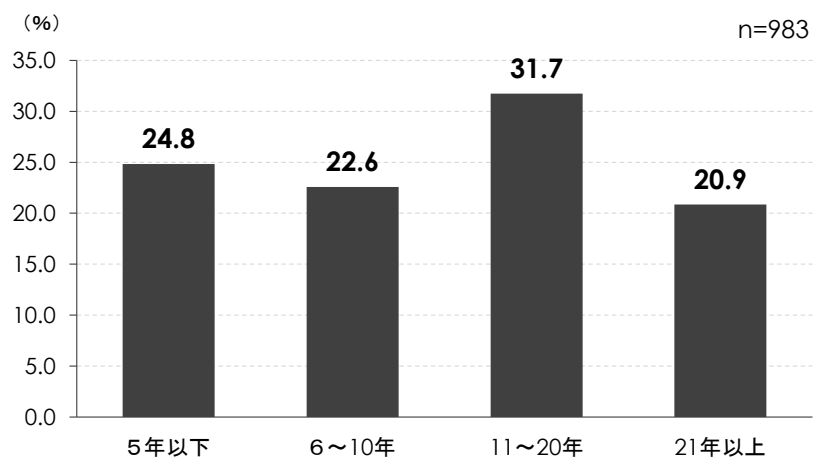
問 2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

「30代」が最も多く31.8%、次いで「20代」が24.7%、「40代」が23.2%となっています。



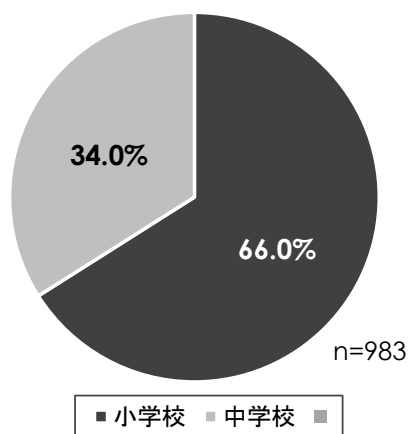
問 3 あなたの教員としての経験年数は何年ですか。(○は1つ)

「11～20年」が最も多く31.7%、次いで「5年以下」が24.8%、「6～10年」が22.6%となっています。



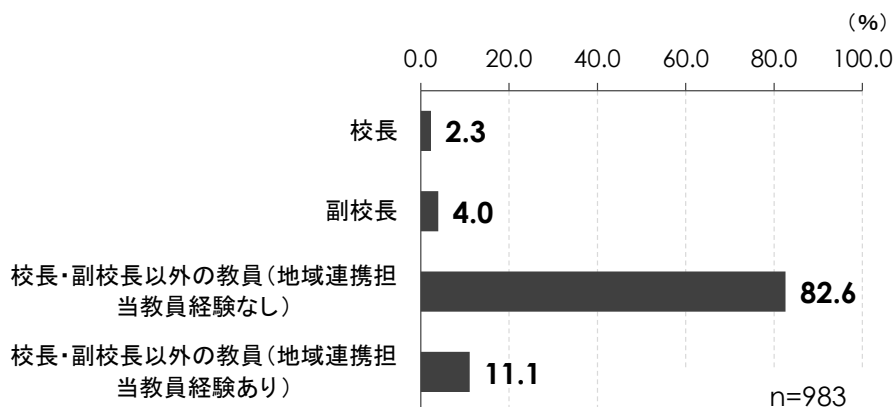
問 4 あなたの勤務先はどちらですか。(○は1つ)

「小学校」が66.0%、「中学校」が34.0%となっています。



問 5 あなたの職名は何ですか。(〇は1つ)

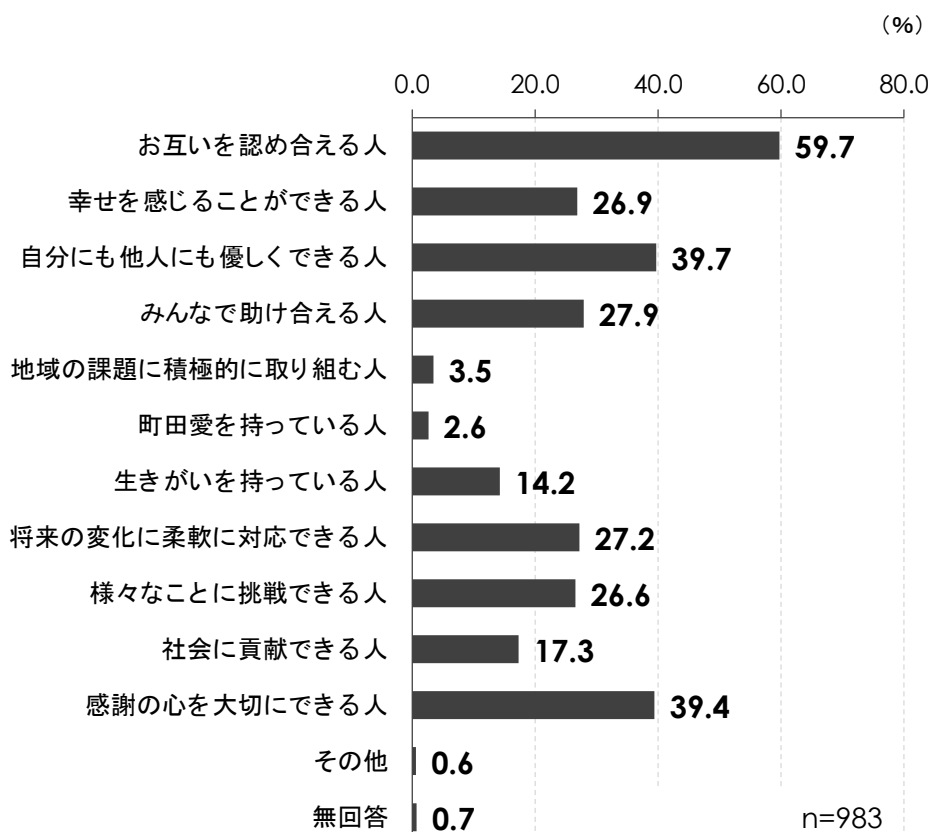
「校長・副校長以外の教員（地域連携担当教員経験なし）」が 82.6 とほとんどの割合を占めています。



②町田市の教育において、「みんなが目指す姿」について

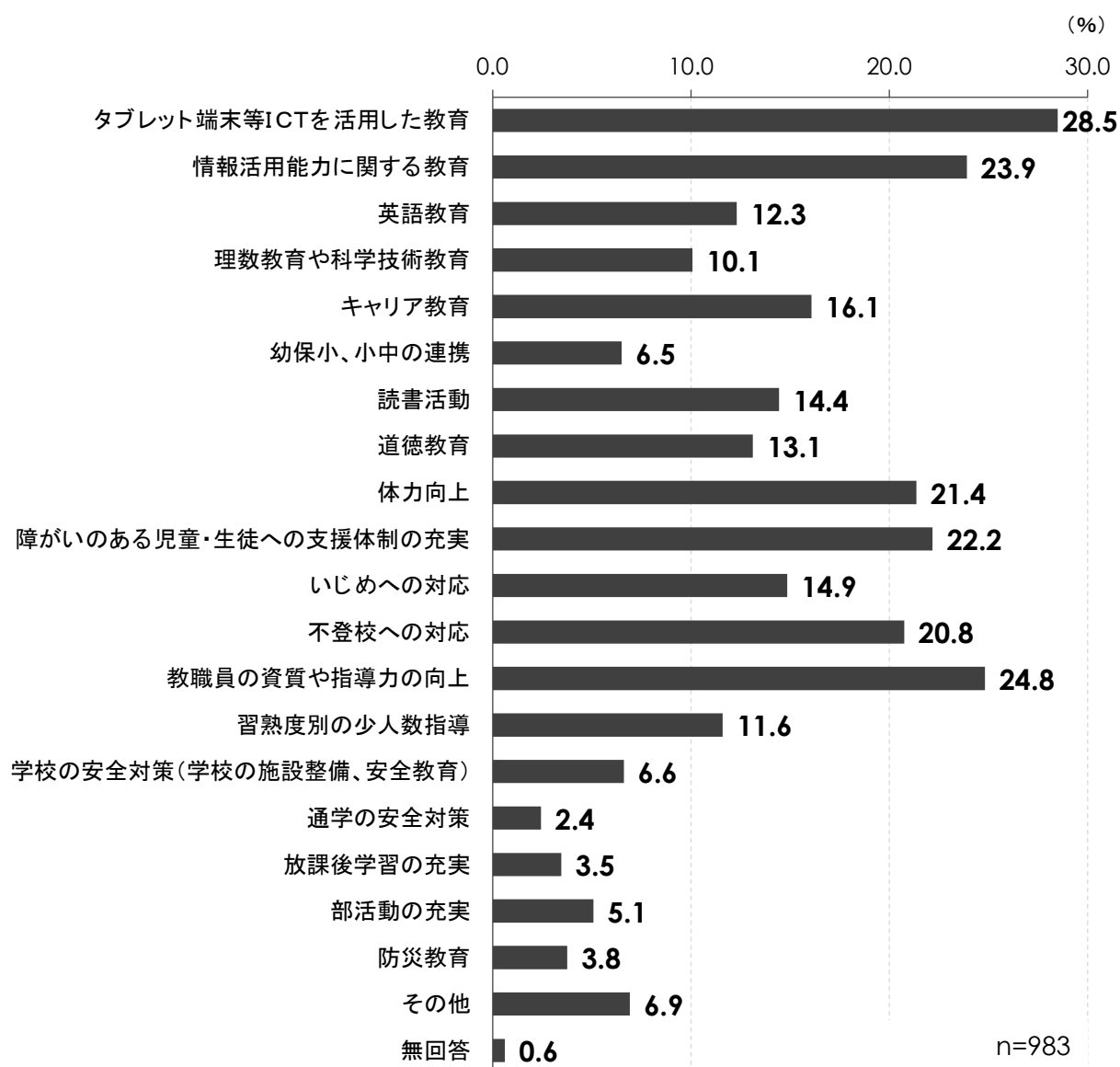
問 6 2040 年の未来を見据えて、町田市の教育において「みんなが目指す姿」についてのご意見をお聞かせください。あなたが児童・生徒に、こういう人になってほしいと思うものを選んでください。(回答は3つ以内)

「お互いを認め合える人」が最も多く 59.7%、次いで「自分にも他人にも優しくできる人」が 39.7%、「感謝の心を大切にできる人」が 39.4%、「みんなで助け合える人」が 27.9%、「将来の変化に柔軟に対応できる人」が 27.2%となっています。



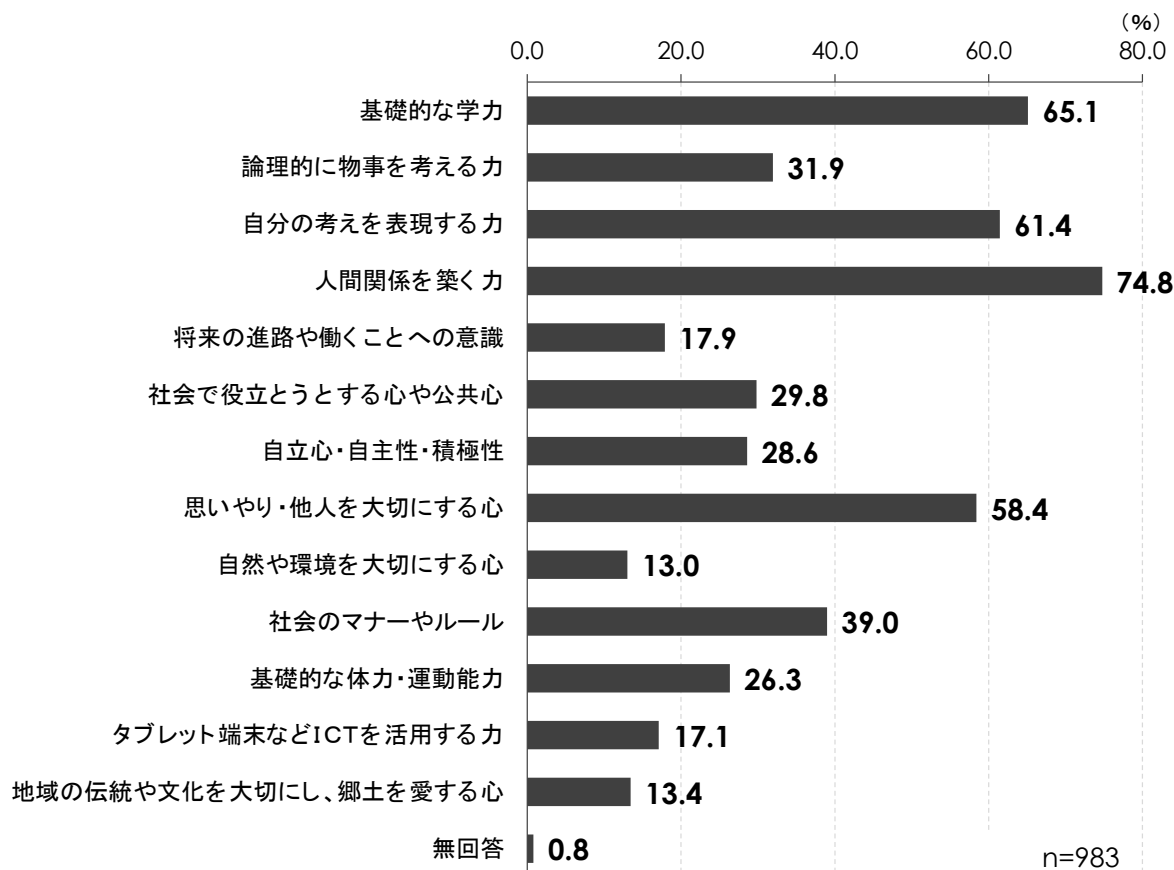
問 7 町田市の学校教育では、今後どのような点に力を入れていくのが望ましいと思いますか。（回答は 3 つ以内）

「タブレット端末等 I C Tを活用した教育」が最も多く 28.5%、次いで「教職員の資質や指導力の向上」が 24.8%、「情報活用能力に関する教育」が 23.9%、「障がいのある児童・生徒への支援体制の充実」が 22.2%、「将体力向上」が 21.4%となっています。



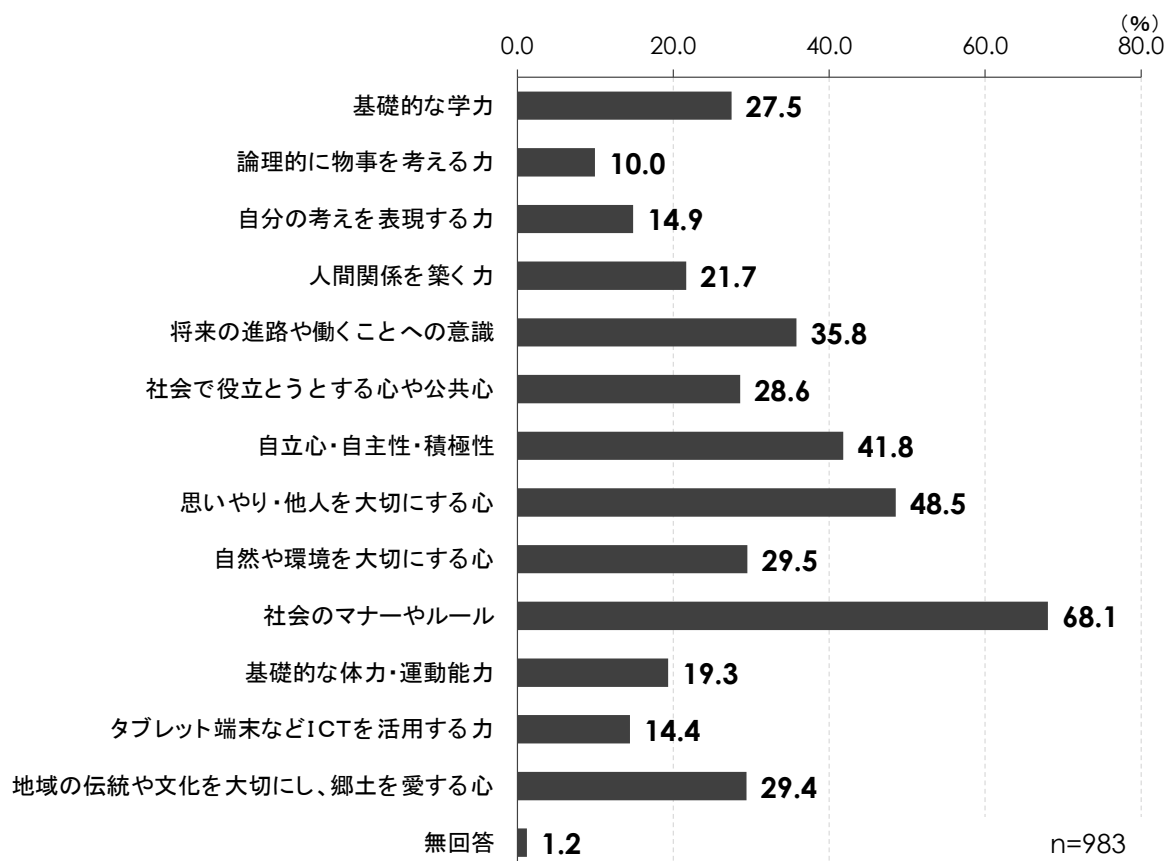
問 8 以下に掲げるものを児童・生徒に身につけさせるにあたって「学校」で身につける方が効果的だと思うものはどれですか。（回答はいつでも）

「人間関係を築く力」が最も多く74.8%、次いで「基礎的な学力」が65.1%、「自分の考えを表現する力」が61.4%、「思いやり・他人を大切にする心」が58.4%、「社会のマナーやルール」が39.0%となっています。



問 9 以下に掲げるものを児童・生徒に身につけさせるにあたって「家庭」で身につける方が効果的だと思うものはどれですか。（回答はいくつでも）

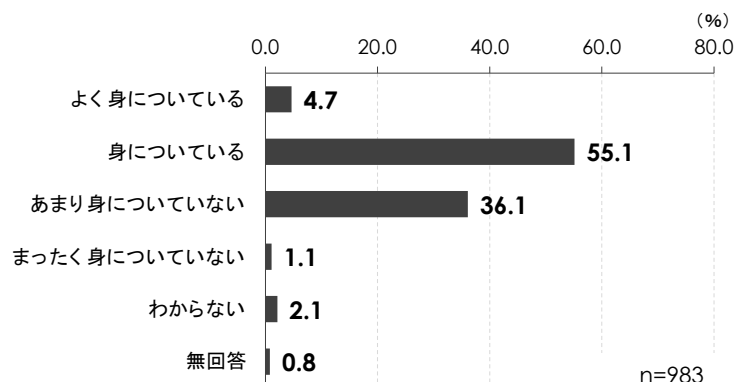
「社会のマナーやルール」が最も多く 68.1%、次いで「思いやり・他人を大切にする心」が 48.5%、「自立心・自主性・積極性」が 41.8%、「将来の進路や働くことへの意識」が 35.8%、「自然や環境を大切にする心」が 29.5%となっています。



問 10 あなたの学校の児童・生徒には、以下に掲げるものがどの程度身についていると思いますか。（それぞれ1つに○）

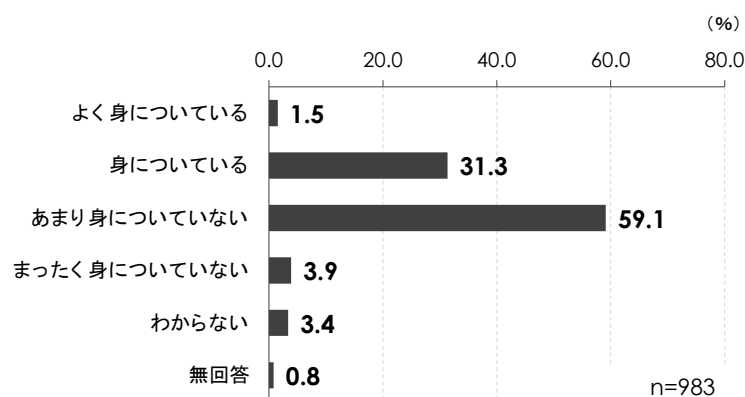
■ 基礎的な学力

「身についている」が最も多く 55.1%、次いで「あまり身につけていない」が 36.1%、「よく身についている」が 4.7%となっています。



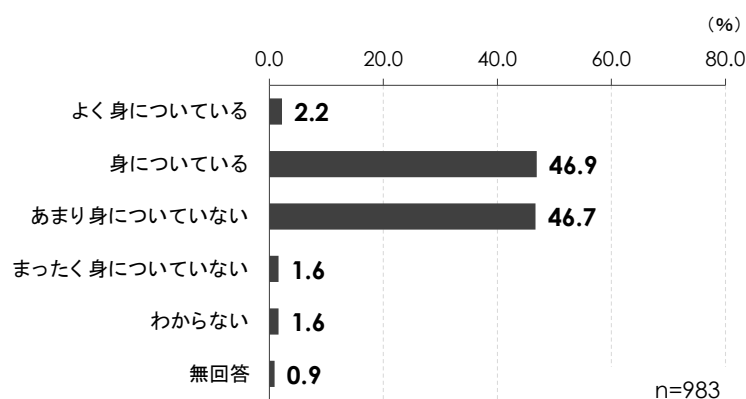
■ 論理的に物事を考える力

「あまり身につけていない」が最も多く 59.1%、次いで「身についている」が 31.3%、「まったく身につけていない」が 3.9%となっています。



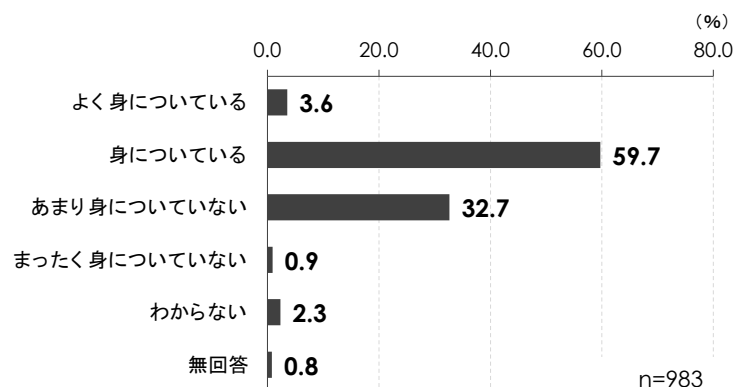
■ 自分の考えを表現する力

「身についている」が最も多く 46.9%、次いで「あまり身につけていない」が 46.7%、「よく身についている」が 2.2%となっています。



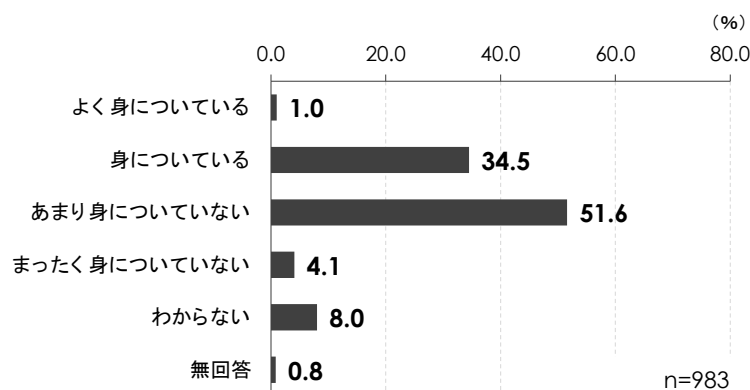
■ 人間関係を築く力

「身についている」が最も多く 59.7%、次いで「あまり身についていない」が 32.7%、「よく身についている」が 3.6%となっています。



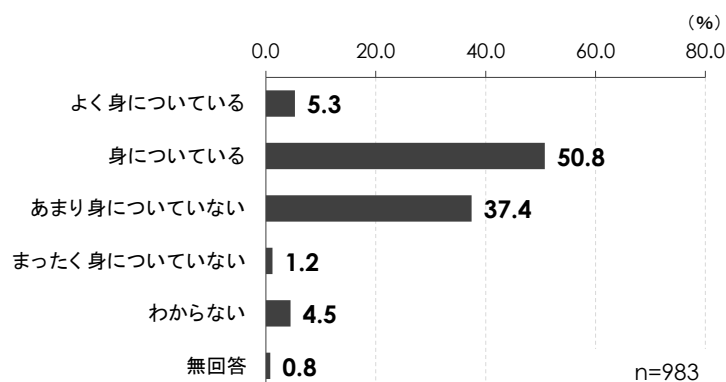
■ 将来の進路や働くことへの意識

「あまり身についていない」が最も多く 51.6%、次いで「身についている」が 34.5%、「わからない」が 8.0%となっています。



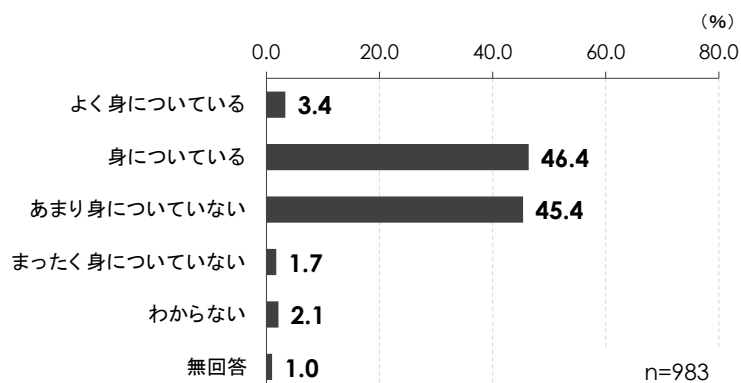
■ 社会で役立とうとする心や公共心

「身についている」が最も多く 50.8%、次いで「あまり身についていない」が 37.4%、「よく身についている」が 5.3%となっています。



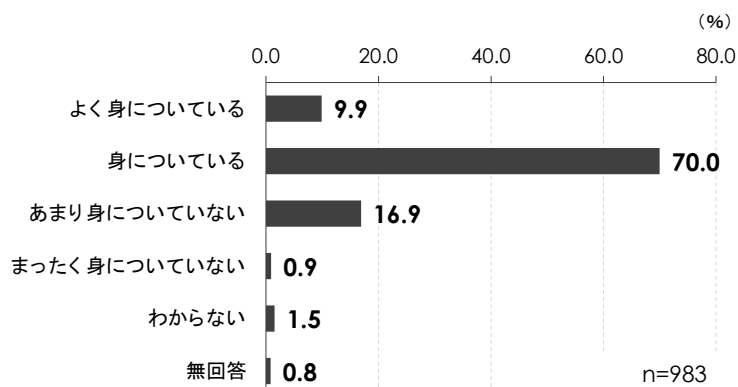
■ 自立心・自主性・積極性

「身についている」が最も多く 46.4%、次いで「あまり身についていない」が 45.4%、「よく身についている」が 3.4%となっています。



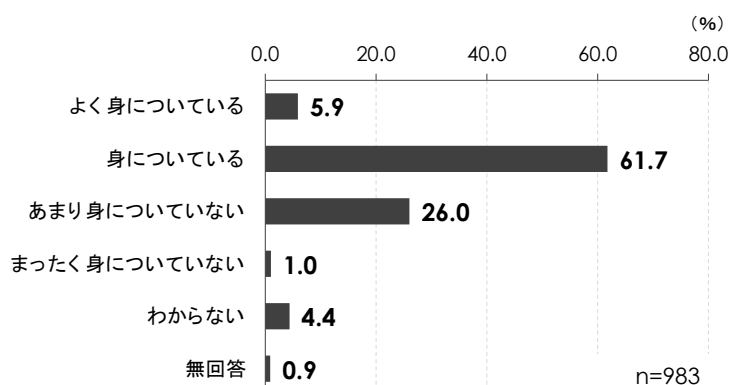
■ 思いやり・他人を大切にする心

「身についている」が最も多く 70.0%、次いで「あまり身についていない」が 16.9%、「よく身についている」が 9.9%となっています。



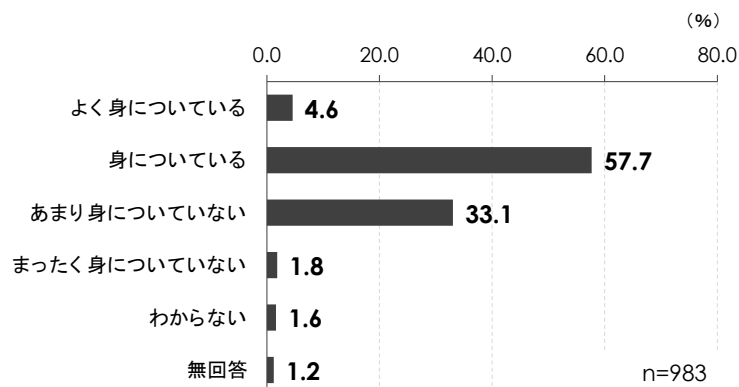
■ 自然や環境を大切にする心

「身についている」が最も多く 61.7%、次いで「あまり身についていない」が 26.0%、「よく身についている」が 5.9%となっています。



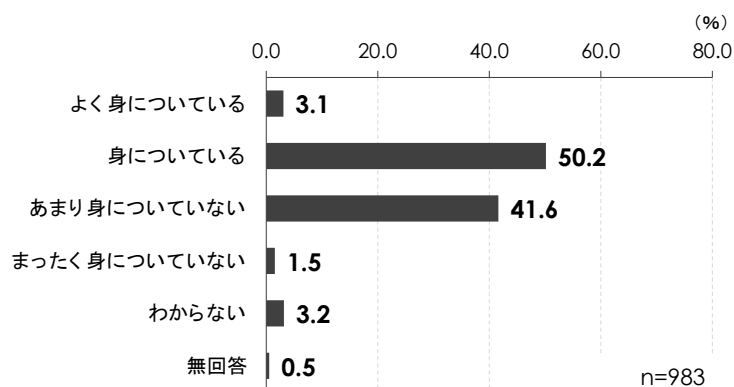
■ 社会のマナーやルール

「身についている」が最も多く 57.7%、次いで「あまり身についていない」が 33.1%、「よく身についている」が 4.6%となっています。



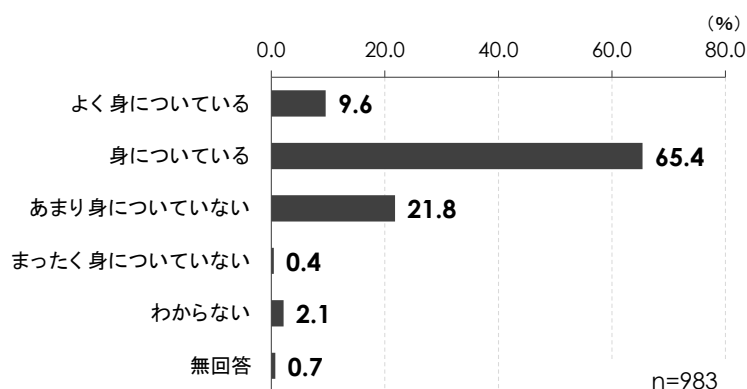
■ 基礎的な体力・運動能力

「身についている」が最も多く 50.2%、次いで「あまり身についていない」が 41.6%、「わからない」が 3.2%となっています。



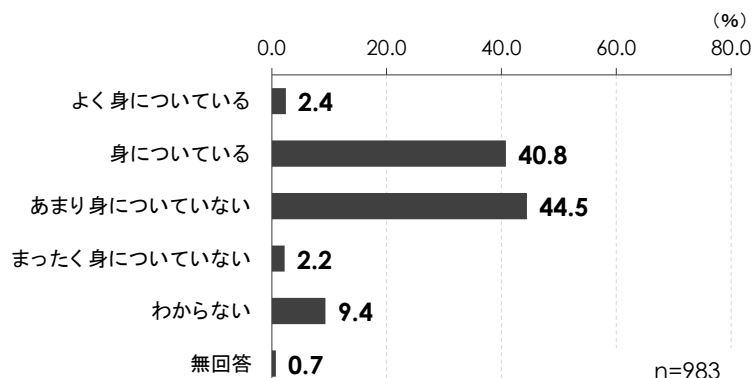
■ タブレット端末等 I C Tを活用する力

「身についている」が最も多く 65.4%、次いで「あまり身についていない」が 21.8%、「よく身についている」が 9.6%となっています。



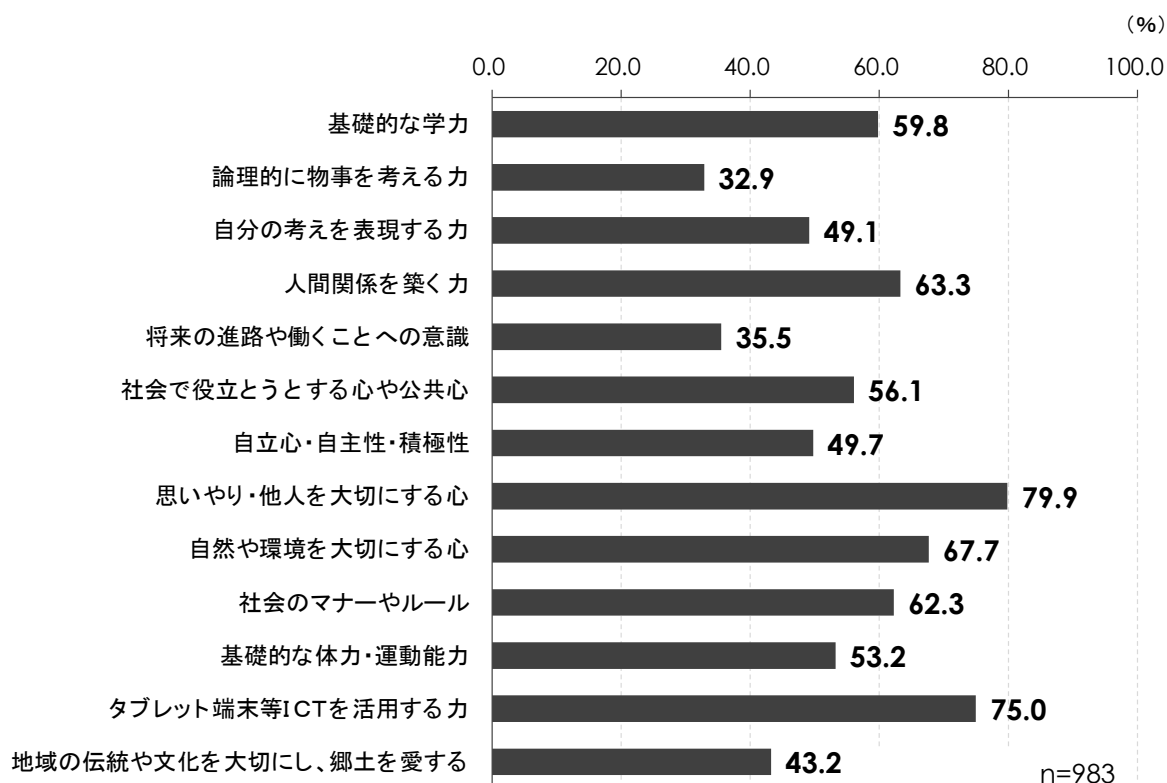
■ 地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心

「あまり身についていない」が最も多く 44.5%、次いで「身についている」が 40.8%、「わからない」が 9.4%となっています。



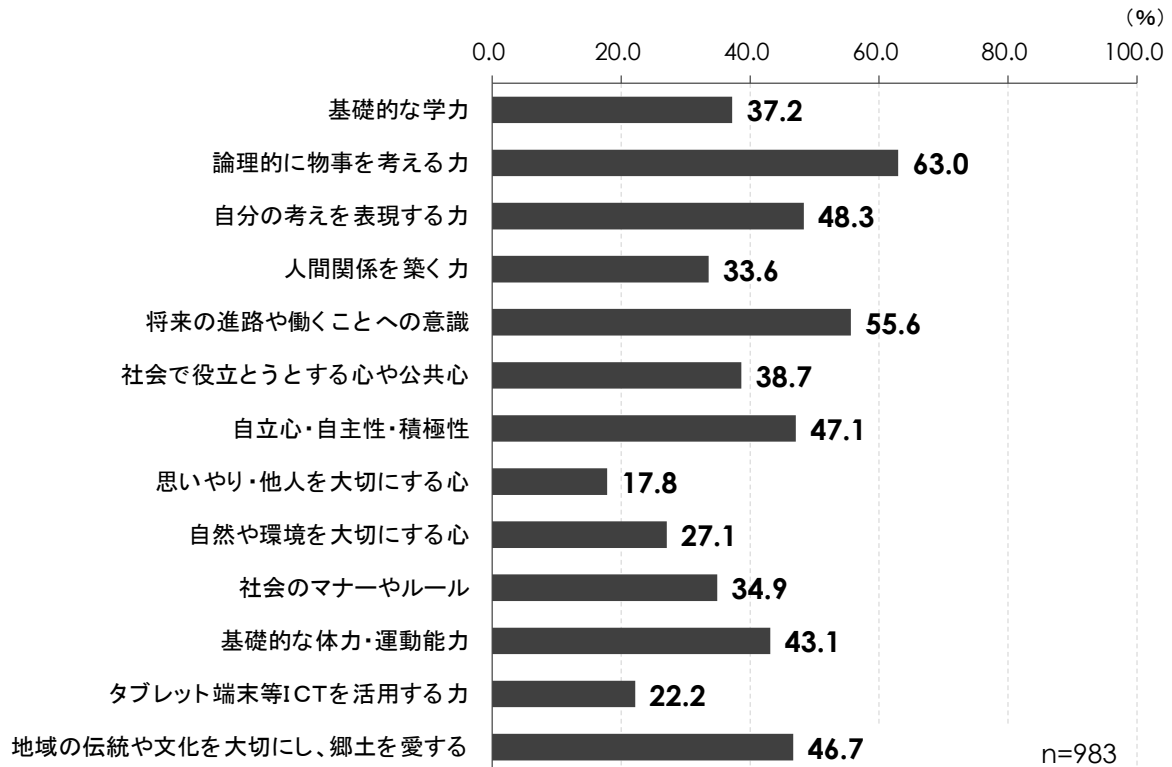
□【参考】項目別、“身についている”の割合（「よく身についている」と「身についている」の合計）

項目別に、“身についている”の割合（「よく身についている」と「身についている」の合計）の回答をみると、「思いやり・他人を大切にできる心」が最も多く 79.9%、次いで「タブレット端末等 ICT を活用する力」が 75.0%、「自然や環境を大切にできる心」が 67.7%、「人間関係を築く力」が 63.3%、「社会のマナーやルール」が 62.3%となっています。



□【参考】項目別、“身につけていない”の割合（「あまり身につけていない」と「まったく身につけていない」の合計）

項目別に、“身につけていない”の割合（「あまり身につけていない」と「まったく身につけていない」の合計）の回答をみると、「論理的に物事を考える力」が最も多く 63.0%、次いで「将来の進路や働くことへの意識」が 55.6%、「自分の考えを表現する力」が 48.3%、「自立心・自主性・積極性」が 47.1%、「地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心」が 46.7%となっています。



□【参考】項目別、「学校」で身につけるほうが効果的、「家庭」で身につけるほうが効果的、「身につけている」、「身につけていない」の割合の比較

“身につけている”よりも“身につけていない”の割合が高い項目は、「論理的に物事を考える力」、「将来の進路や働くことへの意識」、「地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する」の3つとなっています。

「将来の進路や働くことへの意識」は、「学校」で身につけるほうが効果的より「家庭」で身につけるほうが効果的の割合が17.9ポイント高くなっています。

また、「論理的に物事を考える力」と「地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する」は、「家庭」で身につけるほうが効果的より「学校」で身につけるほうが効果的の割合がそれぞれ、21.9ポイント、16.0ポイント高くなっています。

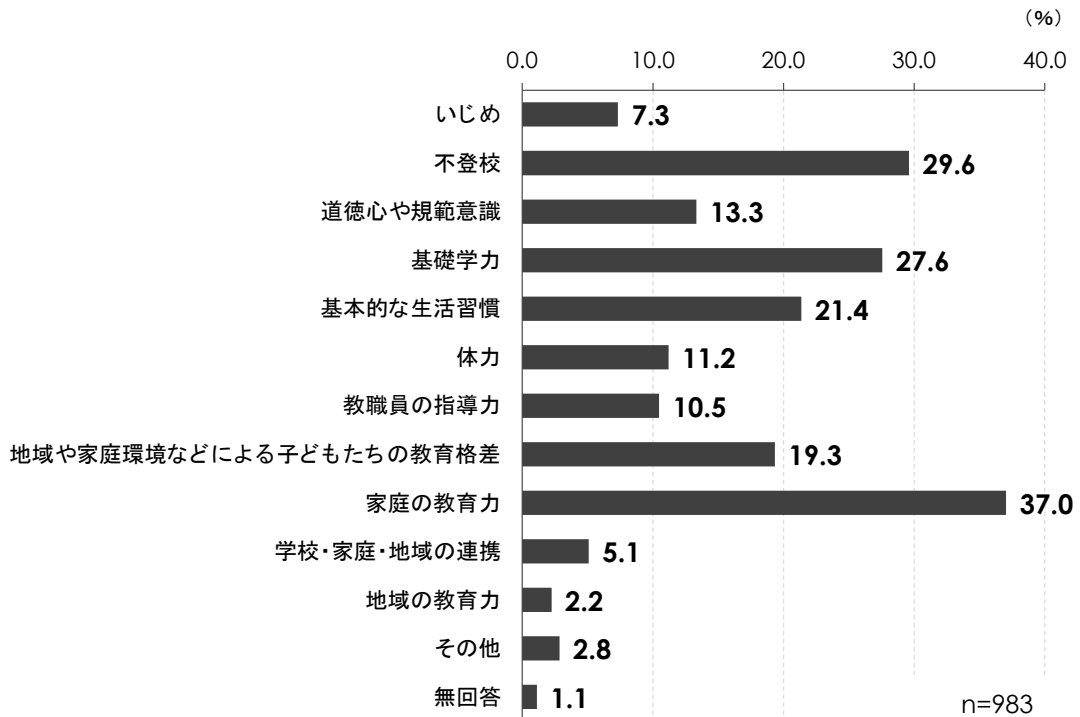
項目	「学校」で身につけるほうが効果的	「家庭」で身につけるほうが効果的	身につけている*	身につけていない*
基礎的な学力	65.1%	27.5%	59.8%	37.2%
論理的に物事を考える力	31.9%	10.0%	32.9%	63.0%
自分の考えを表現する力	61.4%	14.9%	49.1%	48.3%
人間関係を築く力	74.8%	21.7%	63.3%	33.6%
将来の進路や働くことへの意識	17.9%	35.8%	35.5%	55.6%
社会で役立つ心や公共心	29.8%	28.6%	56.1%	38.7%
自立心・自主性・積極性	28.6%	41.8%	49.7%	47.1%
思いやり・他人を大切にする心	58.4%	48.5%	79.9%	17.8%
自然や環境を大切にする心	13.0%	29.5%	67.7%	27.1%
社会のマナーやルール	39.0%	68.1%	62.3%	34.9%
基礎的な体力・運動能力	26.3%	19.3%	53.2%	43.1%
タブレット端末等 I C T を活用する力	17.1%	14.4%	75.0%	22.2%
地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する	13.4%	29.4%	43.2%	46.7%

※“身につけている”の割合（「よく身につけている」と「身につけている」の合計）

※“身につけていない”の割合（「あまり身につけていない」と「まったく身につけていない」の合計）

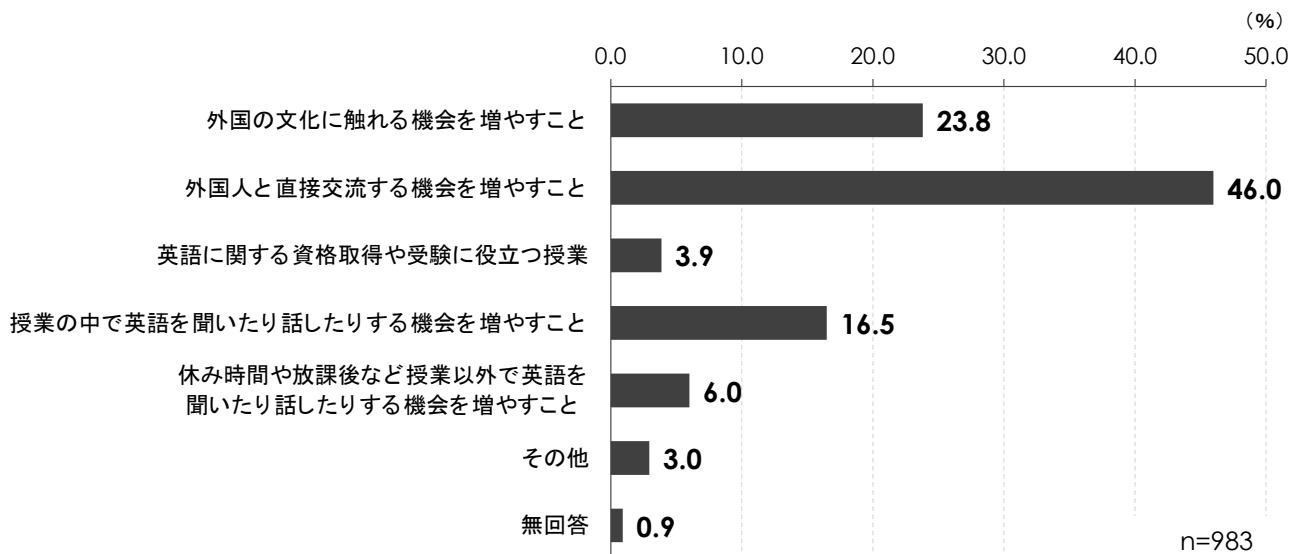
問 11 児童・生徒の教育や環境について、課題と感じていることは何ですか。（回答は 2 つ以内）

「家庭の教育力」が最も多く 37.0%、次いで「不登校」が 29.6%、「基礎学力」が 27.6%、「基本的な生活習慣」が 21.4%、「地域や家庭環境などによる子どもたちの教育格差」が 19.3%となっています。



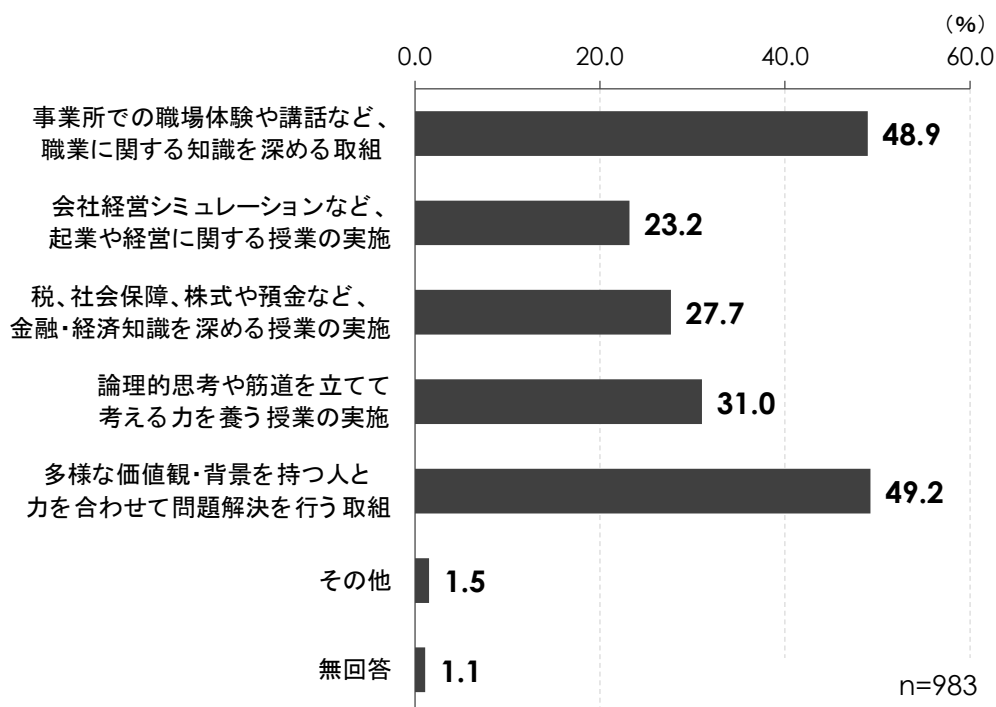
問 12 英語教育の推進について、どのようなことに力を入れていくことが最も望ましいと思いますか。（回答は 1 つ）

「外国人と直接交流する機会を増やすこと」が最も多く 46.0%、次いで「外国の文化に触れる機会を増やすこと」が 23.8%、「授業の中で英語を聞いたり話したりする機会を増やすこと」が 16.5%となっています。



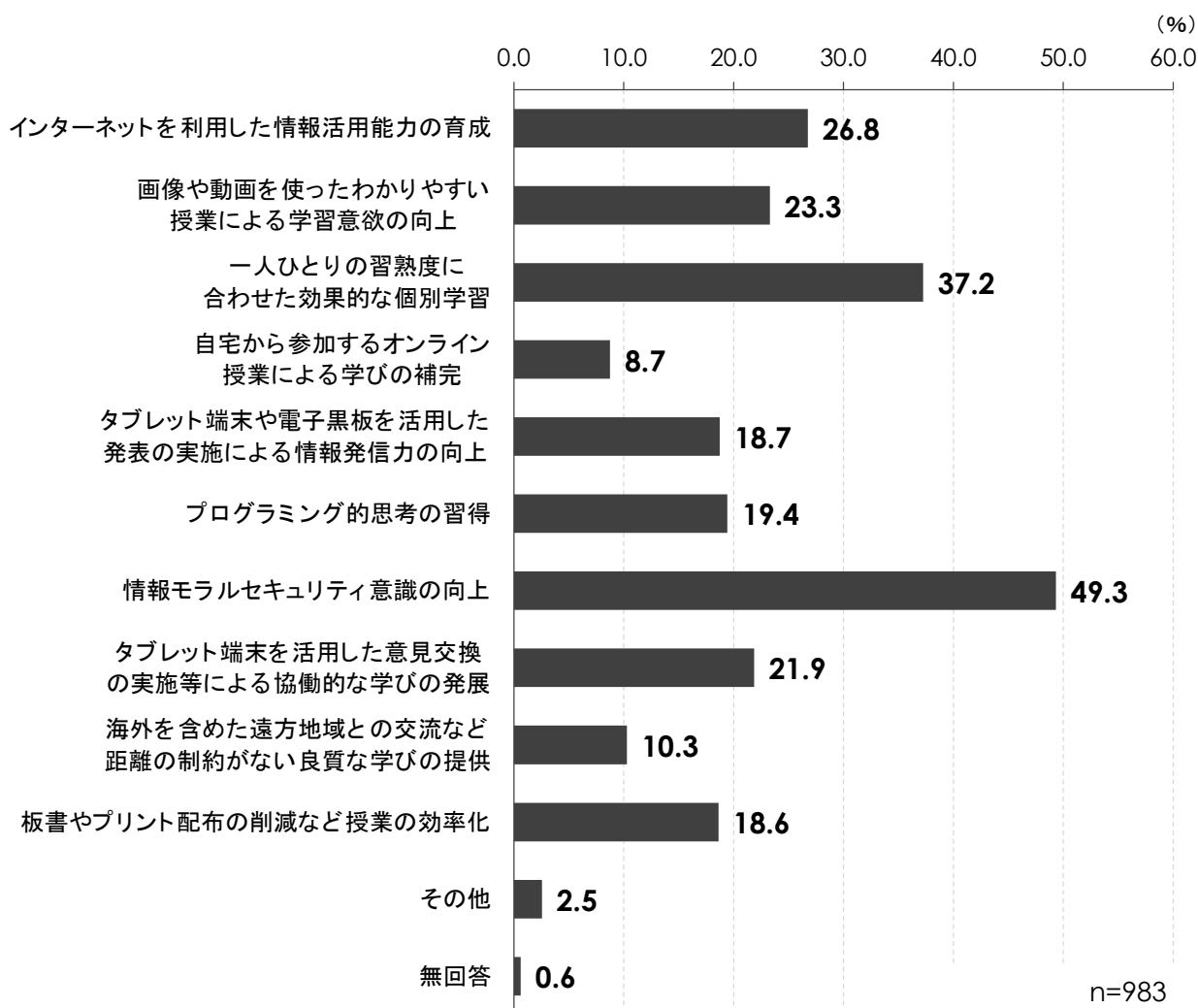
問 13 「キャリア教育」の推進について、以下の項目の中で実施すべき、または、さらに力を入れて取り組むべきと思うものはどれですか。（回答はいくつでも）

「多様な価値観・背景を持つ人と力を合わせて問題解決を行う取組」が最も多く 49.2%、次いで「事業所での職場体験や講話など、職業に関する知識を深める取組」が 48.9%、「論理的思考や筋道を立てて考える力を養う授業の実施」が 31.0%となっています。



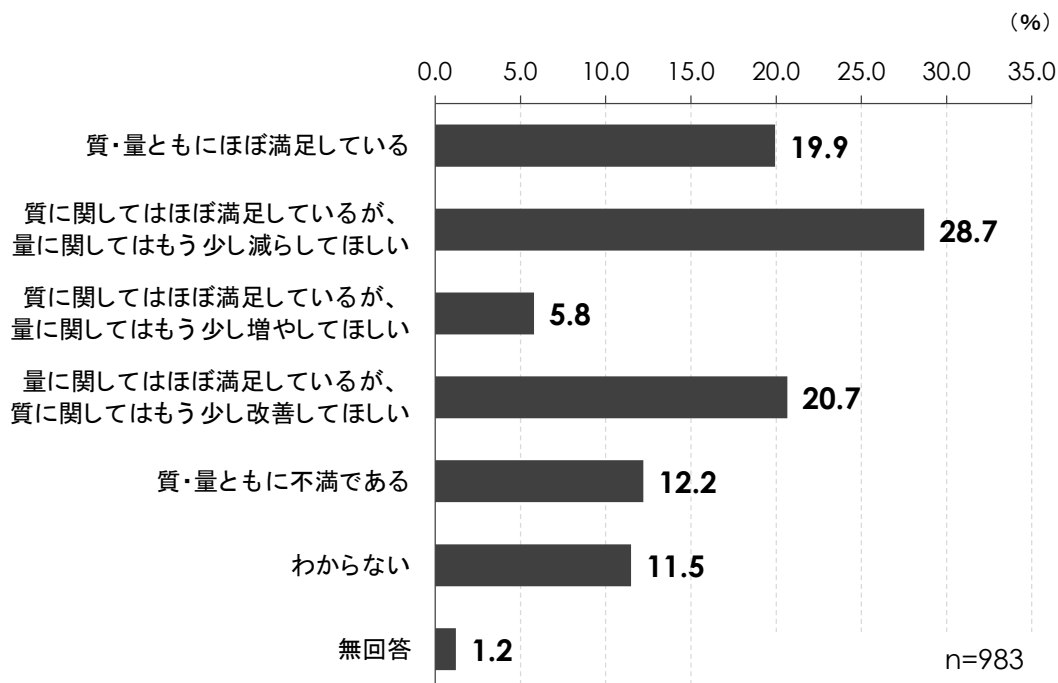
問 14 ICT教育の推進に関して、さらに力を入れて取り組むべきと思うものはどれですか。（回答は3つ以内）

「情報モラルセキュリティ意識の向上」が最も多く 49.3%、次いで「一人ひとりの習熟度に合わせた効果的な個別学習」が 37.2%、「インターネットを利用した情報活用能力の育成」が 26.8%、「画像や動画を使ったわかりやすい授業による学習意欲の向上」が 23.3%、「タブレット端末を活用した意見交換の実施等による協働的な学びの発展」が 21.9%となっています。



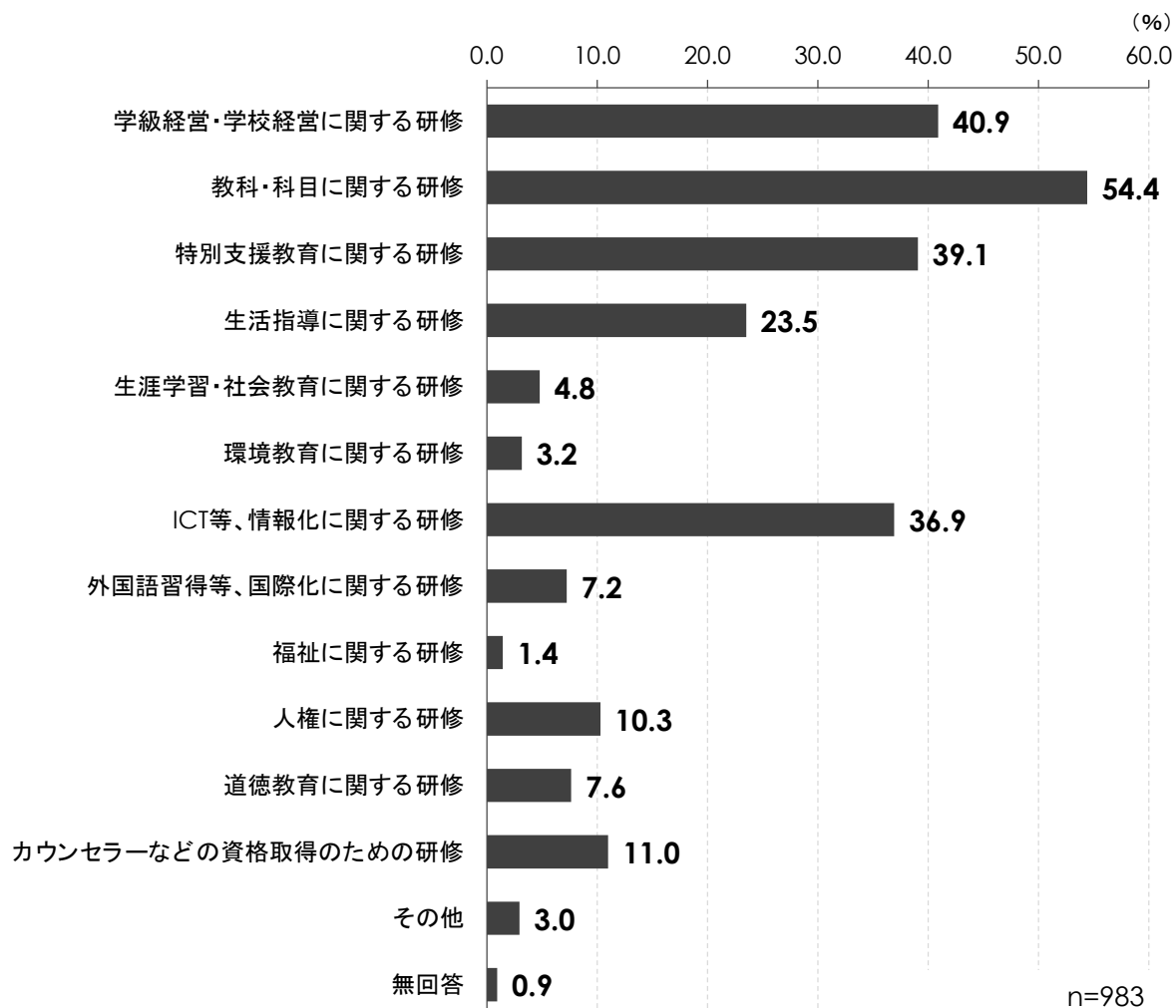
問 15 現在の教員研修制度についてどう感じていますか。(回答は1つ)

「質に関してはほぼ満足しているが、量に関してはもう少し減らしてほしい」が最も多く 28.7%、次いで「量に関してはほぼ満足しているが、質に関してはもう少し改善してほしい」が 20.7%、「質・量ともにほぼ満足している」が 19.9%となっています。



問 16 教員研修制度の内容として重要だと思われるものは何ですか。（回答は 3 つ以内）

「教科・科目に関する研修」が最も多く 54.4%、次いで「学級経営・学校経営に関する研修」が 40.9%、「特別支援教育に関する研修」が 39.1%、「ICT 等、情報化に関する研修」が 36.9%、「生活指導に関する研修」が 23.5%となっています。

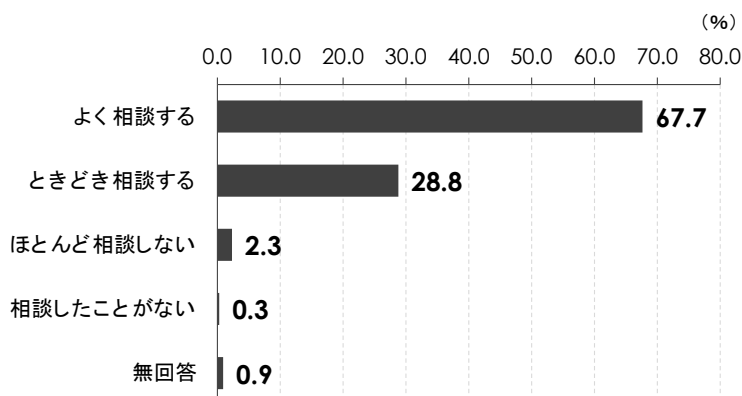


③教育に関する相談について

問 17 あなたは、児童・生徒に関する相談をする際、以下に掲げる相手に対してどの程度相談していますか。
(それぞれ回答は1つ)

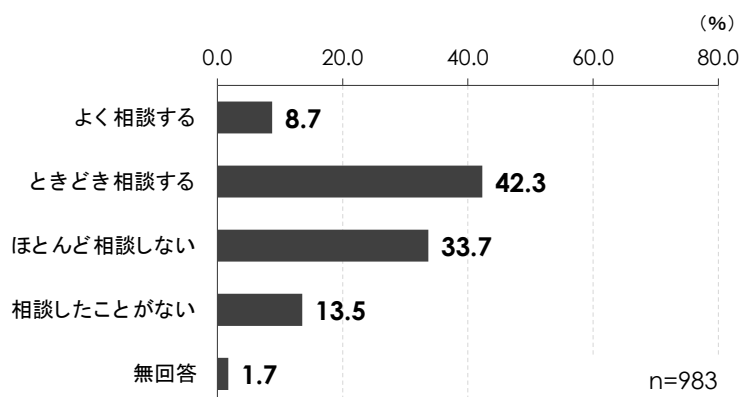
■同じ学校の教員

「よく相談する」が最も多く 67.7%、次いで「ときどき相談する」が 28.8%、「ほとんど相談しない」が 2.3%となっています。



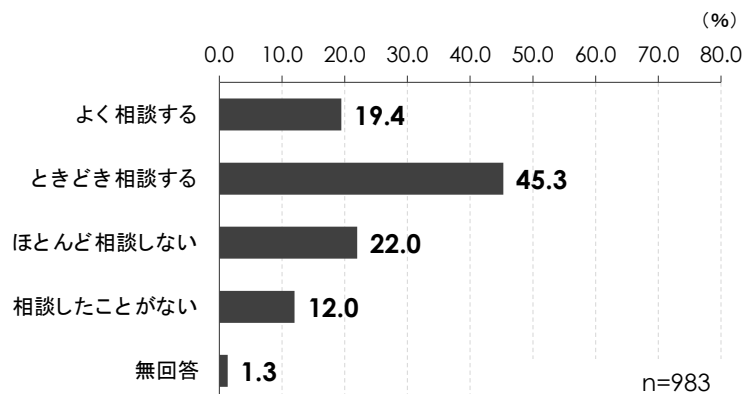
■他校の教員

「ときどき相談する」が最も多く 42.3%、次いで「ほとんど相談しない」が 33.7%、「相談したことがない」が 13.5%となっています。



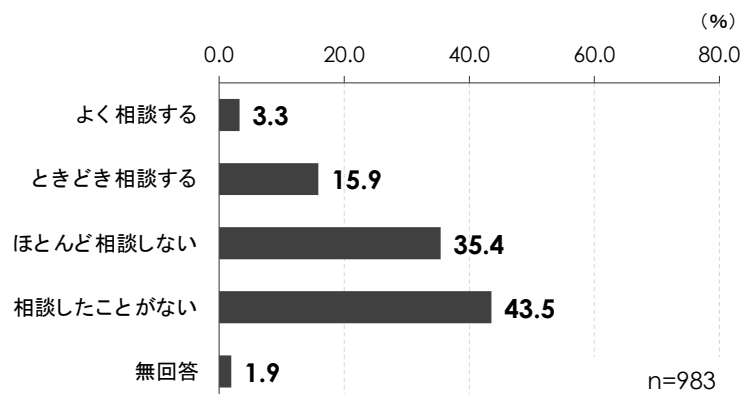
■スクールカウンセラー

「ときどき相談する」が最も多く 45.3%、次いで「ほとんど相談しない」が 22.0%、「よく相談する」が 19.4%となっています。



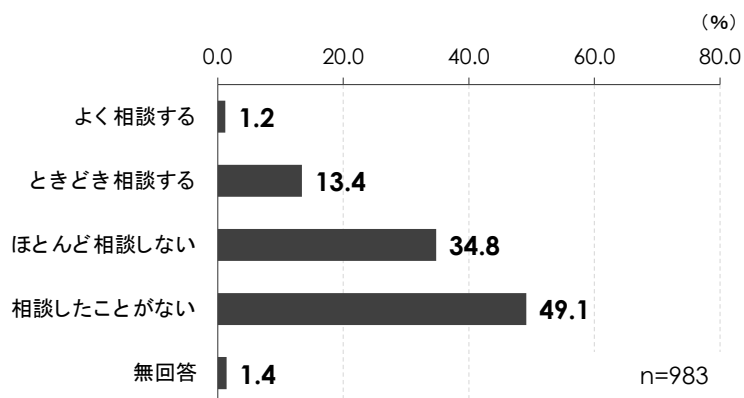
■ スクールソーシャルワーカー

「ほとんど相談しない」が最も多く 43.5%、次いで「相談したことがない」が 35.4%、「ときどき相談する」が 15.9%となっています。



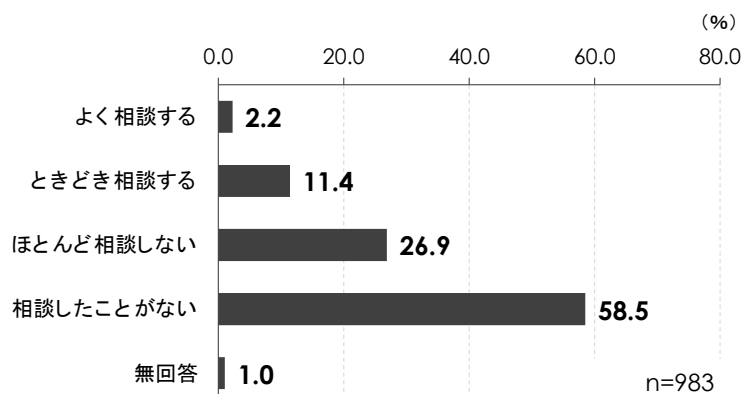
■ 子ども発達支援センター

「相談したことがない」が最も多く 49.1%、次いで「ほとんど相談しない」が 34.8%、「ときどき相談する」が 13.4%となっています。



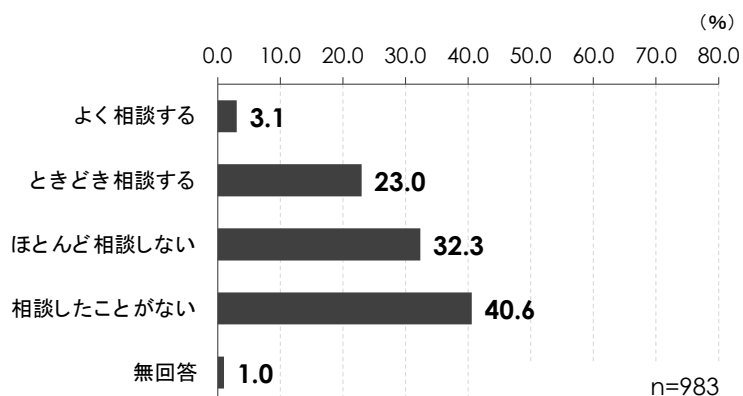
■ 教育委員会

「相談したことがない」が最も多く 58.5%、次いで「ほとんど相談しない」が 26.9%、「ときどき相談する」が 11.4%となっています。



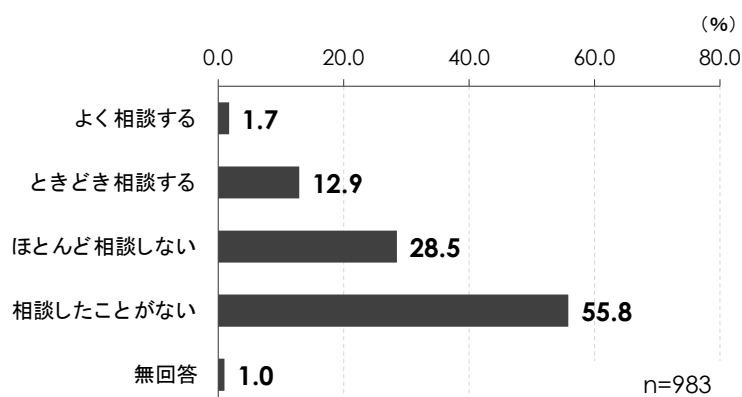
■ 児童相談所・子ども家庭支援センター

「相談したことがない」が最も多く 40.6%、次いで「ほとんど相談しない」が 32.3%、「ときどき相談する」が 23.0%となっています。



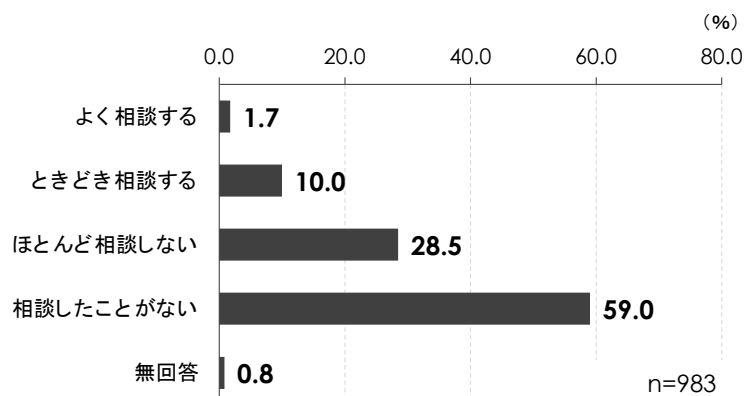
■ PTA

「相談したことがない」が最も多く 55.8%、次いで「ほとんど相談しない」が 28.5%、「ときどき相談する」が 12.9%となっています。



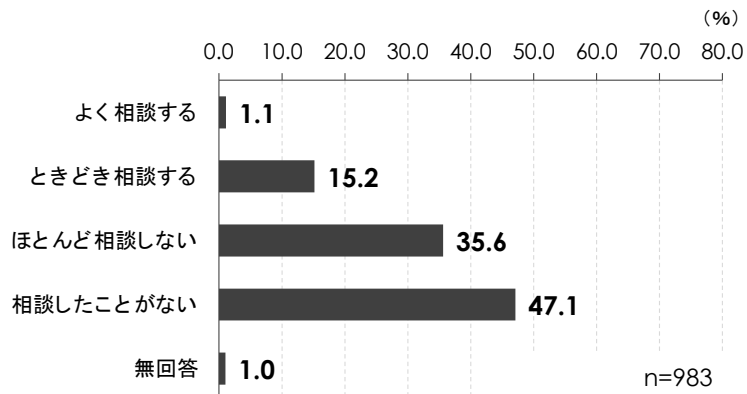
■ 民生委員・児童委員

「相談したことがない」が最も多く 59.0%、次いで「ほとんど相談しない」が 28.5%、「ときどき相談する」が 10.0%となっています。



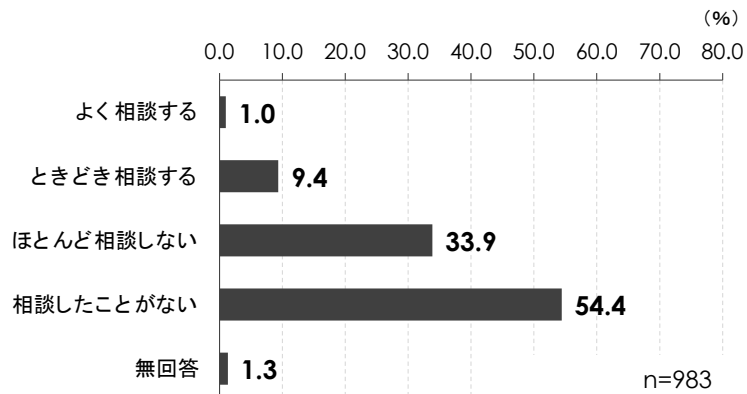
■ 医療関係者

「相談したことがない」が最も多く 47.1%、次いで「ほとんど相談しない」が 35.6%、「ときどき相談する」が 15.2%となっています。



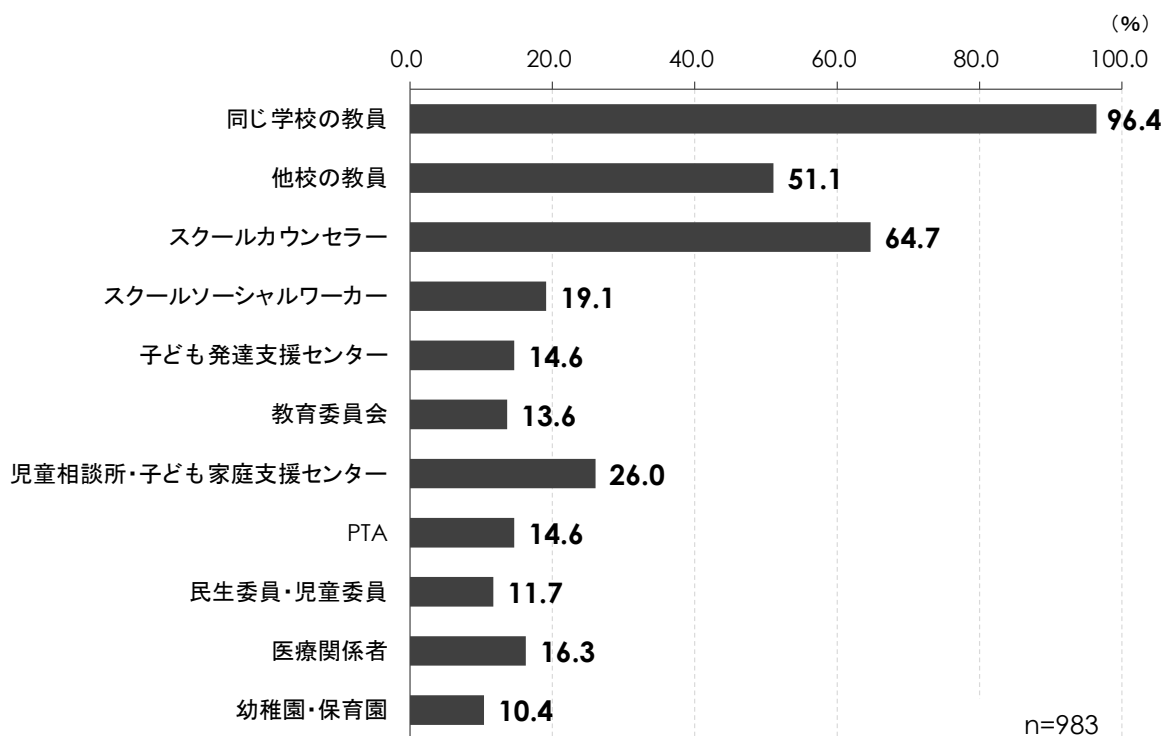
■ 幼稚園・保育園

「相談したことがない」が最も多く 54.4%、次いで「ほとんど相談しない」が 33.9%、「ときどき相談する」が 9.4%となっています。



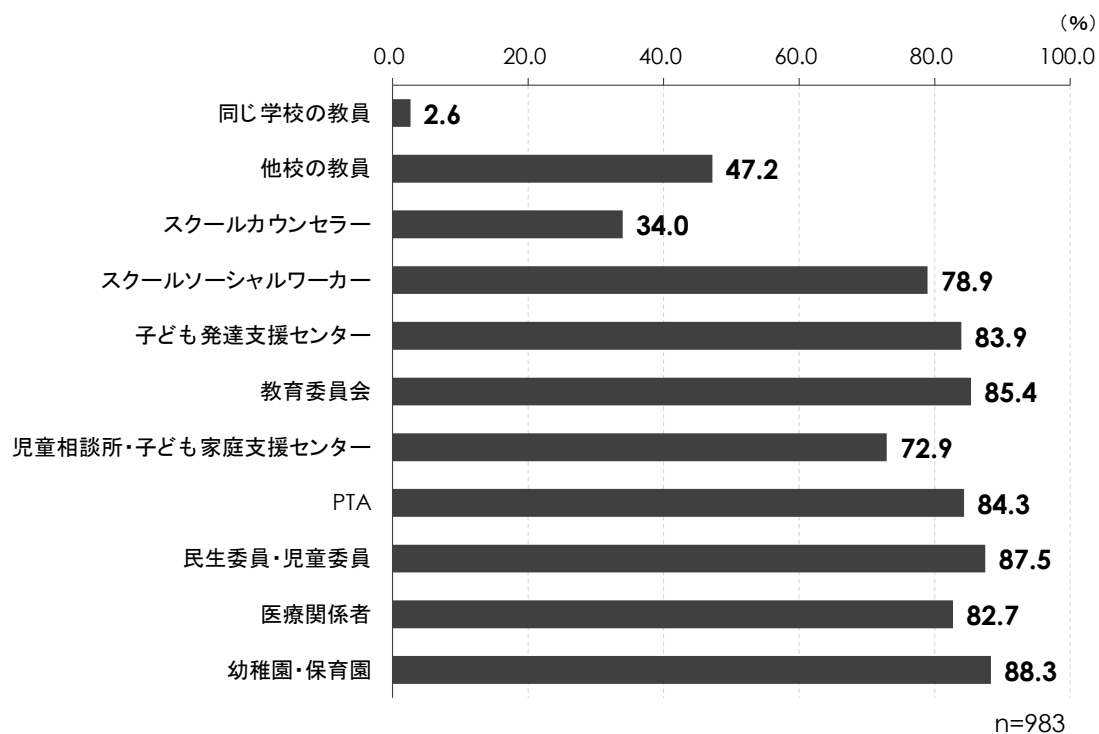
□【参考】項目別、“相談する”の割合（「よく相談する」と「ときどき相談する」の合計）

項目別に、“相談する”の割合（「よく相談する」と「ときどき相談する」の合計）の回答をみると、「同じ学校の教員」が最も多く 96.4%、次いで「スクールカウンセラー」が 64.7%、「他校の教員」が 51.1%、「児童相談所・子ども家庭支援センター」が 26.0%となっており、そのほかの項目（相談先）はいずれも 20%未満と低い割合となっています。



□【参考】項目別、“相談しない”の割合（「ほとんど相談しない」と「相談したことがない」の合計）

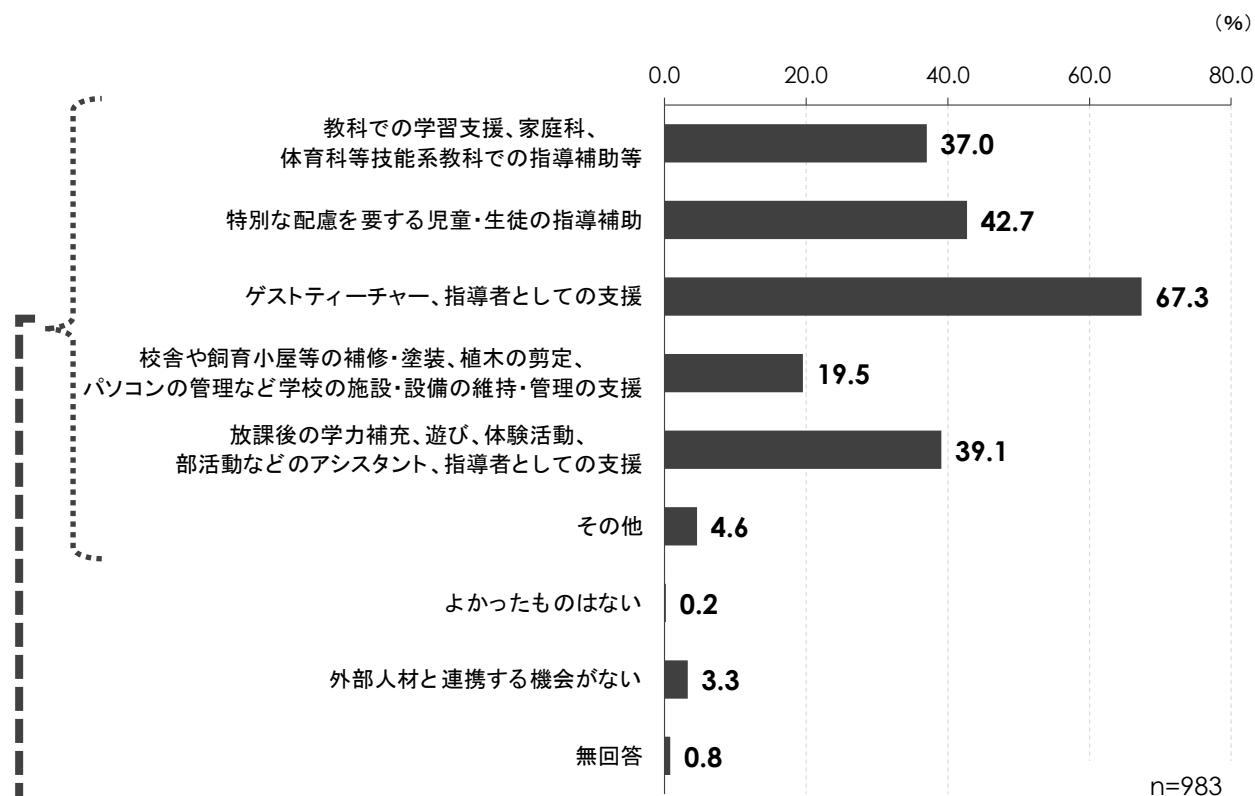
項目別に、“相談しない”の割合（「ほとんど相談しない」と「相談したことがない」の合計）の回答をみると、「幼稚園・保育園」が最も多く88.3%、次いで「民生委員・児童委員」が87.5%、「教育委員会」が85.4%、「PTA」が84.3%、「子ども発達支援センター」が83.9%となっています。



④ 学校・家庭・地域の連携について

問 18 あなたは、どのような分野で地域の方をはじめとする外部の方（以下、外部人材という）と連携していますか。（回答はいくつでも）

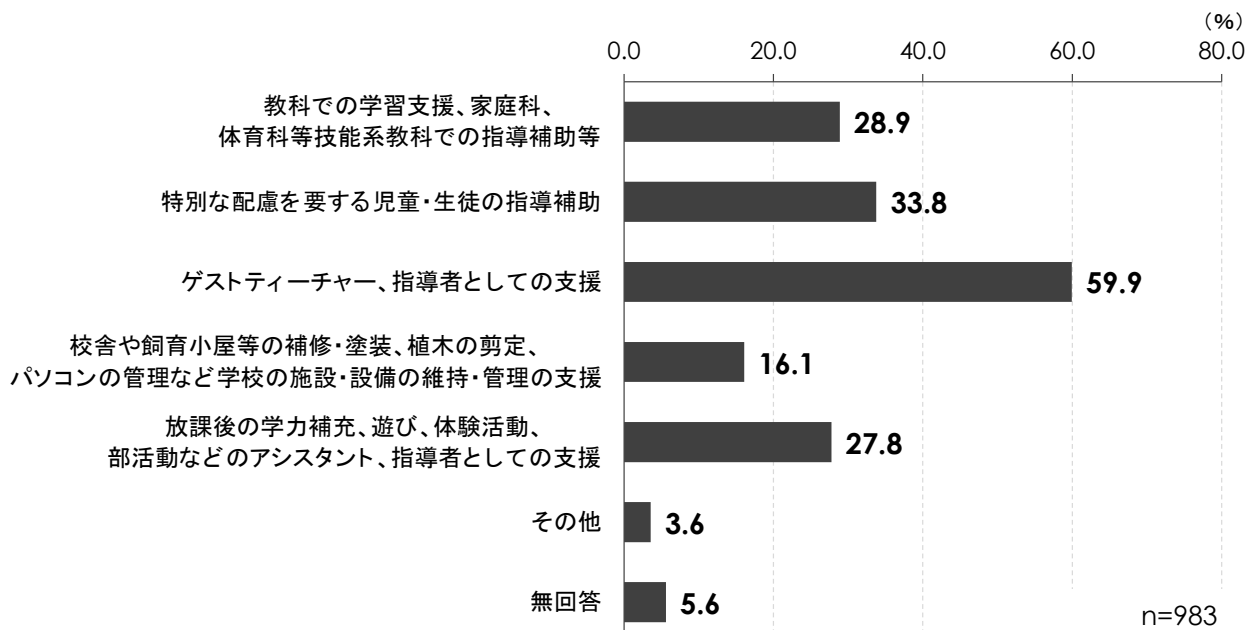
「ゲストティーチャー、指導者としての支援」が最も多く 67.3%、次いで「特別な配慮を要する児童・生徒の指導補助」が 42.7%、「放課後の学力補充、遊び、体験活動、部活動などのアシスタント、指導者としての支援」が 39.1%となっています。



問 19 で外部人材と連携したものを選択した方（「よかったものはない」、

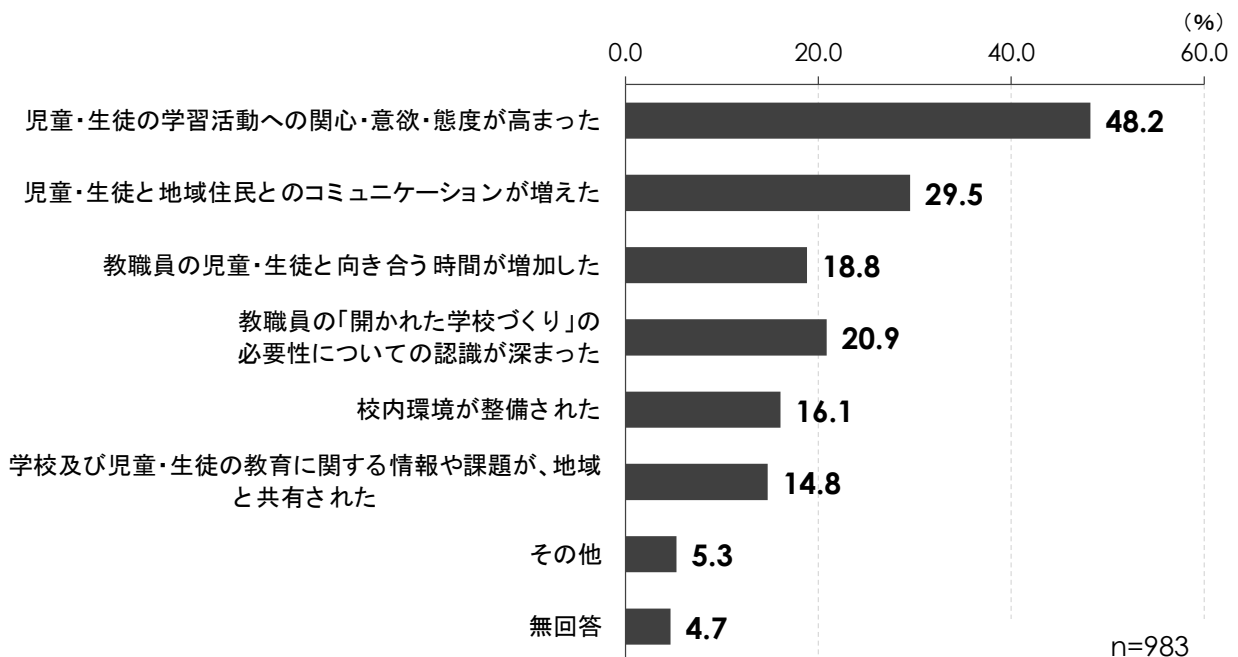
問 19 あなたが外部人材と連携して、よかったものはどれですか。（回答はいくつでも）

「ゲストティーチャー、指導者としての支援」が最も多く 59.9%、次いで「特別な配慮を要する児童・生徒の指導補助」が 33.8%、「放教科での学習支援、家庭科、体育科等技能系教科での指導補助等」が 28.9%となっています。



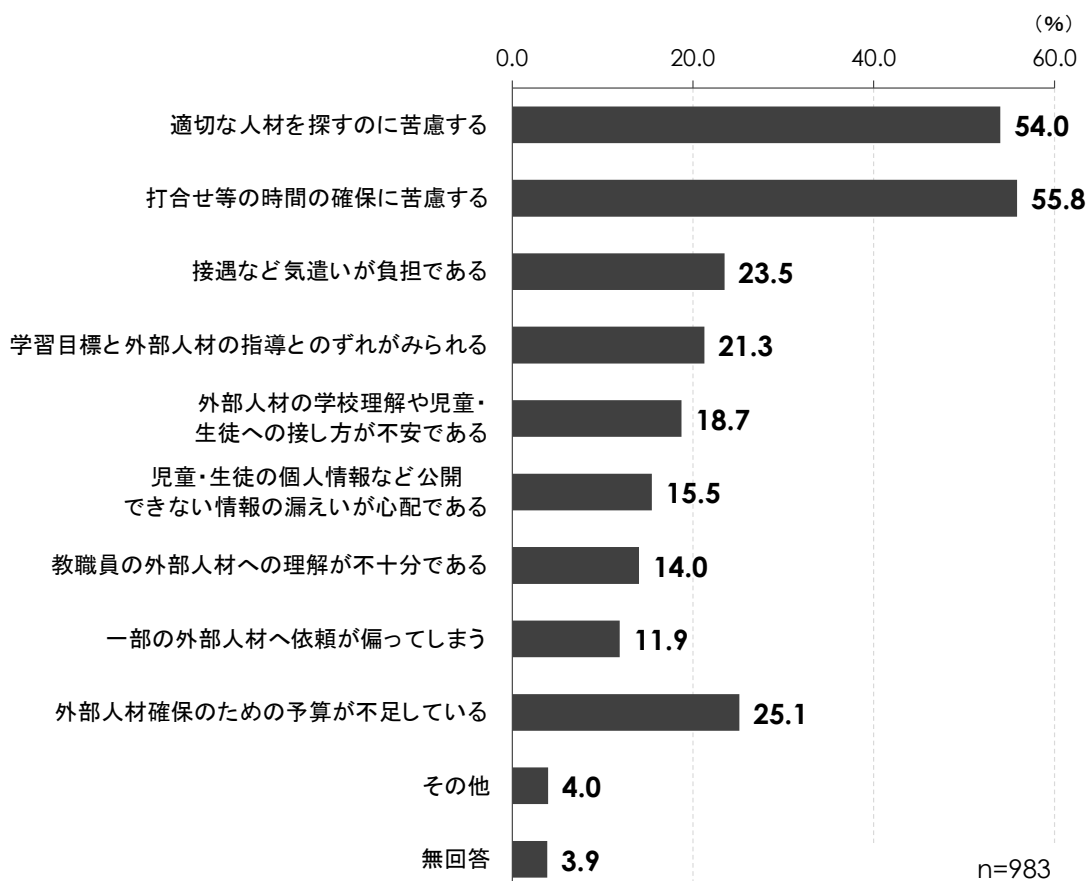
問 20 学校現場に外部人材が入るようになったことで、学校や児童・生徒はどのように変わったと感じていますか。（回答はいくつでも）

「児童・生徒の学習活動への関心・意欲・態度が高まった」が最も多く 48.2%、次いで「児童・生徒と地域住民とのコミュニケーションが増えた」が 29.5%、「教職員の「開かれた学校づくり」の必要性についての認識が深まった」が 20.9%となっています。



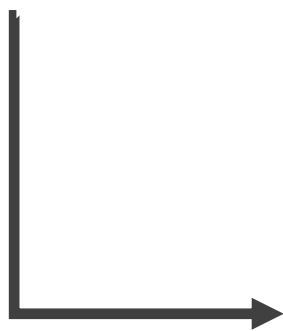
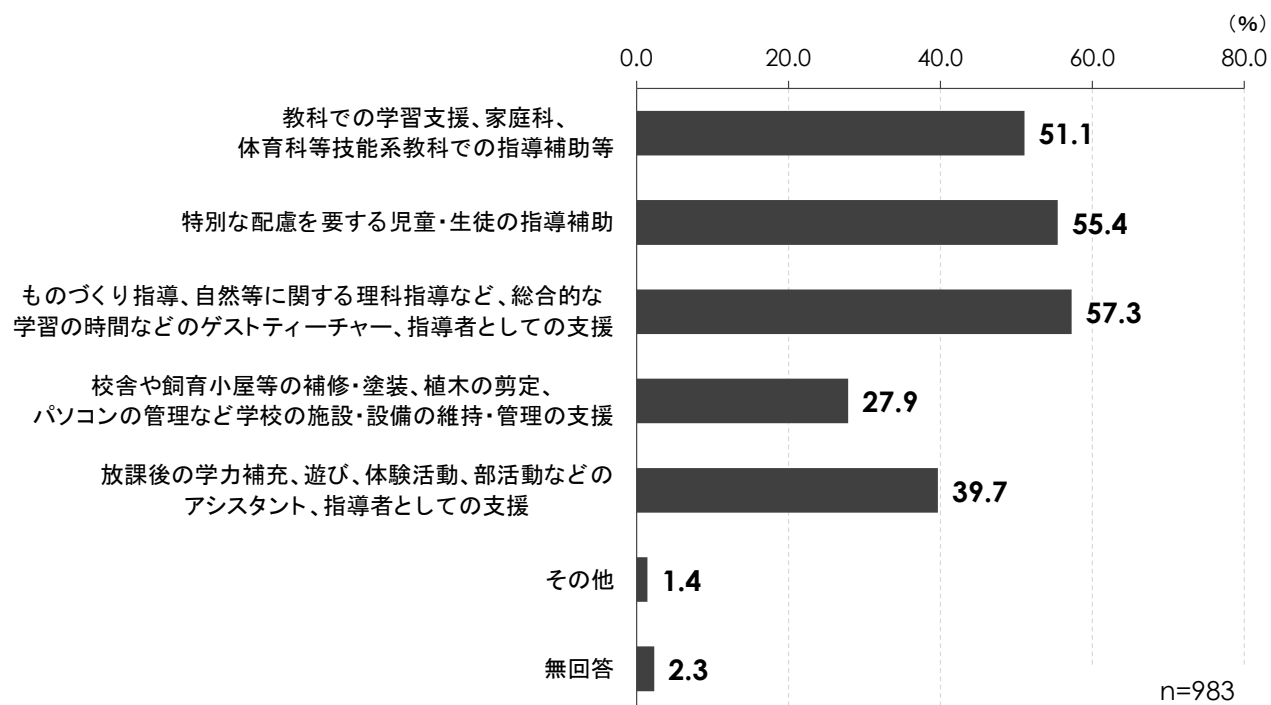
問 21 学校現場に外部人材が入ることによる問題点は何ですか。(回答はいくつでも)

「打合せ等の時間の確保に苦慮する」が最も多く 55.8%、次いで「適切な人材を探すのに苦慮する」が 54.0%、「外部人材確保のための予算が不足している」が 25.1%、「遇など気遣いが負担である」が 23.5%、「学習目標と外部人材の指導とのずれがみられる」が 21.3%となっています。



問 22 今後どのような分野で外部人材からの支援を受けたいと考えていますか。（回答はいくつでも）

「ものづくり指導、自然等に関する理科指導など、総合的な学習の時間などのゲストティーチャー、指導者としての支援」が最も多く 57.3%、次いで「特別な配慮を要する児童・生徒の指導補助」が 55.4%、「教科での学習支援、家庭科、体育科等技能系教科での指導補助等」が 51.1%となっています。



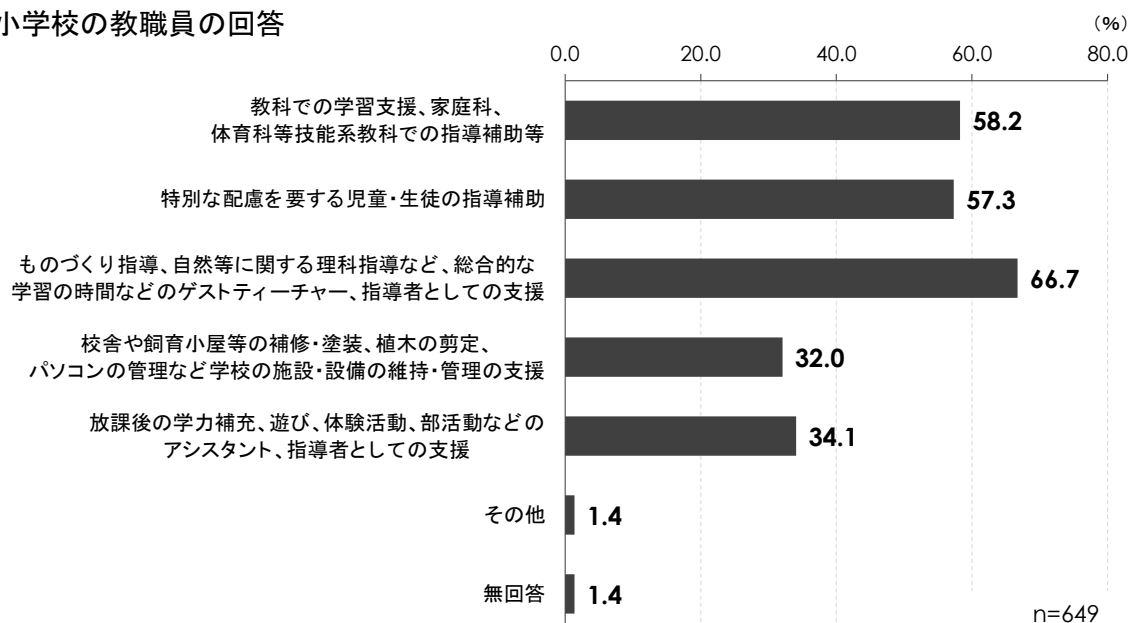
次ページで、同設問の結果を小学校の教職員、中学校の教職員別に集計した結果を掲載

□【参考】小学校・中学校別、“外部人材からの支援を受けたい分野”の割合

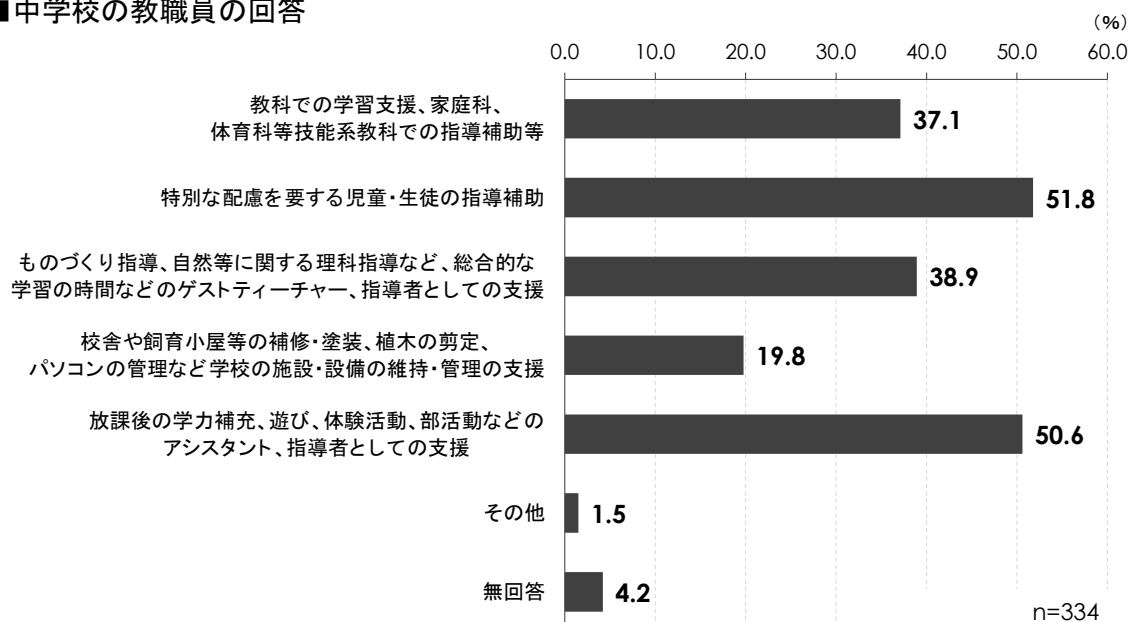
小学校・中学校別に、“外部人材からの支援を受けたい分野”の回答の割合をみると、小学校の教職員では、「ものづくり指導、自然等に関する理科指導など、総合的な学習の時間などのゲストティーチャー、指導者としての支援」が最も多く66.7%、次いで「教科での学習支援、家庭科、体育科等技能系教科での指導補助等」が58.2%、「特別な配慮を要する児童・生徒の指導補助」が57.3%となっています。

中学校の教職員では、「特別な配慮を要する児童・生徒の指導補助」が最も多く51.8%、次いで「放課後の学力補充、遊び、体験活動、部活動などのアシスタント、指導者としての支援」が50.6%、「ものづくり指導、自然等に関する理科指導など、総合的な学習の時間などのゲストティーチャー、指導者としての支援」が38.9%となっています。

■ 小学校の教職員の回答

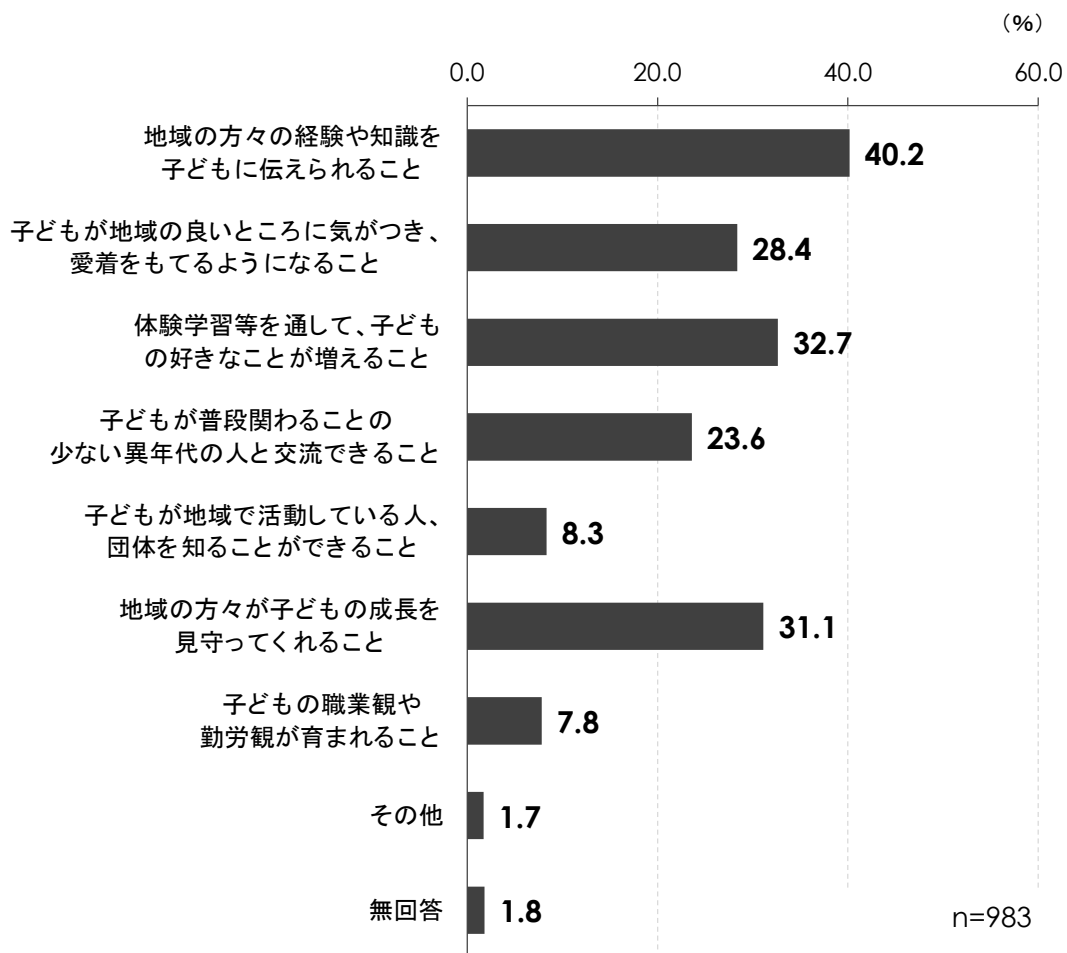


■ 中学校の教職員の回答



問 23 地域の方々が学校の授業や運営に参画することに期待することは何ですか。（回答は2つ以内）

「地域の方々の経験や知識を子どもに伝えられること」が最も多く 40.2%、次いで「体験学習等を通して、子どもの好きなことが増えること」が 32.7%、「地域の方々が子どもの成長を見守ってくれること」が 31.1%となっています。



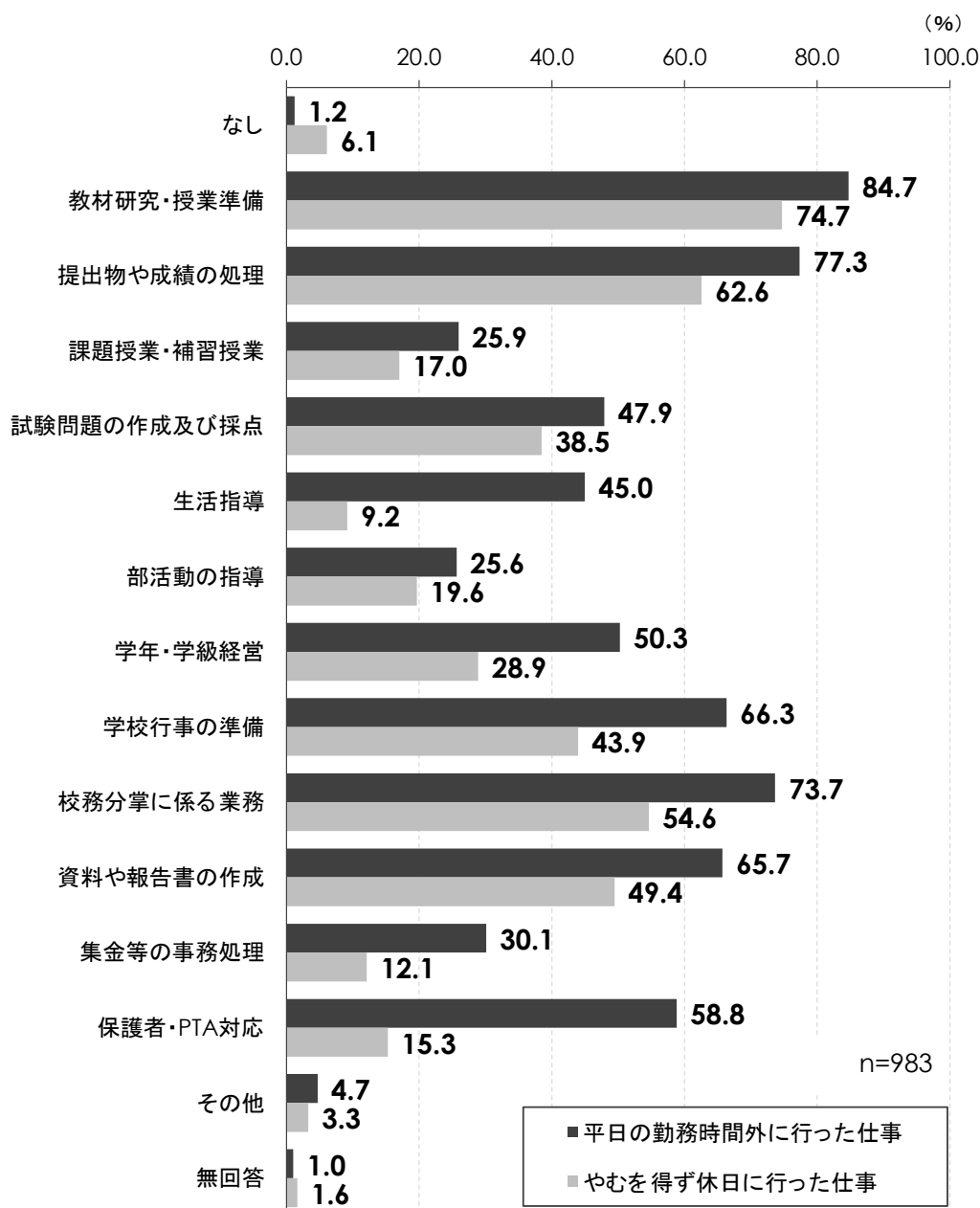
⑤現在の業務の状況について

問 24 平日の勤務時間外に行った仕事の内容は次のうちどれですか。（回答はいくつでも）

問 25 やむを得ず休日に行った仕事の内容は次のうちどれですか。（回答はいくつでも）

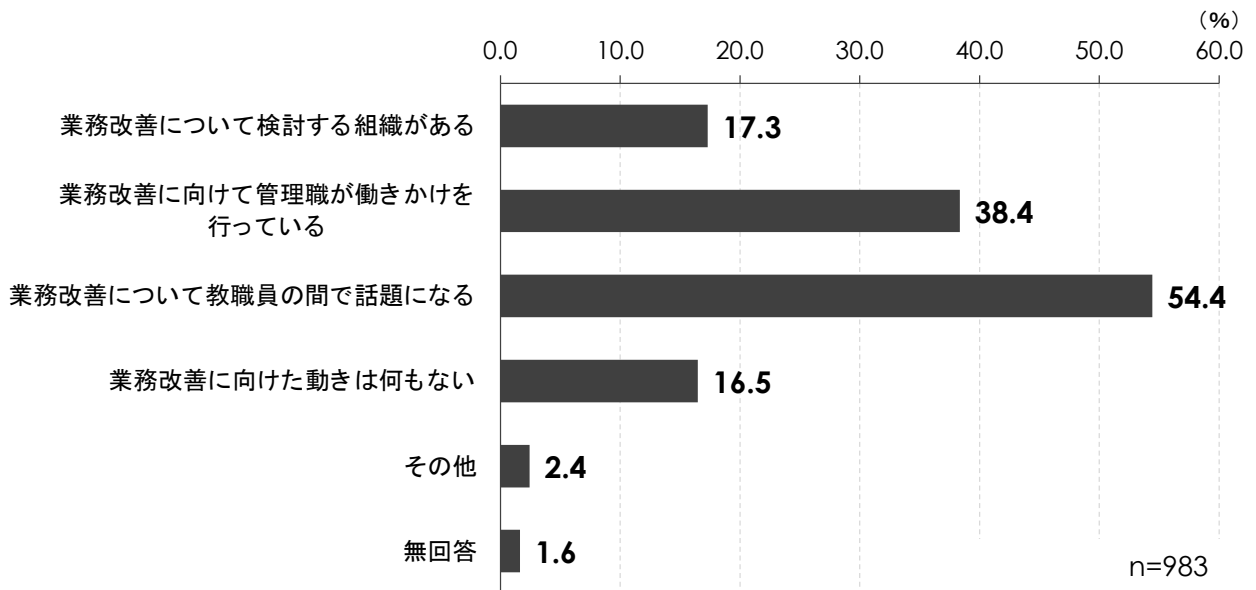
平日の勤務時間外に行った仕事について、「教材研究・授業準備」が最も多く 84.7%、次いで「提出物や成績の処理」が 77.3%、「校務分掌に係る業務」が 73.7%、「学校行事の準備」が 66.3%、「資料や報告書の作成」が 65.7%となっています。

また、やむを得ず休日に行った仕事について、「教材研究・授業準備」が最も多く 74.7%、次いで「提出物や成績の処理」が 62.6%、「校務分掌に係る業務」が 54.6%、「資料や報告書の作成」が 49.4%、「学校行事の準備」が 43.9%となっています。



問 26 業務の改善に向けて、あなたの学校の現在の状況を教えてください。（回答はいくつでも）

「業務改善について教職員の間で話題になる」が最も多く 54.4%、次いで「業務改善に向けて管理職が働きかけを行っている」が 38.4%、「業務改善について検討する組織がある」が 17.3%となっています。

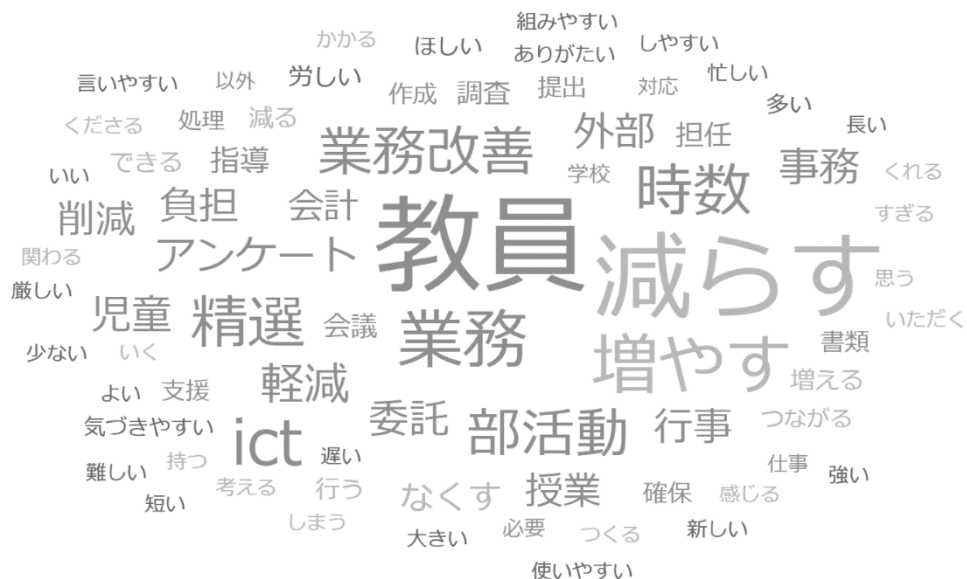


問 27 どのような業務改善を行えば、どのような業務について負担が軽減されると思いますか。ご意見をお聞かせください。（自由記述）

名詞では、「教員」が最も多いですが、その他に「業務」、「精選」、「部活動」、「時数」が多く、動詞では、「減らす」が最も多く、その他に「増やす」が多いですが、この場合、教員を増やすという使われ方をしています。形容詞では、「劳しい」、「忙しい」、「気づきやすい」、「使いやすい」、「言いやすい」などがあります。

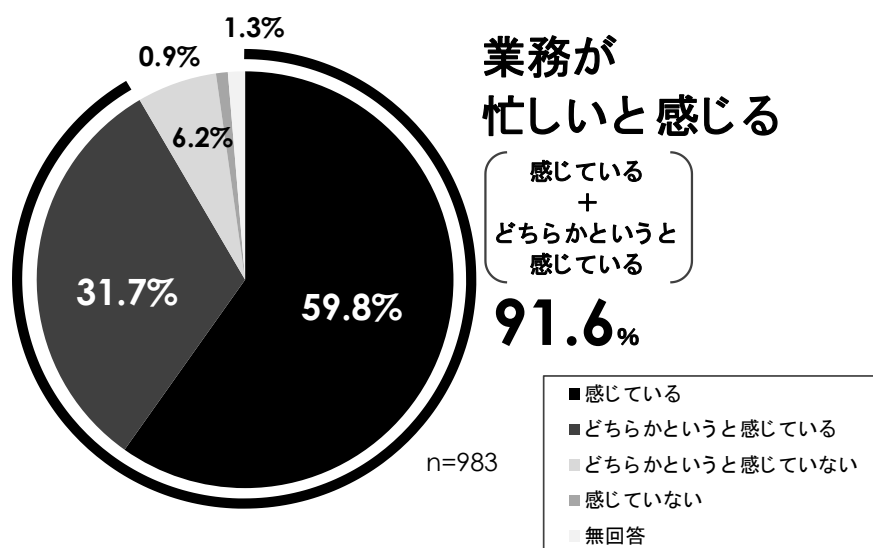
■テキストマイニング（ワードクラウド）の結果

※自由記述から、記述が多い単語を抽出し、その回答数の量に応じて文字を大きく図示しています。



問 28 あなたは自分の業務が忙しいと感じていますか。(回答は1つ)

“業務が忙しいと感じる”が 91.6% (「感じている」と「どちらかというと感じている」の合計) が、回答のほとんどを占めています。

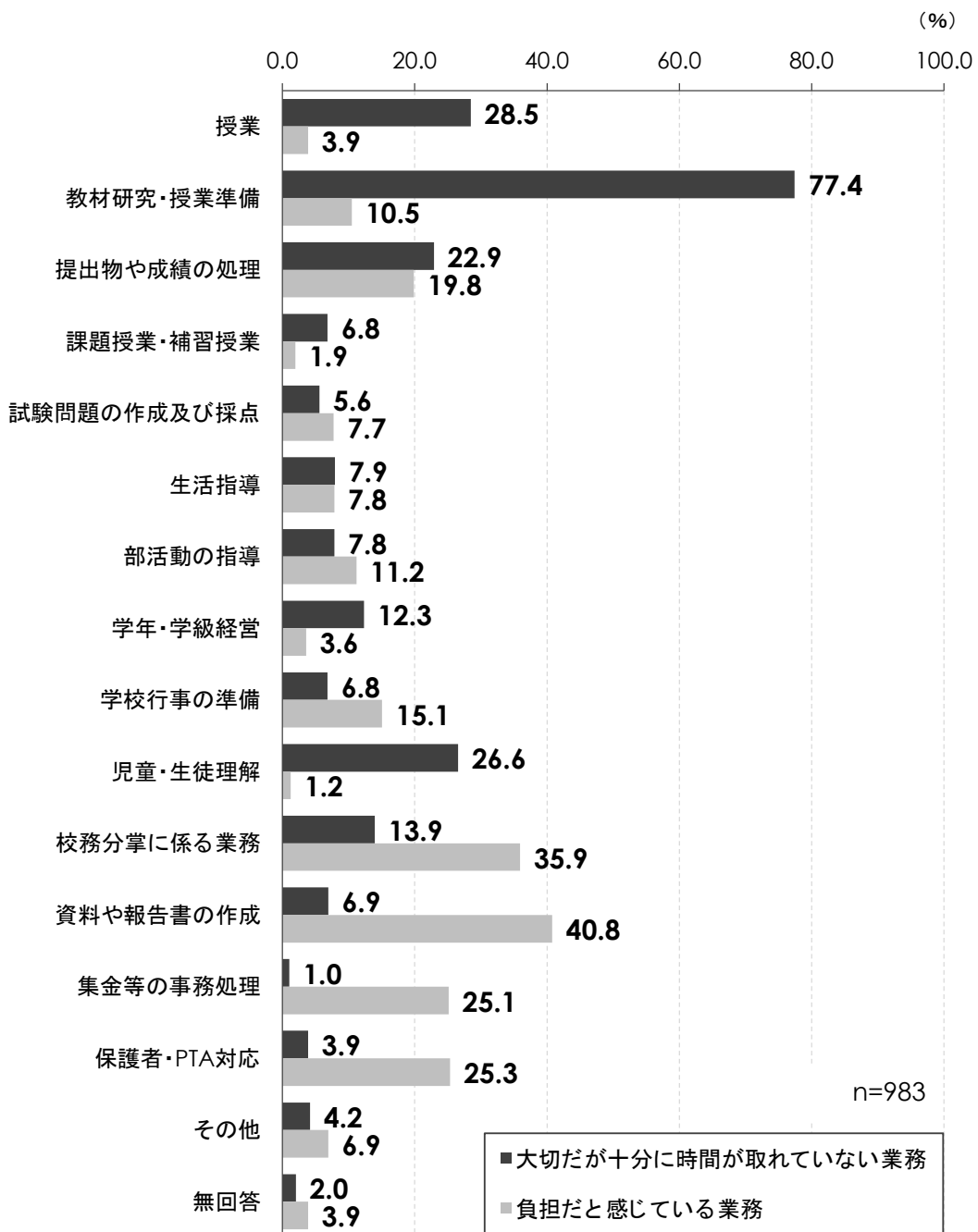


問 29 あなたが大切だけれども、十分に時間が取れていないと感じている業務は次のうちどれですか。（回答は3つまで）

問 30 あなたが負担だと感じている業務は次のうちどれですか。（回答は3つまで）

大切だが十分に時間が取れていない業務について、「教材研究・授業準備」が最も多く 77.4%、次いで「授業」が 28.5%、「児童・生徒理解」が 26.6%、「提出物や成績の処理」が 22.9%、「校務分掌に係る業務」が 13.9%となっています。

また、負担だと感じている業務について、「資料や報告書の作成」が最も多く 40.8%、次いで「校務分掌に係る業務」が 35.9%、「保護者・PTA 対応」が 25.3%、「集金等の事務処理」が 25.1%、「提出物や成績の処理」が 19.8%となっています。

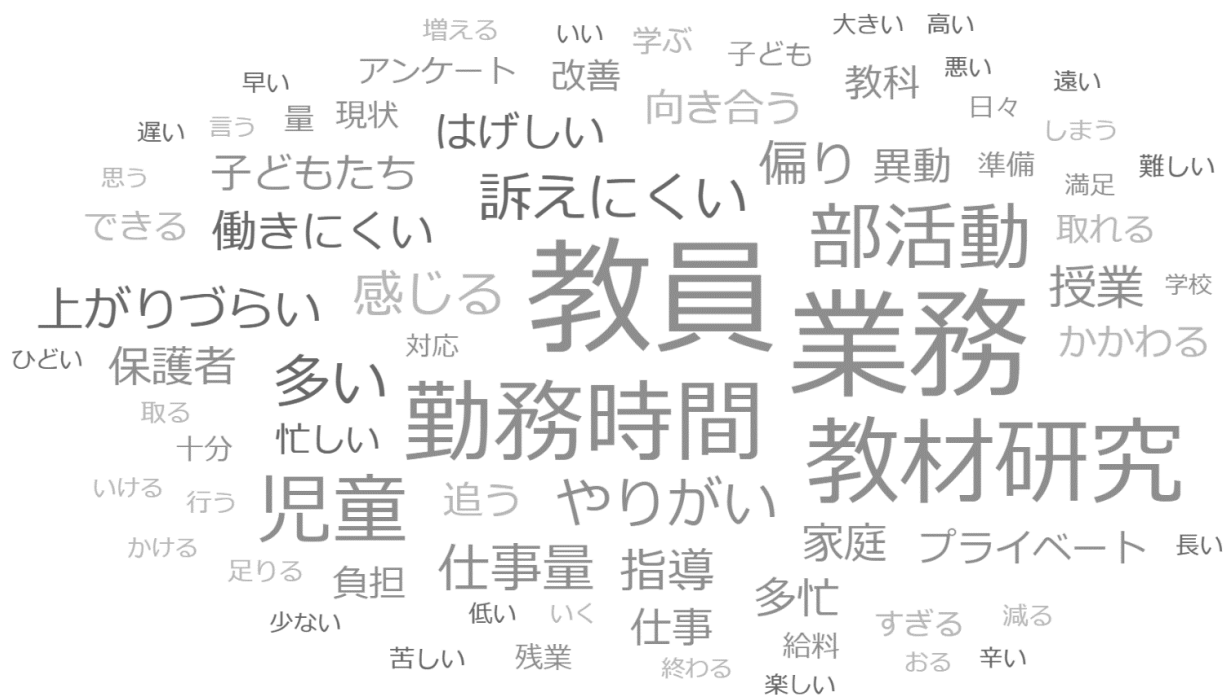


(2) 「あまり満足していない」+「まったく満足していない」の自由記述結果

名詞では、「教員」、「業務」が多く、その他に「業務時間」、「教材研究」、「児童」が多く、動詞では、「感じる」が最も多く、その他に「追う」、「向き合う」、「かかわる」が多く、形容詞では、「訴えにくい」、「働きにくい」、「上がりづらい」、「はげしい」などがあります。

■テキストマイニング（ワードクラウド）の結果

※自由記述から、記述が多い単語を抽出し、その回答数の量に応じて文字を大きく図示しています。



⑦町田市の生涯学習施設の活用について

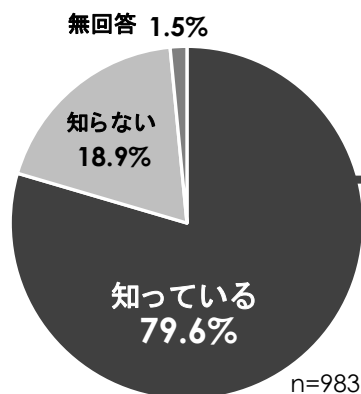
問 33 以下に掲げる町田市内にある施設について、どの程度知っていますか。(それぞれ回答は1つ)

■図書館

図書館について、「知っている」が79.6%、「知らない」が18.9%となっています。

また、「知っている」と回答したもののうち、活用したことがあるかについて、「活用したことがある」が52.7%、「活用したことがない」が46.4%となっています。

さらに、「活用したことがない」と回答したもののうち、活用したことがない理由について、「活用する場面がない」が最も多く33.9%、次いで「時間がとれない」が27.8%、「活用方法が分からない」が15.4%となっています。

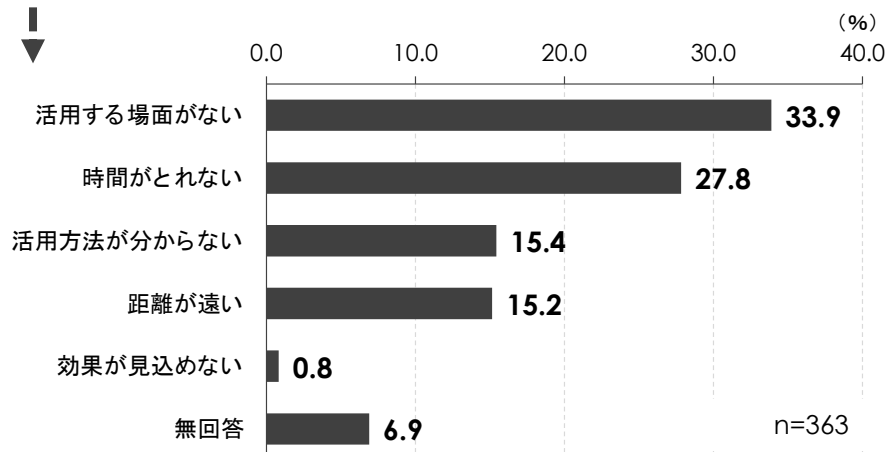
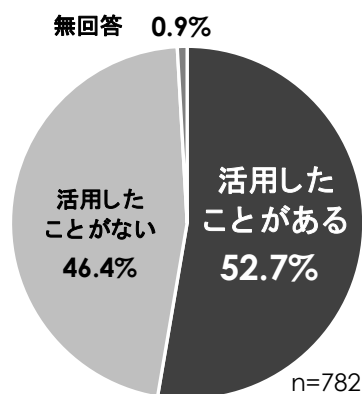


「知っている」と回答したもの

問 34 問 33 で「知っている」と回答した項目について、施設が提供するサービスを教育活動の中で活用したことがありますか。(問 33 で「1」を選んだ項目のみ回答)

「活用したことがない」と回答したもの

問 34 で「活用したことがない」と回答した項目について、活用したことがない理由はなんですか。(それぞれ回答はいくつでも)

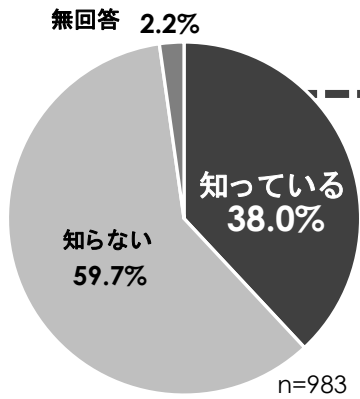


■ 町田市民文学館ことばらんど

町田市民文学館ことばらんどについて、「知っている」が 38.0%、「知らない」が 59.7%となっています。

また、「知っている」と回答したもののうち、活用したことがあるかについて、「活用したことがある」が 23.0%、「活用したことがない」が 74.6%となっています。

さらに、「活用したことがない」と回答したもののうち、活用したことがない理由について、「活用方法が分からない」が最も多く 34.8%、次いで「活用する場面がない」が 27.6%、「時間がとれない」が 22.6%となっています。

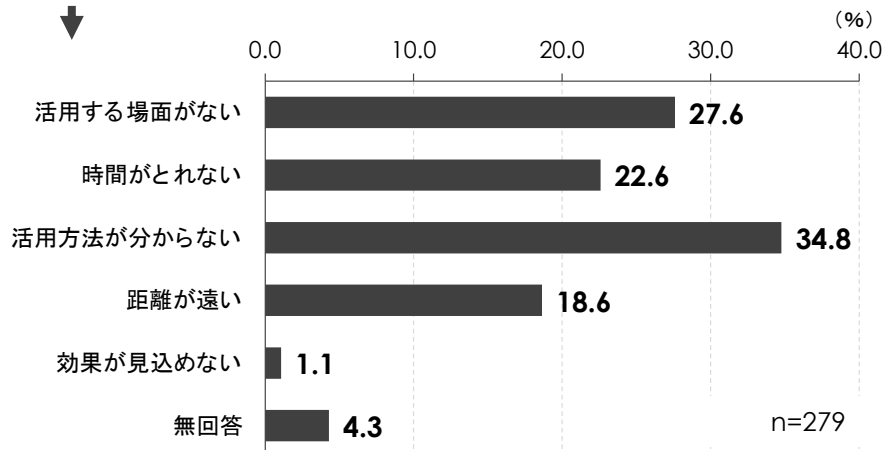
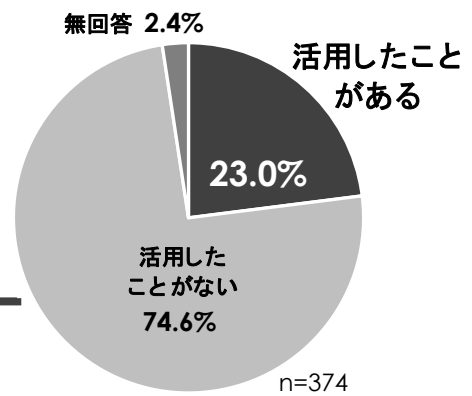


「知っている」と回答したもの

問 34 問 33 で「知っている」と回答した項目について、施設が提供するサービスを教育活動の中で活用したことがありますか（問 33 で「1」を選んだ項目のみ回答）

「活用したことがない」と回答したもの

問 34 で「活用したことがない」と回答した項目について、活用したことがない理由はなんですか。（それぞれ回答はいくつでも）

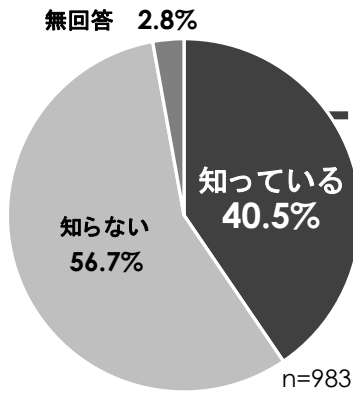


■生涯学習センター

生涯学習センターについて、「知っている」が40.5%、「知らない」が56.7%となっています。

また、「知っている」と回答したもののうち、活用したことがあるかについて、「活用したことがある」が14.3%、「活用したことがない」が82.4%となっています。

さらに、「活用したことがない」と回答したもののうち、活用したことがない理由について、「活用方法が分からない」が最も多く37.8%、次いで「活用する場面がない」が32.9%、「時間がとれない」が21.0%となっています。



「知っている」と回答したもの

問34 問33で「知っている」と回答した

項目について、施設が提供するサービスを

教育活動の中で活用したことがあります

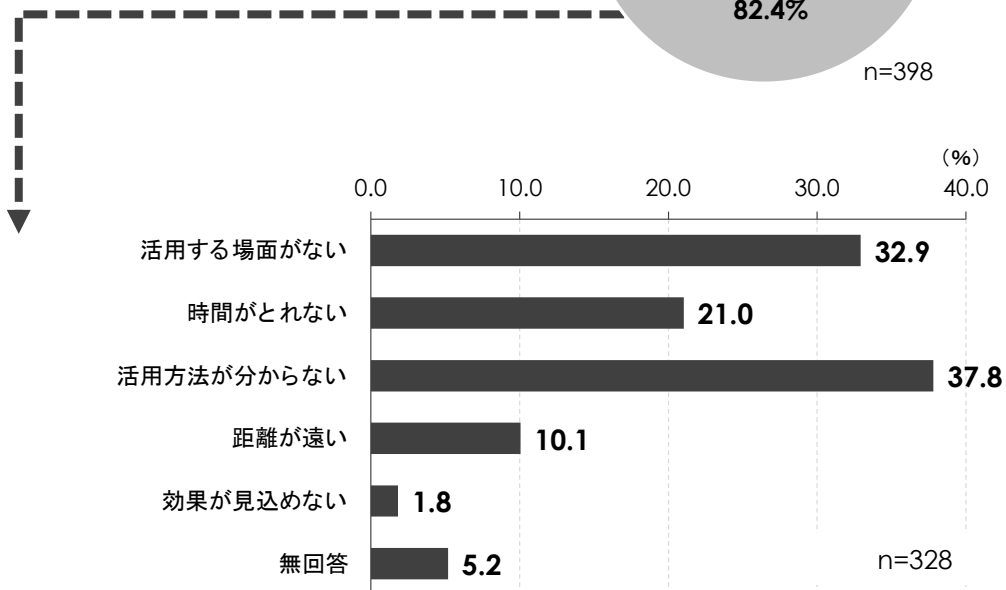
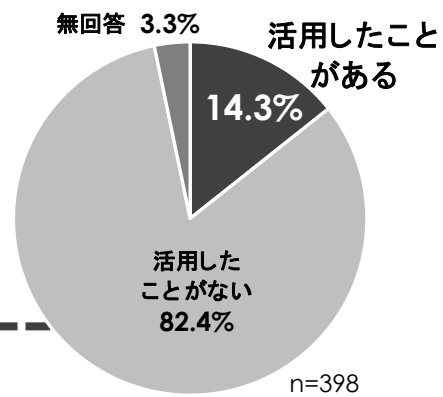
か。(問33で「1」を選んだ項目のみ回答)

「活用したことがない」と回答したもの

問34で「活用したことがない」と回答した項目

について、活用したことがない理由はなんです

か。(それぞれ回答はいくつでも)

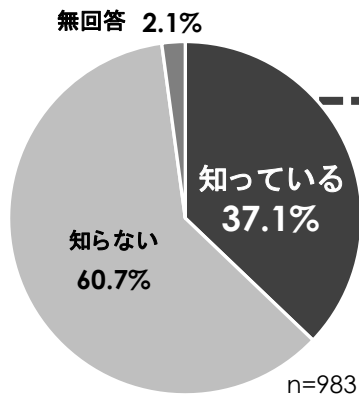


■ 自由民権資料館

自由民権資料館について、「知っている」が 37.1%、「知らない」が 60.7%となっています。

また、「知っている」と回答したもののうち、活用したことがあるかについて、「活用したことがある」が 19.2%、「活用したことがない」が 77.5%となっています。

さらに、「活用したことがない」と回答したもののうち、活用したことがない理由について、「活用する場面がない」が最も多く 34.6%、次いで「活用方法が分からない」が 29.7%、「距離が遠い」が 19.8%となっています。

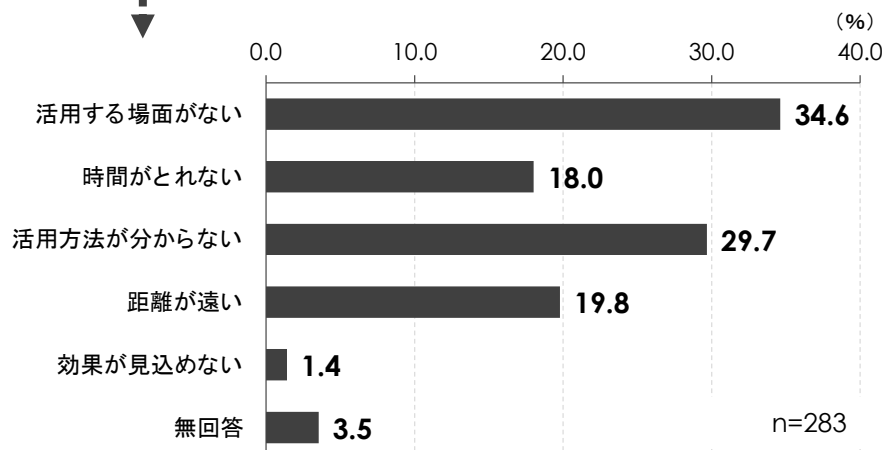
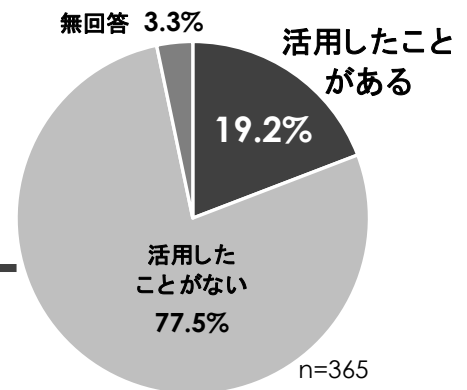


「知っている」と回答したものの

問 34 問 33 で「知っている」と回答した項目について、施設が提供するサービスを教育活動の中で活用したことがありますか。(問 33 で「1」を選んだ項目のみ回答)

「活用したことがない」と回答したものの

問 34 で「活用したことがない」と回答した項目について、活用したことがない理由はなんですか。(それぞれ回答はいくつでも)

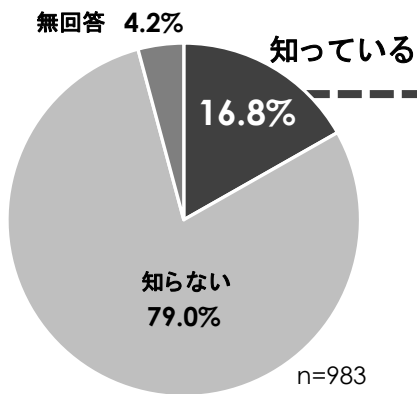


■ 考古資料室

考古資料室について、「知っている」が 16.8%、「知らない」が 79.0%となっています。

また、「知っている」と回答したもののうち、活用したことがあるかについて、「活用したことがある」が 13.9%、「活用したことがない」が 81.8%となっています。

さらに、「活用したことがない」と回答したもののうち、活用したことがない理由について、「時間がとれない」が最も多く 31.9%、次いで「活用する場面がない」が 31.1%、「活用方法が分からない」が 25.2%となっています。

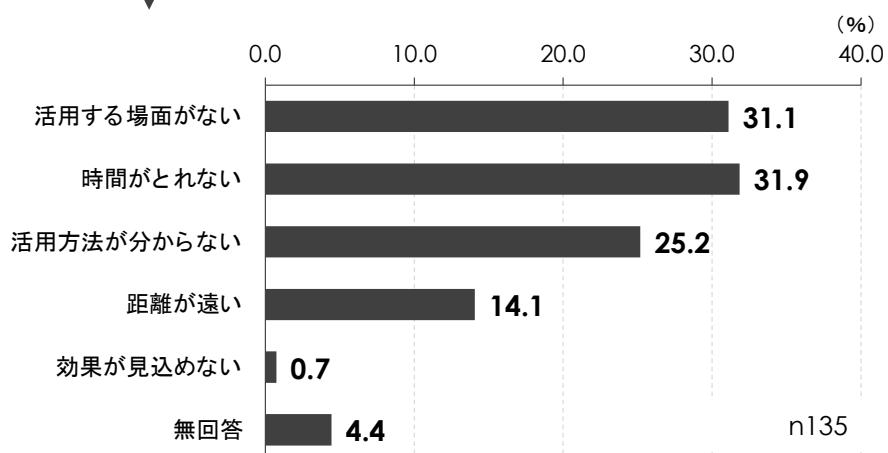
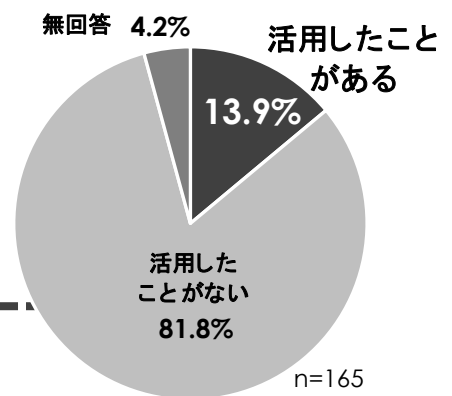


「知っている」と回答したもの

問 34 問 33 で「知っている」と回答した項目について、施設が提供するサービスを教育活動の中で活用したことがありますか。(問 33 で「1」を選んだ項目のみ回答)

「活用したことがない」と回答したもの

問 34 で「活用したことがない」と回答した項目について、活用したことがない理由は何ですか。(それぞれ回答はいくつでも)

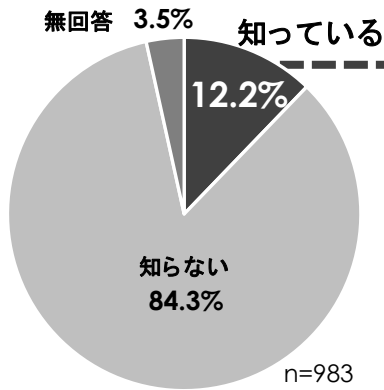


■ 町田デジタルミュージアム

町田デジタルミュージアムについて、「知っている」が 12.2%、「知らない」が 84.3%となっています。

また、「知っている」と回答したもののうち、活用したことがあるかについて、「活用したことがある」が 15.8%、「活用したことがない」が 78.3%となっています。

さらに、「活用したことがない」と回答したもののうち、活用したことがない理由について、「時間がとれない」が最も多く 33.0%、次いで「活用方法が分からない」が 29.8%、「活用する場面がない」が 26.6%となっています。

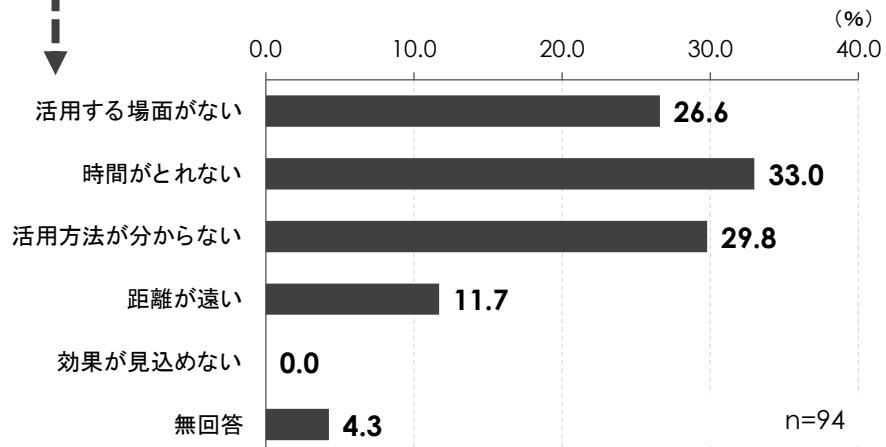
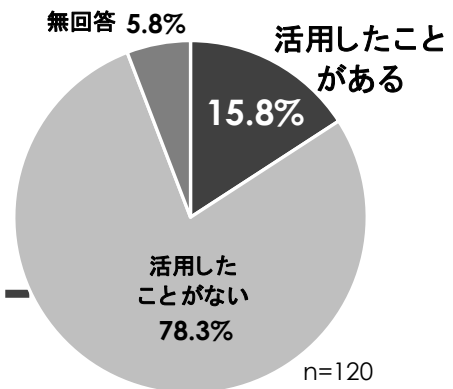


「知っている」と回答したものの

問 34 問 33 で「知っている」と回答した項目について、施設が提供するサービスを教育活動の中で活用したことがありますか。(問 33 で「1」を選んだ項目のみ回答)

「活用したことがない」と回答したものの

問 34 で「活用したことがない」と回答した項目について、活用したことがない理由はなんですか(それぞれ回答はいくつでも)



■ 国際版画美術館

国際版画美術館について、「知っている」が 69.8%、「知らない」が 28.4%となっています。

また、「知っている」と回答したもののうち、活用したことがあるかについて、「活用したことがある」が 45.6%、「活用したことがない」が 52.3%となっています。

さらに、「活用したことがない」と回答したもののうち、活用したことがない理由について、「時間がとれない」が最も多く 33.0%、次いで「活用方法が分からない」が 29.8%、「活用する場面がない」が 26.6%となっています。

